

TOKYO NOVA THE DETONATION FLIP/FLOP SCENARIO BOOK/CD

NEURO

CD

vol.

2







# Neuro / CD vol.2



# \*ニューワールドへようこそ

*Read Me First*

Neuro/CD -Tokyo NOVA The Detonation-

## ■概説

本書は、(有) ファーイースト・アミューズメント・リサーチより発行中の『トーキョー N◎VA The Detonation』を扱った同人シナリオ集であり、またコンセプトとしてインターネットを介したセッション、いわゆるオンラインプレイでも気軽に使用可能な、少人数・短時間でも遊べるタイプのシナリオを集めた物です。

本書を遊ぶ為には、『トーキョー N◎VA The Detonation』(以下、『TND』と表記)が必要です。また、同作品のサブリメントである

『グランド×クロス The Detonation』

(略号: GXD)

『カウンターグローウ』(略号: CG)

『ストレイライト』(略号: STL)

『クロニクル』(略号: TNC)

『マードーインク』(略号: MDI)

『ナイトウォッチ』(略号: NTW)

『ワールドオーダー』(略号: WOR)

などがある方が望ましいでしょう。

## ■本書の使い方

本書は既に『トーキョー N◎VA The Detonation』のプレイ経験のあるユーザー向けに書かれています。ゲームシステムやシナリオの読み方などは、『TND』の該当ページを参照してください。

## ●シナリオセクション

プレイヤーには、RL からブリアクトシート(シナリオのトレーラーやハンドアウト、必要な情報などを記したもの)が配られますので、そちらを参照して遊んでください。

混沌の街に相応しい、個性豊かなシナリオ4本を収載しています。

### シナリオ1: 暴露の光 - Shiny Expose -

悪意によって報道を歪められたトーキーの戦いを描く。初心者にもお勧めできるオーソドックスなシナリオだ。

### シナリオ2: 食卓のアルドラ

妖魔の女王であるアルドラが人間に捕らえられる。真の魔物はヒトかアヤカシか。強烈なゲストに彩られた異色のシナリオだ。

### シナリオ3: She wished only...

レッドエリアと未登録市民を取り扱った、悲劇の物語を描く。遊ぶ面子を若干選ぶが、好きな人にはたまらない類のシナリオだ。

### シナリオ4: HELLO NEW WORLD

『NTW』で新たに追加された装備、「ニューワールド」を取り扱ったシナリオだ。遊ぶ場合、『NTW』を保有している方が望ましい。

## ▼書式

書式は基本的に、『TND』やサブリメントのそれに合わせています。付属のCD-Rに、コピー&ペーストして使えるシナリオのテキストデータなどが含まれていますので、そちらもご利用下さい。

尚、シナリオデータはあくまでも一例に過ぎません。遊ぶ環境や好みに合わせて修正をして構いませんし、そうすべきだと我々は考えています。

## ●アペンディックス

付録として、オリジナルパーソナリティや Born to Killなどを収載しています。

# CONTENTS INDEX

目次・前書き .....	02
SCENARIO SECTION .....	03
シナリオ1: 暴露の光 - Shiny Expose - .....	04
シナリオ2: 食卓のアルドラ .....	12
シナリオ3: She wished only... ..	20
シナリオ4: HELLO NEW WORLD .....	28
APPENDIX .....	41
後書き・奥付 .....	44



## シナリオセクション

## Scenario section

本セクションにはシナリオが掲載されているので、R L以外は読まない事をお勧めします。  
ブレアクト情報に関しては、R Lから配布される「ブレアクトシート」を参照してください。

「イワサキがまた妙な事をやらかしてると聞いてやって来て見れば、どうなっているんですかこれは……」

血の海の上に累々と積み上げられた死体を目の当たりにして、男は深く溜息をついた。骸の山の頂上には、まるで岩礁で歌う人魚のような姿をした、一人の女。左目に埋め込まれた電脳水晶が、青く妖しく煌めく。

「貴方が、“実験体9号”ですか。霊薬研究所の重要機密というから、檻の中にいる怪物や異形を想像していたんですが」

「檻なんかで私を縛る事は出来ないわ。それはたった一つの井戸のように狭い狭い世界に生きる人間の発想よ。この人達は、私みたいな存在を造り出そうとしておきながら、視野が狭過ぎたのよ」

女はケラケラと可笑しそうに笑う。今回の保護、または捕獲対象——イワサキの極秘計画の実験体9号は、既に培養槽から脱走。そして研究員や守衛達を皆殺しにした……そう考えるのが最も妥当であった。「はぁ、疲れるなあ」と、男はお決まりの言葉を呟き、頭を掻いた。

「貴方を保護するつもりで来たのですけれど、人魚姫」

「いいわね、人魚姫。でも私は人間の男に恋をして、不幸な死を遂げてしまうような可弱い存在じゃないわよ、王子さま？ 私は“水蛇”。油断していると、海に引きずり込まれて食べられちゃうかも」

女の電脳水晶が電子の光を発する。男は脊髄を撫でられる感触を感じて咄嗟に身構える。パン、と乾いた音を立てて、身代り防壁はじけ飛んだ。

「……危なかった。貴方の防壁に助けられましたよ、タイガーリリー」

「誰？」

「貴方によく似たニューロですよ。2つの世界を同時に馳せる凄腕の」

男は現実・電脳同時認識デバイスを起動し、女の実態を捕らえる。予想通り、電脳意識体。即座に対電脳干渉装置を起動し、周囲の構造を歪ませ、押し曲げ、圧縮していく。

「捕まえましたよ。まったく、手ごすらせてくれましたね……」

「見事な歪曲能力ね、そういう血統？ でも——」

男は愕然とし、後ろを振り返った。周囲の空間ごと圧縮し、縛り上げた筈の女は、何食わぬ顔でそこにいた。空間を泳ぐ、意識体。

「ばかな……確かに電脳体は捕縛した筈……！」男の眼にとまる、死体の山。そこに倒れた兵士達の装備……霊体探知器、小型星幽門開放機、霊素分解弾——。「世界が二つだけだなんて、やっぱり貴方も井の中の蛙ね、ストレイン？」

思えば、始めから気付くべきだったのだ。彼女を縛る事は出来ない。彼女はどこへでも移動できる。物質界、情報界、そして……星幽界。男は、自分が深い海の底で溺れそうになっているのを感じた。

「もっと広い世界にイキましょ、海はこんなに広大なんだから」

シナリオ1：  
暴露の光 -Shiny Expose-

## プレアクト情報

Pre-act Info.

## ■本シナリオについて

このシナリオは、比較的スタンダードな道りとなっており、手軽に遊ぶ事ができる。シナリオを楽しむ為に必要な事前知識なども少ない為、初心者相手に遊ぶ場合、他の3本のシナリオより、まずこのシナリオを遊ぶ事をお薦めする。

尚、IANUS についての知識はあった方がよい。…とは言っても、必要とされるのは「ニューロエイジの人間は、ほとんどが体にコンピュータを埋め込んでいる」程度の認識で事足りる。

## 『カゲ』枠について

この枠は、推奨スタイルをニューロとしても問題無い。主役であるトーキー（光）との対比としてカゲ（影）としているが、導入も神楽的にも、ニューロで対応可能である。

変更する場合、ハンドアウトテキストを少しだけニューロ枠に合わせて変えたとよいだろう。

## ■シナリオデータ

プレイヤー：2～3人

プレイ時間：2～3時間（オンライン：6～9時間）

## ■ストーリー

電脳化している人間だけなり得る死の奇病「電脳化由来進行性麻痺（通称：CDマビ）」と闘う一人の少女が居た。彼女の名はルーシー。同じ病気に苦しむ人達に希望を与える為、辛くても笑顔を絶やさない女の子だ。『トーキー』は彼女を取材するも、病状は悪化の一途を辿る。

そんな時、T.F. の篤志家<sup>とくしきか</sup>に扮したテラウェアの工作員、“800” ミュンヒハウゼンが、ルーシーを救う為に協力をしてほしいという名目で『トーキー』に近づいた。彼の目的は、CDマビの原因を千早の第3世代 IANUS の欠陥と偽り、千早の地位を失脚させる事だ。その為に、『トーキー』の撮って来た映像を改竄し、CDマビの恐怖を『暴露』によって民衆に刷り込もうとしたのだ。目論見は成功し、千早は窮地に立たされる。

窮地を救う為に動き出した後方処理課の『クグツ』と、稲垣司政官の依頼で『クグツ』に協力する『カゲ』。自らの映像と少女の健気な想いを汚された『トーキー』が、彼らと共にテラウェアが隠すCDマビの真実に迫り着き、それを世界に暴露する事でルーシーと世界を救う事が出来れば、このシナリオは終了となる。

## ■アクトトレーラー

キャスト作成前に、以下のアクトトレーラーをプレイヤーに提示すること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

Cyber Derived progressive paralysis  
— 電脳化由来進行性麻痺 —

“CDマビ”と通称される、電脳化している人だけが罹る死の病だ。

そんな病と懸命に闘う、一人の少女が居た。

同じ病に苦しむ人に勇気を与えようと、

辛くても笑顔を絶やさない少女。

そのひたむきな思いが、悪意ある報道によって

歪められる時、真実を照らし出す為の

トーキーの闘いが始まる。

トーキョー N◎VA The Detonation  
『暴露の光 -Shiny Expose-』

これは一人の少女と世界を救った、  
運命の報道のドキュメンタリー。



## ■キャスト作成

R Lはプレイヤーに、ハンドアウト（あるいは、付属CD・R内のプレアクトシート）を配布すること。

### ●敵ゲストの強さ

本シナリオの敵ゲストの最大達成値は25を目安に作成されている。

シナリオ上ではキャスト作成の数値的なレギュレーションは定めないが、R Lはこれを参考にレギュレーションを決定しても良いだろう。

### ●必要な神業

本シナリオでは、エクスポーズ《暴露》アンダカヴァ《完全偽装》（PL 3人の場合）インセンヤブル《不可知》）に使用想定シーンが存在する。また、

敵の即殺神業のみでキャストがリタイアするのを防ぐために、全員で1枚以上の防御系神業が必要だ。

### ●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する社会技能は、〈社会：メディア〉〈社会：企業〉〈社会：テクノロジー〉などである。

また、〈隠密〉や〈電脳〉などが有用なシーンがある。

## ■キャスト間コネクション

キャスト間コネは、以下の順で取得せよ。

『トーキー』→『クグツ』→『カゲ』→『トーキー』

#### 必要な防御系神業

必要な防御系神業数の中に、〈不可知〉による攻撃分は含まれて居ない。これは、〈不可知〉が即殺神業ではない事と、シナリオ中に〈ファイト!〉によって神業が増える事を考えての事だ

もし、キャストが〈不可知〉の攻撃により死んでしまいそうな場合、ある程度R Lは救済措置を取った方が良いでしょう。〈不可知〉での攻撃には〈彫像〉を組み合わせさせて殺しはしない、あるいはルーシーの〈ブリーズ!〉を使用して防御神業を使わせる、などだ

## No.1:Cast Make Guideline

推奨設定：記者。所属は問わない

追加設定：ルーシーという少女の取材をしている

CDマヒという死の奇病と戦う少女を取材する導入だ。苦しむ中에서도懸命に生きようとする彼女を放っておけない、ウェットなキャストを推奨する。

#### ▼特記事項

- ・シナリオの開始直後、他のキャストと対立したような状態になる可能性がある。
- ・《暴露》はシナリオ上で使用が想定されている。

## No.2:Cast Make Guideline

推奨設定：千早重工後方処理課3班の作業員

追加設定：特になし

たった一度の報道で危機に陥った会社を救うために奔走する枠だ。事実を隠べいする事が目的では無いので注意して欲しい。

#### ▼特記事項

- ・『トーキー』とは、一見対立関係のような状態でシナリオが始まるが、本気で対立したりはしない事。敵は彼では無い。
- ・PLが2人の場合、潜入工作などができるキャストが望ましい。

## No.3:Cast Make Guideline

推奨設定：フリーランスのスパイ、潜入作業員、忍者など

追加設定：司政官・稲垣光平に腕を買われている

司政官に依頼され、『クグツ』と協力して千早を救う枠だ。ハンドアウトや稲垣は「情報を隠せ」と言うが、それがこのシナリオの解決に寄与しないのは、アクトトレーラーを見てもあれば分かって頂けるだろう。

#### ▼特記事項

- ・〈不可知〉の使用想定シーンが存在する。
- ・〈隠密〉などの技能が有効なシーンが存在する。

### 推奨スタイル：トーキー

Scenario Handout

#### コネ：ルーシー

推奨スト：【感情】

君は、不治の病“CDマヒ”と闘う一人の少女、ルーシーを取材していた。身を蝕む死の恐怖にも負けず、笑顔を絶やさない健気な少女だ。しかし、日に日に彼女の病状は悪化していく。

何か、彼女を救うためにしてやれる事は無いだろうか、そう考えていた時だった。

彼女を助ける為に協力して欲しいと、T.F.の支援者が君の元を訪れたのは。

【PS：ルーシーを救う】

### 推奨スタイル：クグツ

Scenario Handout

#### コネ：『トーキー』

推奨スト：【外界】

“CDマヒの原因は第三世代 IANUS の欠陥である”

N◎VA 中に放送されたその報道は、千早重工の確たる地盤を一夜にして危機に陥れた。第三世代 IANUS は千早の要とも言える事業である。早急に対応しなければ、社の失望は免れない。

まずは件の報道を行ったという、『トーキー』に会う必要があるだろう。

【PS：千早の IANUS 事業の危機を救う】

### 推奨スタイル：カゲ

Scenario Handout

#### コネ：稲垣光平

推奨スト：【外界】

N◎VA 司政官様は、己の保身の為であれば支払いをケチらない、君のお得意様だ。

彼からの今回の依頼は、事業の危機に陥った千早重工を救う為のシャドウワークだ。千早は司政官の大事な金ツル、潰れてもらっては困るのだろう。

都合の悪い情報は揉み消し、邪魔な人間は闇に葬る……いつも通りの君の仕事だ。

【PS：『クグツ』に協力する】

## オープニングフェイズ

Opening Phase

## CDマヒ

CDマヒは、〈タイムリー〉や〈天罰〉、〈M&A〉などの神業では治療する事は出来ない。これは、病気の原因そのものが解明されて居ないからだ。

このシナリオでルーシーを救う事ができるただ一つの神業、それが〈暴露〉である。

## 綿抜の〈フリーズ!〉

『トーキー』が神業で打ち消そうとした場合、シナリオに不都合が出る事を告げ却下する事。

綿抜の登場は、ルーシーを救いたいと考える『トーキー』には、渡りに船であったというシチュエーションを意識して貰おう。

## RLシーンでの〈暴露〉の効果

後のシーン「●クグツ：シュブレヒコール」でも記載しているが、千早重工を対象とした社会攻撃である。ダメージナンバーは「6：信用失墜」。キャスト対象では無いのでデメリットは無いが、シナリオ終了時にこのダメージが回復して居ないと、千早はIANUS事業から撤退を余儀なくされる。

トーキーが真実を〈暴露〉する事が出来れば、このダメージは自動的に回復する。

## メディア・バイアス

マスコミなどが提示する情報のソースを取捨選択する事で、視聴者に与える印象を操作する事だ。

このシーンにおいては、「専門家は語る」と言うが、何の専門家かすら明白では無いという事や、「誰でも発症しうる」という危険性の誇張、更にはルーシーのペルソナを偽装してお涙頂戴を狙った印象操作など、悪質な行為がいくつもなされている。

## プロバガンダ

人々を特定の思想や意識へ扇動する宣伝行為の事。このシナリオにおいては「千早重工への反感」という意識を民衆に植え付けたわけだ。

## ●トーキー：少女の笑顔

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説1

『トーキー』がCDマヒの少女、ルーシーに取材を依頼した時の情景を描く過去回想シーン。

## ◆描写1

君は縁あって、一人の少女を取材する事になった。彼女の名前はルーシー（ミストレス◎）。電脳化由来進行性麻痺……通称“CDマヒ”と呼ばれる不治の病と闘う少女だ。

病室で初めてルーシーに会った時、松葉杖をつく彼女は病人とは思えないような笑顔を君に見せた。

## ▼セリフ：ルーシー

「貴方が、私を取材してくれる『トーキー』さん？」  
「あのさ、『トーキー』さん。お願いがあるんだ」  
「私が病気で苦しんでるところは、あんまり撮ってほしくないんだ。それよりは、笑ってる所、元気な所、頑張ってる所……そういの、撮って欲しいんだ」  
「弱ってる所見られるのって嫌だし、それに、同じ病気で苦しんでる人を、少しでも勇気づけたいじゃない」  
（了承した）「ありがとう。これから、よろしくね、『トーキー』さん」

（少し時が経って、車椅子姿で）「脚、動かなくなっちゃったよ。これからは車椅子生活だし、腕鍛えないとね」  
「あはは、平気平気。だからさ、ほら、そんな顔しないでよ、『トーキー』さん」

## ◆解説2

T.F.の支援者を名乗る綿抜篤誠から協力を要請される。綿抜（正体は“800”ミュンヒハウゼン）は『フリーズ!』を使用し、『トーキー』の『暴露』を使用させる。その効果は次のRLシーンで描写される。

## ◆描写2

懸命の闘病にも関わらず、日に日にルーシーの病状は悪化していった。

彼女を救う為に何かできる事は無いか……君がそう考えていた時、君の元に一人の来訪者が現れた。

人の良さそうな顔をした、老年の男性だ。

## ▼セリフ：綿抜篤誠

「貴方が『トーキー』さんですね。私、T.F.でCDマヒ患者後援会の代表をしております、綿抜篤誠と申します。今日は貴方に、お願いがあって参ったのです」  
「我々は、CDマヒに苦しむ患者達を救う為に活動しています。しかし、まだまだCDマヒという病気は、世間に殆ど知られていません」

「彼らを救う為に、世間にもっとCDマヒの事を知ってもらう為に、貴方の力が必要なのです。」

「貴方の撮ってきたルーシーさんの映像を、提供頂けませんか」※『フリーズ!』を使用

「御協力、本当に感謝いたします」  
（ルーシーの願いについて言及した）「お任せ下さい。悪いようには致しませんよ」

## ◆結末

『トーキー』の撮ってきたルーシーの映像は、綿抜の手に渡る。そして、その映像は歪められた形で、次のRLシーンにて報道される事になる。

## ●RLシーン：メディア・バイアス

登場：キャストの登場不可

## ◆解説

前のシーンをうけて、『トーキー』が撮ってきた映像が恣意的に歪められて報道されるシーン。

『神業』の効果(\*)で、ルーシーのペルソナが偽装されている（マネキン◎）事を強調する事。

## ◆描写

その日、NOVA中を震撼させる衝撃の番組が報道され。それは、とある病気を取り扱ったドキュメンタリー番組。

モニターには、“CDマヒ”と呼ばれる奇病に苦しむ、一人の少女の姿（マネキン◎）が映し出されていた。刻々と制御を失い、動かなくなっていく体。迫り来る死の恐怖に、少女は怯えていた。

## ▼セリフ：ナレーション

Cyber Derived Progressive Paralysis  
「電脳化由来進行性麻痺……“CDマヒ”と呼ばれるこの病気は、第3世代IANUSの欠陥によるものだと言専門家は語ります」

「千早製第3世代IANUSを入れている人間であれば、誰でも発症し得る恐ろしい病気です。明日は、貴方がこの病気を発症するかもしれないのです」

「しかし、IANUSを供給する千早重工からは、これに関して一切の対応が見られません」

「ルーシーちゃんのような、哀れな患者をこれ以上増やさない為に、私たちが丸となって、企業に問題追及をして行く必要があるでしょう」

## ◆結末

映像の最後に、報道者として『トーキー』の名前が表示される。シーンエンド。

## ●クグツ：カウンター・プロバガンダ

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

先のシーンの報道により、窮地に立たされた千早のIANUS事業を救うため、『クグツ』に事態の鎮静化の任務が下されるシーン。

## ◆描写

昨晚、NOVA中に放送されたドキュメンタリー番組は、一夜にして千早の地盤を揺るがした。

後方処理課のエージェントである君が、出社早々社長室に呼び出されたのも、それが原因だろう。

## ▼セリフ：千早雅之

「例の報道については、説明しなくてよろしいですね」



「昨日の夜から、IANUS 事業部には抗議の電話が殺到、サーバーは絶え間ないハッキングを受けています」「我が社の要ともいえる事業の危機です。貴方にはこの事態に対応して頂きます」

「CDマヒの原因が我が社の IANUS にあるという情報が事実であれば、誠意ある対応を取る必要があります」「しかし……あの報道には、恣意的に民衆の意識を反千早態勢へ持って行こうとする意図が感じられます」「……恐らく、これは一介のトーキーが仕出したやんちゃではありません。気をつけて」

#### ◆結末

費用として1ゴールドが支給され、シーンエンド。

#### ●カゲ：帝王の憤慨

登場：他のキャストの登場不可

#### ◆解説

「カゲ」が稲垣司政官から、『クグツ』の支援をするようにと依頼されるシーン。

#### ◆描写

その日、N◎VA中は大騒ぎであった。世界中の人が身につけている IANUS に、死に至る病を引き起こす欠陥があったというのだから、それも仕方ないといえる。

しかし、それとは別に、大騒ぎをしている人物が居た。他ならぬ、N◎VA司政官様だ。

#### ▼セリフ：稲垣光平

「手前も見ただろう、昨日の糞つたれな報道を！ お陰でこっちは大迷惑だ！」

「千早は俺の大事な大事な金づるだ。それを維持する為に、俺は奴らに散々甘い汁を吸わせてやってきたんだ！ こんな糞下らない事で潰れて貰っちゃ困るんだよ」

「千早雅之は後方処理課を動かしたらしいが、どうも頼りねえ。『カゲ』、俺はお前を信用している。都合の悪いモンを揉み消すんだ、お前にはお手のものだだろう？」  
「奴らには話を通してある。『クグツ』って工作員に協力して、何とかこの騒ぎを収めろ。金なら払う！」

#### ◆結末

依頼費として、1ゴールドが渡される。成功報酬は更にもう1ゴールドだ。

## リサーチフェイズ

Research Phase

### ■クライマックスの条件

テラウェアの研究ラボに潜入し、【CDマヒの真実】の情報を手に入れたらクライマックス。

#### ●トーキー：貴方を信じてる

条件：リサーチの最初のシーン

登場：〈社会：N◎VA〉〈コネ：『トーキー』〉 10

#### ◆解説

『トーキー』がルーシーに呼び出されるシーン。ルーシーは『トーキー』に昨日の報道について問いただし、その後容体が悪化して集中治療室に運ばれる。

#### ◆描写1

君が綿<sup>かいもん</sup>抜に渡した映像が、改竄されて電波に乗った次の日、君はルーシーに呼び出された。

車椅子に乗ったルーシーにいつもの笑顔は無く、泣きそうな顔で歯を食いしばっている。

#### ▼セリフ：ルーシー

「見たよ、昨日の放送」

「あの報道を見た人から、すごい数の手紙が来たよ。『苦しいだろうけど頑張って』『辛いだろうけど諦めないで』『……そんな手紙ばかり』

「……ちがつよ、あんなの、私じゃない。憐れまれる事なんて、私、望んでない」

「ねえ、『トーキー』さん、あれは貴方がやったんじゃないよね？『トーキー』さんは、私との約束、破ったりしないよね……？」

「私、『トーキー』さんの事、信じてるから……」

#### ◆描写2

突如、ルーシーが胸を押さえて苦しみ始める。彼女の IANUS に接続されているモニター装置がアラームを発し始め、医者や看護師が駆け付ける。

#### ▼セリフ：医者

「いかん、麻痺が呼吸器にまで拡がっている！ すぐに集中治療室へ！」

#### ▼セリフ：ルーシー

「へい、き……だから……すぐ……おさまるから……だから、『トーキー』……さ、ん……」（意識を失う）

#### ◆結末

ルーシーは集中治療室に運ばれる。彼女と連絡をとる事は出来なくなる。

### ●クグツ：シュプレヒコール

条件：『クグツ』の最初のシーン

登場：〈社会：N◎VA、企業、警察〉 10

#### ◆解説

先の報道を受けて、N◎VA 市民による反千早運動が激化している様子を描くシーン。《暴露》の効果で、千早重工には社会戦ダメージ[6：信用失墜]が与えられている。尚、このシーンの目的は街の様子を描く事ではない。キャストの行動にペナルティがかかる事は無い。

#### ◆描写

千早アコロジーを取り巻くように、無数の市民が殺到している。CDマヒへの責任追及を掲げたホロブラカードを手に、市民は口々に怒りの声を上げている。あの報道から、反千早市民運動は激化する一方だ。

#### ●トーキー：貴方を信じてる

ルーシーが倒れた際、登場した看護師の中に、レディ・ストラップは居る。〈無面目〉を使用しているので他人の印象には残らない。

これは後に情報項目にて明らかになるので、このシーン中にプレイヤーに告げる必要はない。

#### シュプレヒコール

市民運動などの集会の参加者が、メッセージなどを繰り返し声を合わせて叫ぶ事を言う。

## ▼セリフ：デモ集団

「街中の人間が IANUS を入れているんだぞ！ 一体どうしてくれるんだ！」  
 「あの可哀想な少女の姿を見て何とも思わないのですか！？ この人でなし！」  
 「千早はCDマヒの責任を取れ！」  
 「『千早はCDマヒの責任を取れ——！！』」

## ◆結末

シュプレヒコールの声はどんどん大きくなって行く。事態は一刻を争うようだ。

## ●トーキー：悲劇のヒロインとして

条件：【ルーシーを監視する女】についての情報を全てリサーチした

登場：《神業》

## ◆解説

レディ・ストラップが、ルーシーを悲劇のヒロインとして、心臓麻痺に見せかけて暗殺するシーン。彼女はシーン開始時に《電 脳 神》を使用し、キャストがシーンに登場できないようにする。《完全偽装》などで打ち消す事で、登場が可能になる。

キャストが登場すると、レディ・ストラップは逃走する。その後目覚めたルーシーと会話。ルーシーは『トーキー』に《ファイト！》を使う。

## ◆描写 1

一般人は立ち入り禁止の集中治療室。何とか一命を取り留めたルーシーが、医療機器に繋がれて眠っている。

その枕元に、ルーシーの担当看護師が立つ。ナース帽を脱ぐと、隠れていた長い髪の毛が生き物の様に蠢き、ルーシーの肌を指す電極となる。

## ▼セリフ：レディ・ストラップ

「悪いわね、ルーシーちゃん。懸命に生きている健気な貴方を殺すのは忍びないのだけれど、これも我が社の繁栄の為なの」  
 「この注 入で最後。貴方は今日、“CDマヒ”で悲劇的な死を遂げる。それを起爆剤にして、民衆は奮い立つわ。千早の命運もこれで終わり」  
 （キャストが登場した）「……邪魔が入ったわね」（退場）

## ◆描写 2

『トーキー』の気配に気づいたのか、ルーシーが目を見ます。ゆっくりと手を伸ばし、『トーキー』の手を握って微笑むルーシー。

## ▼スタイル（※神業のみ使用するエキストラ扱い）

ミストレス=ミストレス◎●、マネキン

## ▼設定

「ねえ、笑ってよ、『トーキー』さん。私、笑ってる貴方の方が好きだな」

CDマヒという奇病に苦しむ少女。16歳。

『トーキー』と出会った時は松葉杖をついて歩いていたが、徐々に体のコントロールを失い車椅子生活となり、最後には心肺の制御を失って意識不明となる。

病気の進行への恐怖にも負けず、常に笑顔と絶やさぬ位の強さを持っている。怖くないのではなく、自分が怖がって暗い顔でいる事で、周りが辛い思いをするのが嫌なのだ。自分が笑顔でいれば、同じ苦しみを持つ人々にも勇気を与えられると思い、それを実行できる、思いやりに満ちたミストレスである。

## ▼セリフ：ルーシー

「ほら、私、生きてるよ」  
 「全く怖くないって言ったら嘘になるけど……まだまだ、負けないよ。笑って……この病氣と、闘い続ける」  
 「だからさ、『トーキー』さん……貴方も……負けないで」  
 ※《ファイト！》を使用

## ◆結末

『トーキー』が戦う決意をしたら、ルーシーは再び眠りに落ちる。以降、【CDマヒの真実】についてリサーチ可能に。シーン終了。

## ●カゲ：闇の先に光あり

条件：テラウェアラボのアドレスに向かって

登場：《社会：企業、テクノロジー、ストリート》10

## ◆解説

テラウェア内で行われていたCDマヒの研究ラボに侵入し、敵が囷で隠している事実を探り当てるシーン。

2つのミッションシーンをクリアすると、ラボの中核に辿り着き、【CDマヒの真実】についての隠された情報が手に入る。尚、PLが2人の場合は、ミッションシーン1のみとする事。

## ◆ミッションシーン 1

ラボに潜入した君達を待ち受けていたのは、真つ当な研究機関とは思えぬ厳重なセキュリティだった。この先に、きっと闇に隠された真実が眠っている筈だ。

内部には、以下のセキュリティが配置されている。

## ・武装した巡回兵（エキストラ：《知覚》15）：

《隠密》か《運動》で対抗。敗北すると発見され、《射撃》固定値17でライオット（爆+7、対象：範囲）による攻撃を受ける。

## ・ウォッチタワー（エキストラ：《知覚》《電脳》20）：

《隠密》か《電脳》で対抗。敗北すると発見され、警備兵トループ20人（『GXD』142p、カーライル・シンジケート相当）が駆けつけ、戦闘になる。

これらを突破したなら、ミッションシーン2へ。

## ◆ミッションシーン 2

数々の警備を切り抜け、ついに研究資料室に辿り着いた。しかし、研究資料室は、ごく一部のアクセス権利者にしか入れない強固なロックにより守られていた。

《不可知》などの神業を使用すれば、内部へ侵入する事が出来る。

## ◆結末

研究資料室への侵入に成功したら、【CDマヒの真実】についてのイベント情報を公開する事。この情報をキャスト達が得ると、自動的にクライマックスとなる。

## ■情報項目

最初に調べられる情報は以下のとおり。

全員共通：CDマヒ、ドキュメンタリー報道

『トーキー』：ルーシー、綿拔篤誠

『クグツ』：第3世代 IANUS



ルーシー



## ◆ルーシー

〈コネ：ルーシー〉〈社会：N◎VA，メディア〉

- 10 CDマヒ患者の一人。強い芯を持ち、闘病に励む少女。ペルソナはミストレス。
- 13 病状は進行しており、余命は長くないといわれている。
- 16 病気の進行速度が、他のCDマヒ患者に比べて早すぎる。
- 18 最近、彼女の様子を常にうかがっている妖しい女がいる。→【ルーシーを監視する女】に派生

## ◆CDマヒ

〈社会：N◎VA，メディア，企業，テクノロジー〉

- 10 正式名称は電脳化由来進行性麻痺。電脳化している人間だけかなり得る奇病。
- 13 発症すると、体が徐々に麻痺しコントロールを失っていく。最終的には肺や心臓の麻痺により致死的となる。
- 15 発症確率が極めて少ない為、あまり世間に認知されておらず、研究も進んでいない。
- 18 第3世代 IANUS の欠陥によるものらしい。→【第3世代 IANUS】に派生

## ◆CDマヒのドキュメンタリー報道

〈コネ：『トーキー』〉

〈社会：N◎VA，メディア，企業〉

- 10 報道を行ったのは『トーキー』らしいが……。
- 12 映っていたのはルーシーという患者。彼女のペルソナはマネキン。→【ルーシー】に派生
- 14 『トーキー』が普段報道を行うのとは異なる回線で放送された。
- 16 映像に改竄の後が見られる。

## ◆綿拔篤誠

〈コネ：ルーシー〉〈社会：N◎VA，メディア，企業〉

- 10 T.F. のCDマヒ患者後援会の代表を務める男。→【CDマヒ患者後援会】に派生
- 12 優しいような表情をした、人の良さそうな老年の紳士である。
- 15 貰った名刺のアドレスに連絡をしても繋がらない。

## ◆CDマヒ患者後援会

〈コネ：T.F. 系〉

〈社会：N◎VA，メディア，ストリート，企業〉

- 15 T.F. にそのような後援会は存在しない。綿拔という人物も T.F. には存在していない。→【綿拔の正体】に派生

## ◆第3世代 IANUS

〈コネ：千早系，稲垣光平〉

〈社会：N◎VA，企業，テクノロジー，メディア〉

- 12 千早重工の要とも言える事業であり、社にもたらす利益は莫大だ。
- 14 過去に IANUS 事業の覇権を巡って、多くの公にできない活動がなされてきた。しかし、欠陥の隠蔽を行った跡は残っていない
- 16 CDマヒの原因はこれの欠陥であるという科学的な根拠は存在しない。

## ◆綿拔の正体

〈社会：企業〉

- 15 テラウェアの работник、ナンバーズだ。コードネームは“800” ミュンヒハウゼン。
- 17 〈虚言〉によって真実を塗り替える情報工作員だ。人の意識操作に長けている。
- 19 千早の信用を失墜させ、IANUS 事業を乗取るのが目的らしい。その為に『トーキー』とルーシーを利用した。

## ◆ルーシーを監視する女

〈知覚〉〈隠密〉〈コネ：ルーシー〉

〈社会：N◎VA，企業〉

- 10 ルーシーの担当看護師のようだ。
- 13 〈無面目〉で看護師に偽装しているカゲ。綿拔篤誠と連絡を取っているようだ。

※以下、綿拔の正体をリサーチ済みの場合

- 15 “800” の右腕。携帯紐のように彼に付きつきりである事と、長い電極紐で編まれた髪が特徴的な事から、「レディ・ストラップ」と呼ばれる。
- 18 暗殺などのシャドウワークを行う。ルーシーの IANUS に少しずつ電脳毒を注入し、CDマヒの進行を早めている。ルーシーの身が危ない。→イベント「●悲劇のヒロインとして」へ

## ◆CDマヒの真実

〈社会：テクノロジー，企業〉

- 16 テラウェアでCDマヒの研究を行っていたラボがあるらしい。そこへ行けば、隠された真実が分かるかもしれない。→【テラウェアラボのアドレス】を取得

▽イベントで入手できる情報

CDマヒは症例こそ少ないものの、第3世代以前の IANUS でも確認されている病気である。原因は第3世代 IANUS そのものの欠陥ではなく、IANUS の電気信号に干渉する新型の感染症によるものだ。

更に、その感染症はごく一部の特異体質をもつ人にしか発症せず、「誰でも罹り得る」というのは明らかに虚偽報道である。

適切な開発環境と資金さえあれば、ワクチンの開発は可能だとされており、テラウェアはこれを IANUS 導入中に投与しただけのものを、第4世代 IANUS と称して売り出そうとしている。

## “800” の名前の由来

ミュンヒハウゼンとは、「ほら吹き男爵」の名前である。ナンバリングは「嘘八百」から。

尚、綿拔篤誠という偽名は、篤志家の篤に誠実の誠。綿拔とは衣類から綿を抜く行事の事で、4月1日に行われる。4月1日と言えば……？

## レディ・ストラップの名前の由来

『ほら吹き男爵の冒険』において、ミュンヒハウゼンが底なし沼に落ちた時、自分の靴紐（ブート・ストラップ）を引っ張って脱出したというエピソードから。

ちなみに、コンピューター起動時の「ブート」という処理は、このエピソードを元にして名付けられたらしい。レディ・ストラップがニューロなのは、それを意識している。

## もっと、CDマヒの真実

病気の治療法の研究開発には、莫大な時間と費用がかかる。企業が開発を行う以上、開発費に見合う利益が見込めない場合、開発が行われることは滅多にない。

テラウェアは、G.C.I 買収時に IANUS に関する膨大な資料を手に入れた。CDマヒのデータもその中に含まれていた。しかし、CDマヒは患者が極めて少ないので、治療法を開発しても利益が見込めなかった為、これを出汁に千早を潰し、IANUS 事業を乗取る事で利益を得ようとしたのだ。

尚、この情報は、特にプレイヤーから疑問が出ない限り伝える必要は無い。シナリオの描きたいテーマに、必ずしも必要な情報では無かった。



## クライマックスフェイズ

Climax Phase

### PLが2人の場合

《神業》の数やアクションランクなどは、PLが2人でもあまり問題にならないだろう。

しかし、キャストの強次第では、若干敵ゲストを弱体化させた方が良くもしいない。その場合はレディ・ストラップの「ブラックドライブ」を外してARを2にするといい。

### 敵ゲストの神業

以下に、神業の一覧とその使用方法を示す。適宜調整する事。

#### ・“800”

- 《ブリーズ!》: OPで使用
- 《不可触》: 《暴露》の妨害
- 《神の御言葉》: 精神攻撃による即殺神業として使用

#### ・レディ・ストラップ

- 《不可知》: カット中、攻撃に使用。p5 柱注釈参照

- 《電脳神》: イベントにて、ルーシーの暗殺に使用

- 《難攻不落》: 死亡ダメージを打ち消す

### ●暴露の光で照らし出せ

#### ◆解説

キャストがCDマヒの隠された真実を発見すると、“800” ミュンヒハウゼンが<sup>アンタクトチャブル</sup>《不可触》を使用して登場する。目的は、真実の<sup>エクスゴーズ</sup>《暴露》の妨害だ。《不可触》は特殊裁定として、彼らを倒す事によってのみ解除されるところ。つまり、カット進行で彼らを倒さない限り、<sup>アンタクトチャブル</sup>《暴露》を使用する事はできない。

#### ◆描写

CDマヒに関する真実を手に入れた君たちの前に現れたのは、綿抜篤誠……いや、“800” ミュンヒハウゼンだ。レディ・ストラップが君達の行く手を遮る。

#### ▼セリフ: “800” ミュンヒハウゼン

「おやおや、真実に辿り着いてしまいましたか。いやはや、お見事です」

「しかし困りますなあ。それを公表されるわけにはいかないんですよ。千早には、潰れていただかなければ」

「報道を行おうとしても無駄ですよ。ここは電磁的に隔離されていますからね」※<sup>アンタクトチャブル</sup>《不可触》を使用

「ところで、人間の脳とは面白いものでしてね。脳が真実であると判断する限り、嘘も真実となるですよ」

「報道によって嘘を真実にする。私が今回行ったのは、貴方のようなトーキーがいつも使っている手段ですよ」

「さて、ではこの街で“嘘”を手にした唯一の人間であ

る貴方達を殺し、我々の“真実”を、より盤石な物にさせて頂きましょうか」

#### ▼セリフ: レディ・ストラップ

「パロン・ミュンヒハウゼンの御言葉に耳を傾けなさい。この方は真実しか口にしないわ……結果的にはね!」

#### ◆カット進行

カット進行に入る事。敵は以下の通り。

- ・“800” ミュンヒハウゼン : AR2
- ・レディ・ストラップ : AR3

キャストは全員で1エンゲージ。敵ゲストは全員で1エンゲージであり、キャストから近距離の場所に居る。

#### ◆結末

敵ゲストを全て倒したらエンディングへ。

#### ▼セリフ: “800” ミュンヒハウゼン

「いいけませんね……死は、嘘では塗りつぶせない」

「これが、暴露の光、か……」



## “800” ミュンヒハウゼン



## ▼設定

「嘘も脳が信じれば真実となります……  
ところで貴方、今、爆弾踏みましたよ」  
シルクハットにステッキを持った老年  
のジェントルマンといった姿の男。嘘を  
脳に直接信じ込ませる精神戦のプロ。

## ▼基本データ

カリスマ、マネキン、レッガー●  
♠4/10 ♣8/14 ♥4/12 ♦8/15

## ▼技能

交渉 8♠♥♦  
心理 4♠♥♦  
自我 4♠♥♦  
※虚言 6♠♥♦  
※ゲシュタルト崩壊 2♠♥♦  
※サブリミナル 2♠♥♦  
※ブラフ 2♠♥♦  
※口封じ 2♠♥♦  
※悪魔のささやき 3♠♥♦

## ▼ブランチ

レッガー/トリックスター：4Lv  
精神攻撃のダメージに常時+ [差分  
値] する。ただし、組み合わせ制限の  
最大値がLv個となる。

## ▼サイコ・アプリケーション

・マインドブラスト……隠：15/電：21  
シーン中、精神攻撃のダメージ+5。

## ▼防具

・ファイバリット……隠：18/電：16  
受ける精神ダメージを-2。

※防(殴/刺/斬/爆)：0/0/0/1

## ▼行動指針

推奨プロット：♠♣♥♦ /AR：2  
最初のマイナーでマインドブラストを  
起動。〈交渉〉〈虚言〉〈ゲシュタルト崩  
壊〉〈サブリミナル〉〈口封じ〉の組み  
合わせで〈心理〉組み合わせ必須、リアク  
ション制限：〈交渉〉の精神攻撃を行う。  
最大達成値は25。ブランチの効果を適  
用してダメージは[5+差分値×2]。  
プロットのカードが悪い時は〈口封  
じ〉の代わりに〈ブラフ〉を組み合わせ  
て判定の札を手札に入れ替える。  
演出は、脳に直接嘘を信じ込ませる。

## レディ・ストラップ



## ▼設定

「どんな嘘でも真実にしてみせるわ。パ  
ロンが望みならばね！」  
“800” ミュンヒハウゼンの右腕。彼  
の計画の為に暗殺や偽装工作などを行う  
カゲ。電極で編まれた長い髪が特徴。

## ▼基本データ

カブト、カゲ●●、ニューロ  
♠8/13 ♣3/14 ♥8/13 ♦5/11

## ▼技能

運動 4♠♥♦  
電脳 2♠♥♦  
白兵 3♠♥♦  
知覚 2♠♥♦  
コネ：“800” 4♠♥♦  
※無面目 4♠♥♦  
※彫像 4♠♥♦  
※死点撃ち 3♠♥♦  
※一心同体 3♠♥♦  
※電光石火 2♠♥♦

## ▼武器

・レディバンサー※……隠：18/電：15  
攻：[刺+2] 射：至近  
ダメージを与えると相手を[捕縛]。  
・スティング×3……隠：12/電：18  
攻：[斬+4] 射：至近 (投擲：近)

## ▼全身義体

・守宮……隠：18/電：15  
〈運動〉常時+2。オプションはブラッ  
クックドライブ (AR常時3)、シン  
クロン (リアクション時〈運動〉+2)  
※防(殴/刺/斬/爆)：6/4/5/2

## ▼その他

・スリーアクション……隠：12/電：15

・JJF……隠：12/電：15  
シーン中〈運動〉+2、ダメージ+2。

## ▼行動指針

推奨プロット：♠♣♥♦ /AR：3  
マイナーでJJF、シンクロン起動。  
〈運動〉〈電光石火〉〈一心同体〉で“800”  
を庇って[避け] (※最大達成値25)。  
[避け]に成功したら手札から〈運動〉  
〈白兵〉〈彫像〉〈死点撃ち〉 (※最大達成  
値23)。対象に防御力無視の攻撃を行  
い、10点以上のダメージを与えたら対  
象は行動不可に。レディバンサー使用時  
は更に[捕縛]を与える。ダメージを与  
えたい場合は〈彫像〉を外す。

## エンディングフェイズ

## Ending Phase

各キャストとこれまでの物語に相応しいエンディング  
を演出すること。ここにはその一例を示す。

## ●共通エンド：暴露の光

『トーキー』の《暴露》を使用し、世界にCDマヒの  
隠された真実を暴きだす。……そういや『トーキー』、ルー  
シーとの約束はもちろん覚えているよな？

## ●カゲ：光と影

CDマヒの恐怖に最も怯えていたのは帝王稲垣本人で  
あった。彼は執拗に君にCDマヒの真実を訪ねてくる。  
カゲに真実を訪ねるとは、おかしい話じゃないか。

## ▼セリフ：稲垣光平

「げはは！ 流石は『カゲ』。テラウェアの野郎どもの糞  
下らねえ企みは潰えてめでたしめでたしってわけだ」  
「——ところで、『カゲ』。本当に、その、CDマヒつ  
うのは、IANUSの欠陥じゃ無えんだろうな……？」  
「そうかそうか！ そうなら良いんだ。いや、別に疑って  
たわけじゃねえんだぞ！」  
「なんだよ、怖がってなんかねえよ！」

## ●クグツ：企業の責任

千早雅之から労いの言葉を受ける。

## ▼セリフ：千早雅之

「お疲れ様でした、『クグツ』」  
「しかし、今回の件。真に信頼を手に入れる為には、我々  
も何か行動をするべきなのでしょうね」

## ●トーキー：世界を変える力

ルーシーとの会話。《暴露》の使用法により演出は  
変わってくる。例えば、人々がCDマヒの患者を救う為  
に募金活動などを行ったおかげで、ワクチンが無事開発  
された、など。

リハビリをするルーシーの、まるで太陽のような笑顔  
をフィルムが映し出す。この笑顔は、きっと別の病気の  
人々にも勇気をもたらすだろう。

## ▼セリフ：ルーシー

「『トーキー』さん、見て見て！ ほら、少しずつだけど、  
また足が動くようになったんだ！」  
「リハビリはちょっとキツいけどさ、見ててよ。きっと  
すぐに皆と同じように歩けるようになってみせるから」  
「『トーキー』さん、ありがとう。私を取材してくれたの  
が貴方で、本当に良かった」

## エンディング

エンディングはプレイヤーのリ  
ソースだ。キャストの望む演出を  
行って欲しい。ここに書いている  
のは一例でしかない。



## プレアクト情報

Pre-act Info.

### 本シナリオについて

本シナリオは、テーマイラストやアクトトレーラーを見れば想像して頂けると思うが、非常に異色のシナリオだ。アルドラが人間に食べられそうになるという状況だけに留まらず、登場するゲスト達は非常にアクが強く、強烈なインパクトを持っている。それこそが本シナリオの魅力であるが、マインドセッティングの際には少し気をつける事。

じっくり腰をすえて、クールにカッコよくN◎VAを遊びたい場合などは、避けた方が無難かもしれない。

### サロン・ドルファンとアルドラ

アルドラについては『CG』のp 105を、サロン・ドルファンについては『NTW』のp 52を参照のこと。アルドラがN◎VAのアヤカシ達に強い影響力を持っている事は、少なくとも知っておくと良い。

### ■シナリオデータ

プレイヤー：2～3人

プレイ時間：3～5時間（オンライン：9～12時間）

### ■ストーリー

クラブ・サヴァラン——社交界のVIP たちによって構成された秘密クラブ。有り余る資金と権力によって、法も条約も無視して美食を求める集団だ。

その一員である少女、姫野杏奈は、同時に“女大公”アルドラに愛される寵姫でもあった。彼女は、アルドラへの愛情が高じて、彼女を食べてしまいたいという衝動に取りつかれる。杏奈の叔父であり、クラブのリーダーでもある桐ヶ谷蓋世の力を借り、アルドラを捕えた杏奈だったが、その心は揺れていた。アルドラを食べることと、アルドラに食べられること。その両方が、彼女にとっては至高の誘惑だったのだ。

そんな心を見抜いたアルドラは、ひとつのゲームを持ちかける。アルドラの腹心である『アヤカシ』が、彼女を救い出せるかどうかのゲームだ。その提案を受け入れた杏奈は、ゲームの結果を見届けるため、アルドラを捜す『アヤカシ』に同行する。桐ヶ谷蓋世の身辺調査をする『クグツ』、クラブ・サヴァランに武器を売る商人レイヴンを追う『バサラ』。彼らが各々の目的のため合流し、アルドラを救い出したならシナリオ終了となる。

### ■アクトトレーラー

キャスト作成前に、以下のアクトトレーラーをプレイヤーに提示すること。

人間は闇に恐怖を抱く。

そこは叔らの棲みかだと、遠い記憶で知ってるからだ。

アヤカシと呼ばれる魔物たち。天敵を無くしたはずの人間は、今でも夜ごとその食糧となる。

だが、捕食者の座も永遠ではない。

強大なアヤカシが、彼らのディナーに並ぶこともあるだろう。

例えばそう、今宵のメニューに記された

“美しい女大公の活造り 災厄の街風”

それもまた、ニューロエイジの真実だ。

トーキョー N◎VA The Detonation

『食卓のアルドラ』

運命の扉。

開くも閉じるも、シェフの気まぐれ。

## ■キャスト作成

RLはプレイヤーに、ハンドアウト（あるいは、付属CD・R内のプレアクトシート）を配布すること。

## ●敵ゲストの強さ

本シナリオの敵ゲストの最大達成値は25を目安に作成されている。

シナリオ上ではキャスト作成の数値的なレギュレーションは定めないが、RLはこれを参考にレギュレーションを決定しても良いだろう。

## ●必要な神業

敵の即殺神業のみでキャストがリタイアするのを防ぐために、全員で2枚以上の防御系神業が必要だ。

## ●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する社会技能は、〈社会：アストラル〉〈社会：ストリート〉〈社会：企業〉などである。

## ■キャスト間コネクション

キャスト間コネは、以下の順で取得せよ。

『アヤカシ』→『クグツ』→『バサラ』→『アヤカシ』

### 必要な神業

本シナリオでは、ゲストからの神業の支援は一切無い為、〈不可知〉を防ぐための神業も必要防御系神業として換算している。

## No.1:Cast Make Guideline

推奨設定：サロン・ドルファンに所属するアヤカシ  
追加設定：アルドラの最も信頼する腹心である

何者かに攫われた主君・アルドラを救い出す導入だ。コネ対象の杏奈はアルドラの“寵姫”である。

彼女とは知り合いでも良いし、アクトで初めて出会った事にしても構わない。

### ▼特記事項

・特になし。

## 推奨スタイル：アヤカシ

Scenario Handout

コネ：姫野 杏奈

推奨スト：【感情】

君は“女大公”アルドラ・ドルファンの最も信頼厚き腹心だ。  
ある日君の前に現れた人間の少女、姫野杏奈は、自らをアルドラに生気を捧げる寵姫だと述べた。彼女のもとへと訪れたアルドラが、その帰道で何者かに連れ去られたというのだ。事実ならば、すぐにでも彼女を救い出さなければならない。同行を願う杏奈を連れ、君は搜索へと向かった。

【PS：アルドラを救出する】

## No.2:Cast Make Guideline

推奨設定：千早重工後方処理課の作業員  
追加設定：特になし

オープニングでは、既に桐ヶ谷蓋世の屋敷に使用人として潜入した所から始まる。この行動には〈完全偽装〉は消費しない。

### ▼特記事項

・もし、初期の【PS】を達成したならば、速やかにその内容を【PS：蓋世を始末し、千早との関係を抹消する】に書きかえる事。

## 推奨スタイル：クグツ

Scenario Handout

コネ：桐ヶ谷 蓋世

推奨スト：【外界】

千早重工後方処理課の一員である君は、今ある屋敷に使用人として潜入している。  
屋敷の主である桐ヶ谷は、稀代の食通としても知られる千早の重役だ。その彼が、大規模な密輸犯罪に手を染めているようだという。  
君は彼の身辺を探り、それが事実であったなら、千早の不利益となる前に“処理”しなくてはならないだろう。

【PS：蓋世の犯罪の証拠を探る】

## No.3:Cast Make Guideline

推奨設定：フリーランスの退魔師  
追加設定：陳元義から依頼を受ける

陳元義（『TND』p 71）からの依頼で、呪具商人レイヴンの動向を追う導入だ。レイヴンとは因縁の関係などであっても構わないだろう。

### ▼特記事項

・特になし。

## 推奨スタイル：バサラ

Scenario Handout

コネ：レイヴン

推奨スト：【外界】

君は神秘の術を極めた退魔士だ。今回の依頼人である陳は、ひとりの男がN◎VAを訪れたことを君に告げる。  
その男の名は、レイヴン。呪具を専門に扱う密売人であり、己の利益のために霊的災害すら引き起こすと言われる災厄の商人だ。彼の引き起こす災厄を未然に防ぐ——それが、君の役割だ。

【PS：レイヴンの企みを阻止する】



## オープニングフェイズ

Opening Phase

## 本シナリオにおけるアルドラ

このシナリオ中において、アルドラはオープニング第1シーンにて使用される《M&A》の効果で無力化されており、エキストラである。この事はプレイヤーにきちんと伝えておく事。

つまりは自身の《霧散》で蓋世達の手から逃れる事も出来ない、《天変地異》などを使用されれば成すすべし無く死んでしまう。

## 「君の給仕は中々だった」

「クグツ」の偽装の完璧さを演出するセリフだ。もしキャストのキャラ性と合わない場合、適宜変更する事。

## ●RLシーン：雨にうたれて

登場：キャストの登場不可

## ◆解説1

アルドラが捕獲されるシーン。

現在の彼女の“寵姫”である少女の家から帰るところを、桐ヶ谷蓋世とウィベットが待ち受けている。蓋世の《買収》の効果により、アルドラは捕らわれの身となる。

## ◆描写1

夜。雨の中、ひとりの少女が歩いている。手に持った傘をまわして、口元には笑みを浮かべて、楽しげに肩を揺らす。可憐な少女にしか見えないその姿、それこそが——N◎VA 最大のサロンを総べる恐ろしき女大公、アルドラ・ドルファンその人だった。

彼女の足が、不意に止まる。その視線の先には、黒傘をさした一人の男が立っていた。

## ▼セリフ：アルドラと男

「雨の中の散歩、というご様子ではありませんわね」

「はは、さすがは女大公。噂どおりのご慧眼だ。お目にかかることができ、光栄の至り」

「……三文芝居は好きではないわ、人間。わたくしが誰であるかを知って今日この時ここに現れたというのなら、余計な言葉は死に通じると思いなさい」

「なるほど。ならば簡潔に。その身柄、貰い受けましょう」

※《買収》を使用

## ◆描写2

男が指を鳴らすと、物陰から幾条もの鎖が放たれてアルドラの体に絡みつき、重厚な呪文が響き渡る。

「が……っ!？」

「疑似太陽光、魔物封じの鎖、プログラムによる聖句の多重詠唱……そして」

ドスドススッ! 鈍い衝撃。アルドラは信じられないという目で、自分の体から生えた幾条もの刃を見る。「——刀身を聖別した純銀製のレイピア、だよ。あはは、本当に効くんだ!」

## ◆結末

背後から聞こえる楽しげな声。それを最後まで聞くことなく、彼女の意識は闇へと沈んでいった。シーン終了。

## ●クグツ：潜入任務

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

桐ヶ谷蓋世の屋敷に使用人として潜入した『クグツ』が、食事の給仕をしているシーン。蓋世は『クグツ』に地下室には入らないようにと念を押す。調査費用として、あらかじめ1シルバーを渡しておくこと。

## ◆描写

千早アコロジ内にとびえる、一際巨大な屋敷。君はそこに使用人として潜入していた。目的は、館の主たる千早グループ重役、桐ヶ谷蓋世の身辺調査。彼が大規模な犯罪に関わっているという噂の証拠を探すことだ。

そして今、君は屋敷の一室で蓋世の食事の給仕を行っている。スキヤキ揃いの最高級ディナーを食べ終えた蓋世は、君が食器を片づけようと手を伸ばした時、不意に声をかけてきた。

## ▼セリフ：桐ヶ谷蓋世

「君は、確か先日新しく入ったばかりだったな」

「私は食事とは、対象と一体化する神聖な行為だと考えている。料理の質だけでなく、空間、配置された人員も含めて、全てが食の楽しみのために奉仕するものでなくてはいいけない。そうは思わないかね?」

「君の給仕は中々だった。これからも、期待しているよ」

「ああ、そうだ。最後に一つだけ」

「すでに聞いているかもしれないが、屋敷の地下室は、私自身が管理している。決して入らないように」

「(部屋の中身について聞かれたら)……良き使用人の条件とは、節度を保つことだ。そうは思わないかね?」

## ◆結末

彼は満足げにうなずいて、部屋を出て行った。その後、続くスーツ姿の女が、一度だけ君の方を見て笑う。まるで小馬鹿にするような、失礼な笑みだった。

## ●バサラ：災厄の商人

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

陳元義から依頼を受けるシーン。レイヴンがN◎VAを訪れていること、アヤカシたちに不穏な動きがあることを告げ、『バサラ』に事態の調査と収拾を依頼する。

## ◆描写

机の上に置かれた、水の張った盆。そこに半身を機械化した老人……今回の依頼人である陳元義が手をかざすと、水面が微かに揺らぎ、一人の男の姿を映し出した。コートにサングラス姿の、一目見て堅気の人間ではないというタイプの男だ。

## ▼セリフ：陳元義

「お主に探って貰いたいのはこの男よ。名はレイヴン」

「呪物の密売人だ。利益の為ならばどのような霊的被害を出そうと省みない。“災厄の商人”と呼ぶ者もおる」

「こやつがN◎VAに入った時期と前後して、アヤカシたちに不穏な気配が漂っておる。無関係ではあるまい」

「わしはこの街の居心地がそれなりに気に入っておる。奴のたくらみを暴き、災厄を未然に防いでもらいたい」

## ◆結末

依頼料1ゴールドを渡してシーン終了。

## ●アヤカシ：美しき寵姫

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

杏奈と遭遇するシーン。『アヤカシ』のもとにやってきた彼女は、アルドラを救ってほしいと頼む。

## ◆描写

夜の街。人の気配が感じられない裏路地を歩く君の元に、一羽の蝶が現れる。淡い光を放ち羽ばたくそれは、間違いない、君の主たるアルドラ・ドルファンの分身だ。

そして、その蝶を追いかけるように現れた一人の美しい少女が、大きな目を見開いて、君を見つめていた。

## ▼セリフ：姫野杏奈

「あの……あなたが、『アヤカシ』さん、ですか？」  
「私は、姫野杏奈と申します。アルドラ様の——<sup>ちやう</sup>龍を、  
いただいている者です」

「お願いします！ アルドラ様を、助けてください！」

「私の部屋からお帰りになる途中、何者かがあの方をさらっていったんです。私は物陰から見ていて、だけどどうすることもできなかった……」

「アルドラ様が最後に放ったこの蝶が、私を貴方のところに導いてくれました」

「貴方はあの方が最も信頼する方だと聞いています。どうか、私と一緒にあの方を救い出してください……！」

## ◆結末

『アヤカシ』が承諾したならば、シーン終了。

## ●アヤカシ：美しき龍姫

杏奈は『アヤカシ』に同行してくる。これを拒もうとした場合、杏奈は『プリース！』を使用して無理やり着いてくる。この神業を打ち消そうとする場合、彼女がついてくる事がシナリオ上必要なのだと告げ、却下する事。

## リサーチフェイズ

Research Phase

## ■クライマックスの条件

クラブ・サヴァランの晩餐会の会場に向かったらクライマックス。

## ●クグツ：開かずの扉

条件：リサーチの最初のシーン

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

『クグツ』が蓋世の屋敷の地下室で、アルドラと遭遇するシーン。地下室へと続く扉を開けるには、〈電脳〉か〈知覚〉で難易度15の判定に成功する必要がある。

アルドラは蓋世の《<sup>M&A</sup>買収》の効果によって拘束されており、現時点では救いだすことはできない

## ◆描写1

これまでの調査では、屋敷の中に証跡となるようなものは見つからなかった。探していない場所は立ち入り禁止の地下室のみ。君は蓋世が屋敷を空けたチャンスに乗り、地下室への進入を試みた。無骨な扉には、厳重なロックがかかけられている。

## ◆描写2（※扉のロック解除に成功した）

地下へと続く階段を降りていくと、じきに倉庫のような小さな部屋に辿り着く。そしてそこには、何重にも鎖で戒められた、幼い少女の姿があった。

## ▼セリフ：アルドラ

「どなたかしら？」

「見たところ彼らの仲間というわけではなさそうだけれど……私の配下でもないようね。予期せぬお客、というところかしら」

「私はアルドラ・ドルファン。N◎VAの夜を繰る者。こんな姿では説得力がないかもしれないけれど、ね」

「あの男が何をしているのか知りたいのね。ならば、『アヤカシ』を探しなさい。あるいは、貴方の求める真実に至る助けとなるかもしれないわ」

「もうお行きなさい。ぐずぐずしていると、彼らがやってくるわよ」

## ◆結末

「さて、これはどちらにとつての鬼かしらね——」

部屋を立ち去る君の背中に、そんな彼女の謎めいた咬きが届いてきた。シーン終了。

## ●RLシーン：主従の密談

条件：上のシーンの直後

登場：キャストの登場不可

## ◆解説

蓋世とウィベットの会話のシーン。アルドラと何者かが接触したことを受け、彼女の身柄を別の場所へ移送する。以後、ウィベットの《<sup>アンタローフ</sup>完全偽装》によりアルドラのアドレスを開くことはできなくなる。

## ◆描写

とあるビルの一室。そこは、桐ヶ谷蓋世が所有する調理室だった。一流レストラン並の設備に囲まれ料理に没頭する彼の背後に、音も無くスーツ姿の女が現れる。

## ▼セリフ：蓋世とウィベット

ウィベット「お疲れ様です、マスター」

蓋世「ウィベットか。何か緊急の用件でもあったか」

ウィベット「何者かが女大公に接触した形跡があります」

蓋世「鼠が入り込んで、というわけか。だが本人に聞いたところで、答えはしまい。構わん、お前の責任で、公を別の場所へとお連れしろ……ああ、彼女は大切な“ゲスト”だ。けて、失礼の無いようにな」

ウィベット「あははっ、承知していますよ、マスター」

◆結末  
「ああ、待てウィベット。今ちょうど、試作品が完成したところで。仕事の前に、お前の感想を聞かせてくれ」

「へえ……？」  
彼女は面白がるように頭上を見上げ、「では、遠慮なく」と蓋世の差し出した皿に手を伸ばす。そんな主従の姿を、天井から吊り下げられた食材——体長3mのシベリアトラが、どこか無念そうに見下ろしていた。

## ▼スタイル

マネキン◎、エグゼク、ハイランダー●

## ▼設定

「アルドラ様に入られた私が、神に祈るのは滑稽でしょうか……？」

聖ミシェル学院に通う令嬢であり、アルドラの龍姫。アルドラに心酔しており、彼女に食べられることすら至高の喜びであると信じて疑わない。その愛情ゆえに自分自身が逆にアルドラを食べてしまいたいという思いに至り、叔父である蓋世とクラブ・サヴァランの力を用いてアルドラを捕えた。

しかしその心はまだ、食べる喜びと食べられる喜びとの間で揺れている。

## ●クグツ：開かずの扉

扉を開く判定にどうしても成功できないという場合があるかもしれない。その様な時は「切り札」を使えば成功できる事を示唆すると良い。

もし切り札ルールを採用していないのであれば、判定を少し甘く裁定しても良い。例えば〈白兵〉で扉を破壊するなど認めるなど。

## アルドラを救い出す事は出来ない

『クグツ』が神業を使用してアルドラを解放しようとした場合、ここはまだその場面ではない事をはっきりと告げること。

それでも神業を使用した場合、蓋世に〈チャイ〉を使用させて『クグツ』の神業を打ち消す。

## シベリアトラ

地上最強の猛獣とも言われる。絶滅危惧種。ニューロエジソンには数える程度しか居ないだろう。

余談だが、このシベリアトラ、蓋世が身代でねじ伏せたらしい……



姫野 杏奈

## ●バサラ：美味しい話

シナリオでは『バサラ』がレイヴンの話を断る事を想定している。もし受け入れた場合には、他のキャストと敵対する立場となるだろう。



桐ヶ谷 蓋世

## ●アヤカシ：愛と信頼

条件：『アヤカン』が【姫野杏奈】をリサーチした。  
登場：〈社会：N◎VA、アストラル、ストリート〉 10

## ◆解説

杏奈と会話するシーン。

## ◆描写

情報収集の合間、一休みの時間。何かを考え込むようにしている杏奈は、ぼつりぼつりと話した。

## ▼セリフ：姫野杏奈

「私……ずっと、貴方に嫉妬していました。アルドラ様から、あんなにも信頼されている貴方から」「でも、私も、私だって、あの方は、言ってくださったんです。他の誰よりも、私の血が美味しいって」「食事とは、対象と一体化する行為だそうです……知っている人の受け売りですけど。だとしたら、その行為を通じてあの方とひとつになるのは、とても素敵なこと。そうは思いませんか？」

## ◆結末

「ごめんなさい、変な話をしてしまって。行きましょう？今は少しでも時間が惜しいんですから」  
彼女はそう言って、君の手を引いて歩きます。

## ●バサラ：美味しい話

条件：『バサラ』が【レイヴン】の情報を全て得た。  
登場：〈社会：N◎VA、アストラル、ストリート〉 10

## ◆解説

レイヴンが『バサラ』に対し、接触してくる。彼は自らの計画と望みを告げ、協力を要請してくる。

## ◆描写

君の懷でポケットロンが鳴り響く。

## ▼セリフ：レイヴン

「『バサラ』だな？俺がレイヴンだ。お前と話がしたい」「話はシンプルだ。俺と手を組まないか？」「この街は強力な霊脈でありながら、安定を保っている。アルドラが、魔物どもを徹底的に統率しているからだ」「彼女を失えば、これまで抑えつけられてきた勢力が動き出す。アヤカシ達による被害も多発するだろう。俺たちのような人種には、儲け話の山さ」「金が手に入る。莫大な金が、俺とお前のものになるんだ。どうだ？悪くない話だろう？」

## ◆結末

「せっかくの儲け話をフイにしたな。馬鹿な奴だ」  
捨て台詞と共に、通信は途絶した。シーン終了。

## ▼スタイル

カプキ●、クロマク、エグゼク◎

## ▼設定

「全てを食らおう、手が届くのなら、あの太陽さえも！」

食通・料理人としても知られる千早グループの重役。杏奈の叔父にあたる。財界人による秘密美食クラブ・サヴァランを発足。この世の美味・珍味を食べるためならばどんな犠牲も厭わず、様々な密輸犯罪に手を染めている。アルドラを捕えたのも、伝説級のアヤカシである彼女はどんな味をするのか？ただそれが知りたかったからである。

▼習得技能・特技（キャストの戦力次第では戦闘に参加させてもよい）

〈芸術：美食〉〈熱狂〉〈※圧力〉〈帝王のオーラ〉〈泰然自若〉など

## ●クグツ：敵陣へ

条件：[食材倉庫のアドレス]へ向かった  
登場：〈社会：N◎VA、企業、ストリート〉 10

## ◆解説

クラブ・サヴァランの持つ倉庫に向かうシーン。倉庫は偽装したクラブのエージェントたち（『GXD』p142：カーライル・シンジケート：21人トループ×2）により守られている。戦闘に勝利するか、登場キャスト全員が難易度16の〈隠密〉判定に成功する必要がある。

## ◆描写1

タタラ街の一角に、それはあった。一見何の変哲もない倉庫に見えるが、周囲巡回している警備員はどれも、偽装した戦闘用サイボーグ。さらに全ての進入路には高度なセキュリティが張り巡らされており、まるで要塞のような防衛態勢だ。

## ◆描写2

倉庫の中には、クラブ・サヴァランが集めた“食材”が厳重に保管されていた。世界的な保護対象である希少な動植物たちが、まるで見本市のように並べられている。だが、その中にアルドラの姿がない。

更に奥へと進んでいくと、トロンカ並べられた小さな部屋。ここを調べれば、何か情報が掴めるかもしれない。

## ◆結末

倉庫の中の仕事室では、【クラブ・サヴァラン（2）】に関する情報収集を行うことができる。情報収集を行ったらシーン終了。

## ●アヤカシ：小さな恋の物語

条件：【クラブ・サヴァラン2】の情報を入手した  
登場：〈社会：N◎VA、企業、アストラル〉 10

## ◆解説

杏奈が真実を語るシーン。晩餐会会場のアドレスを得る。会場に向かったら、クライマックスへ。

## ◆描写

「さすが、ですね」

杏奈は静かな声でそう呟いた。君を見つめる彼女の目はひどく透明で、どこか安堵しているようにも見える。

## ▼セリフ：姫野杏奈

「私はサヴァランの一員。桐ヶ谷蓋世は私の叔父です」「アルドラ様を捕える手配をしたのも、私です——だって、あの方を、愛していたから……愛し過ぎてしまって、食べてしまいたくなってしまった」「私には、決められなかった。あの方に食べられること。あの方を食べること。どちらが本当の幸せなのか」「そんな時——アルドラ様はおっしゃったんです。どちらかに決めるための賭けをしようと。最も信頼する『アヤカン』さんがアルドラ様を救えるかどうかの賭け」「貴方を見極める為、一緒に行動して、やっと自分の気持ちが変わったんです。私は貴方に負けたくない。貴方より、あの方に必要とされたい」「今夜の晩餐会に、叔父はあの方を連れてくるでしょう。今宵のメインディッシュとして」「貴方には、私を殺す権利があると思います。でも、せ



めて——亡骸は、あの方のもとへ……」

### ◆結末

キャストたちが晩餐会の会場であるレストランへと向かったならシーン終了。クライマックスへ。

## ■情報項目

最初に調べられる情報は以下のとおり。

『アヤカシ』：アルドラ・ドルファン、姫野杏奈

『クグツ』：桐ヶ谷蓋世

『バサラ』：レイヴン

### ◆アルドラ・ドルファン

〈社会：アストラル、ストリート、N◎VA〉

■00 基本情報。『CG』p105 参照。

□12 自分に心酔する人間から、気に入った者を寵姫として愛玩する。1年の後、寵姫はその生気の全てを彼女に吸いつくされて死ぬ。

□16 現在行方不明。さらわれたらしい。

→【アルドラをさらった者達】に派生

### ◆姫野杏奈

〈コネ：姫野杏奈〉〈社会：N◎VA、企業、学生〉

□12 聖ミシェル学院に通う少女。両親は千早の関係者であり、非常な資産家。

□14 現在の“女大公”アルドラの寵姫である。

□16 アルドラに生気を吸われ死する定めだが、そのことも幸福と感じて受け止めている。

### ◆アルドラをさらった者たち

〈社会：アストラル、企業、ストリート、N◎VA〉

□15 アルドラの行動を予測したうえで、強力な呪具で彼女を捕えている。綿密に計画された襲撃だ。

□17 クラブ・サヴァランのエージェントである。

→【クラブ・サヴァラン】に派生

□19 レイヴンという人物がアルドラの失踪に触れまわっている。→【レイヴン】に派生

### ◆桐ヶ谷蓋世

〈社会：企業、社交界、警察、N◎VA〉

□15 千早の重役。辣腕の企業家であると同時に、稀代の食通としても有名。自らも一流の料理人。

□18 ウィベットと呼ばれる部下を、常に傍らにひきつけている。→【ウィベット】に派生

□21 大規模な犯罪に関わっているという噂がある。主な容疑は、保護動物等の密輸である。

### ◆レイヴン

〈コネ：レイヴン〉〈社会：アストラル、ストリート〉

□13 呪具専門の密売人。混乱を引き起こし、呪具の市場を作る手口から“災厄の商人”と呼ばれる。

□16 最近N◎VAを訪れ、桐ヶ谷蓋世という人物と大量の取引をし、今も彼と行動を共にしている。

→【桐ヶ谷蓋世】に派生

### ◆ウィベット

〈社会：企業、ストリート、N◎VA〉

□10 桐ヶ谷蓋世の私的な部下。女性。

□13 ストリートチルドレンだった頃に蓋世に拾われて以来、彼に対して絶対の忠誠を誓っている。

□15 蓋世の護衛だけでなく、潜入・奪取・誘拐・脅迫などあらゆるブラックオペレーションに精通している。

### ◆クラブ・サヴァラン

〈社会：企業、社交界、N◎VA〉

□13 政財界のVIP達で構成された秘密クラブ。世界中の美味珍味を求める食通達の集まりだ。

□15 珍味を求めるあまり、条約保護動物など違法な“食材”にも手を出している。

□16 より詳しい情報を得るには、特定の場所で情報収集を行う必要がある。

▼【桐ヶ谷蓋世】の情報を全て得た後リサーチ可能な情報

□21 タタラ街に、密輸入した食材を保管している倉庫があるらしい。→【アドレス】を入手

### ◆クラブ・サヴァラン（2）

〈電腦〉〈知覚〉

□16 メンバーが持ち回りでホストとなり、美味・珍味を振る舞う会合が、定期的に開催されている。

□18 次回ホストは、『桐ヶ谷蓋世』と『姫野杏奈』のふたりである。

### ◆レイヴンの商品

〈コネ：レイヴン〉〈社会：アストラル、ストリート〉

□12 蓋世が購入したのは、アヤカシ捕獲用の道具だ。

□15 魔王級のアヤカシであっても、傷つけずに捕えることが可能な程の物を取りそろえたようだ。

### シナリオの着地点について

シナリオを進めていくと、次第に杏奈が事件の黒幕である事が分かってくる。更に、杏奈の願いは「アルドラを食べる事」「アルドラに食べられる事」の二者択一である。アルドラ自身もその事を良しとしている為、基本的には彼女と和解する結末は用意されていない事に、プレイヤーは気付くだろう。しかし、ヒロインとは言い難いキャラであるとはいえ、シナリオコネが死ぬ事を嫌だと思ふプレイヤーも居るかもしれない。また、どちらにしろ杏奈の願いが叶えられてしまう事が気に入らない場合もあるだろう。

そういう時、どうするべきか。杏奈は、基本的に説得には神業を使わない限り応じない（彼女の願いがかなうのは〈天罰〉の効果としてもよい）。だが、アルドラを裏切ったことは自分の罪だと考えている為、それに言及して『アヤカシ』が命令するならば、その内容に従う。

## クライマックスフェイズ

Climax Phase

### ●RLシーン：美食礼讃

#### ◆描写

ホワイトエリアの高級レストラン。今夜、そこはある団体のために貸し切りとなっていた。……クラブ・サヴァラン。美食の追求のためならば、法律も倫理も踏み越え

る古今無双の食通集団。彼らの熱い視線が、今はただ、たったひとりの少女の上に注がれている。

薄衣を身にまとい、鎖で調理台の上に戒められた“女大公”アルドラ。その傍らにはシェフ服の桐ヶ谷蓋世の姿があった。蓋世はメンバー達に向かって語りかける。

## 敵ゲストの神業

以下に、神業の一覧とその使用方法を示す。適宜調整する事。

### ・桐ヶ谷蓋世

基本的には神業のみ使用し、戦闘には参加しないが、キャストの戦力次第では参加しても良い。

■《買収》：OPで使用

■《腹心》：ウィベットの使役

□《チャイ》：キャストの神業や

判定を打ち消す

### ・ウィベット

□《チャイ》：防御に使用

■《完全偽装》：アルドラの身柄を隠すために使用

□《チャイ》：攻撃に使用

### ・レイヴン

□《天変地異》：キャストの装備を破壊する。あるいは劣勢時、せめてアルドラを薙り街に混乱を起こそうと、アルドラ（エキストラ）に使用するなど可能だ。その場合（天変地異）や《霧散》で打ち消し可能

□《死の舞踏》：即殺神業

□《不可触》：特に使用しない。アクトの途中、キャストへのアプローチに使用してもよい

## ▼セリフ：桐ヶ谷蓋世

「神の子は言われた。“人はパンのみに生きるにあらず”と。実に然り。まさにその通りではないか、諸君」「この世界。美しき我らの世界。彩りに満ち、数多の食料が待ち受ける世界！そこに生まれ出でながら、全てを食らい尽さないなど！神への冒瀆に他ならない！」「我らは食べる。目に映るもの全て、目に映らぬものも全て、ナイフとフォークが届くならばあの太陽さえも」「我らは食を通じて世界と一つになる——そして今日もまた、我らの世界に新たな歴史が加わるのだ」

## ▼セリフ：アルドラ・ドルファン

「よく□が回るわね、人間。けれども、喰らい尽されるのはどちらかしら——」

## ◆結末

アルドラが目を向ける先、堅く閉ざされていたはずの会場の扉が開き、そして……。

## ● Eat or Die

### ◆解説

敵と戦闘に入る。敵はウィベットとレイヴンだ。

### ◆描写

侵入者に対応して、物陰からはウィベットが、客席のひとつからはレイヴンが、それぞれ立ち上がり、君たちと蓋世・アルドラとの間を隔てるように立ちはだかる。

## ▼セリフ：桐ヶ谷蓋世

「活造りはこれからだというのに、無粋なものだな」

（杏奈の話が出たら）「仕方のない子だ。昔から、思い込みの激しい子だった。絶対的な捕食者たれと、あれほど教えてきたのに」

『クグツ』に「後方処理課が迫っていると知ってはいたが、君だったのか。迂闊だったと言わざるを得ないな」「だが、いいだろう。女大公の片腕たるアヤカシ——音に聞く後方処理課——神秘的術を修めた術師——」「どれもまだ、食べたことがない。食べてみたい。今宵のオードブルには、ふさわしい！」

## ▼セリフ：ウィベット

「ここには私がいる。蓋世様のおそばにいる。つまり、君たちに勝ち目はないってこと。分かる？」

## ▼セリフ：レイヴン

「俺は、人間を愛してる。人間の欲深さをな」「お前らには消えてもらうぜ。連中の欲のため、俺の欲のため、この世で最も醜く、故に美しい感情のために」

## ◆カット進行

カット進行に入る事。敵は以下の通り。

・ウィベット : AR2

・レイヴン : AR2

キャストは全員で1エンゲージ。そこから近距離の場所にウィベットとレイヴンがいる。

## ◆結末

「はっ、はは——。女大公、やはり貴方は、美しい」  
死の際にあってなお、その男は手を伸ばす。  
「残念だ。一口だけ、で、も——」

美食に人生を賭けた男の、それが最後の言葉だった。



## ウィベット



## ▼設定

「君もマスターの食材にしてあげるよ！」  
蓋世の右腕。彼に食材を届けるためなら  
ばどんな任務でも喜んで勤め上げる。

## ▼基本データ

カブキ、クグツ◎●、カゲ  
♠7/12 ♣3/14 ♥7/13 ♦5/9

## ▼技能

運動 4♣♣♦♦  
白兵 5♣♣♦♦  
知覚 3♣♣♦♦  
隠密 3♣♣♦♦  
※猿飛 7♣♣♦♦  
※胡蝶 5♣♣♦♦  
※死点撃ち 4♣♣♦♦  
※忠誠 5♣♣♦♦  
※逆回り 4♣♣♦♦

## ▼ランチ

クグツ/サムライ : 2Lv  
〈忠誠〉で軽減するダメージを2倍に。  
1アクト中1回まで。

## ▼武器

・純銀製レイピア ..... 隠: 10/電: 16  
焚書教典相当。ダメージを与えた場  
合、対象は魔性の使用不可。  
攻: [刺+6] 射: 近~中。

## ▼防具

・ダブルオー ..... 隠: 16/電: 21  
1シーンに肉体ダメージ10点吸収。  
※防(鋭/刺/斬/爆): 5/6/4/8

## ▼その他

・スタイリッシュ ..... 隠: 12/電: 12  
肉体ダメージを受けた際に使用、即  
座にプロットを消費してメジャーア  
クション。1シーン1回。

## ▼行動指針

推奨プロット: ♠♣♥♦ / AR: 2  
セットアップに〈逆回り〉の判定。行  
動順を逆にする。  
攻撃は〈白兵〉〈運動〉〈猿飛〉〈胡蝶〉  
〈死点撃ち〉の組み合わせで、[刺+11]  
装甲値無視の物理攻撃。最大達成値は  
25。アヤカシに命中した場合、対象は  
魔性の効果を使用不能となる。  
ダメージを受けた場合、〈忠誠〉で5  
点軽減する。一度だけランチの効果で  
10点軽減可能。ダブルオーでもダメ  
ージ吸収。

## レイヴン



## ▼設定

「お前達も、もっと欲深く生きたらどうだ？」  
呪具を専門に扱う密売人。己の欲を満  
たすことにしか興味がない。

## ▼基本データ

バサラ◎、カタナ、レッガー●  
♠9/13 ♣9/13 ♥6/12 ♦4/10

## ▼技能

運動 4♣♣♦♦  
自我 4♣♣♦♦  
白兵 4♣♣♦♦  
知覚 3♣♣♦♦  
※元力: 疾風(負) 5♣♣♦♦  
※力学 4♣♣♦♦  
※旋風撃 4♣♣♦♦  
※カミイタチ 4♣♣♦♦  
※ダーティファイト 4♣♣♦♦

## ▼ランチ

レッガー/クリーパー : 1Lv  
自身が与えた[転倒]の回復にメ  
ジャーアクションを要するようにす  
る。1アクト中1回まで。

## ▼武器

・天元刀 ..... 隠: 05/電: ー  
攻: [斬+7] 受: 2 射: 至近  
物理攻撃、[受け]の達成値+5。

## ▼防具

・戦闘法衣 ..... 隠: 15/電: 20  
精神ダメージを常時4点軽減。  
※防(鋭/刺/斬/爆): 4/3/3/6

## ▼その他

・聖母勅令 ..... 隠: 15/電: ー  
キャラクター1人のプロット1枚を  
リアクション宣言に。使い捨て。  
※封魔鏡 ..... 隠: 10/電: 15  
バサラ・マヤカシ・アヤカシの特技  
の判定を-5。1シーンに1回。

・対魔術結界 ..... 隠: 12/電: ー  
バサラ・マヤカシ・アヤカシの特技  
を組み合わせた判定、および[魔剣]  
によるダメージを常に10点軽減。

## ▼行動指針

推奨プロット: ♠♣♥♦ / AR: 2  
セットアップで聖母勅令をキャストの  
中で最もARの高い者に使用。プロット  
1枚をリアクション宣言に。  
〈白兵〉〈自我〉〈元力: 疾風〉〈力学〉〈旋  
風撃〉の組み合わせで、範囲を対象に物理  
攻撃。最大達成値は25。[斬+14+  
差分値]。ダメージを受けた者は[転倒]  
する。〈ダーティファイト〉を組み合わせ  
せれば[バックファイア]を任意スート  
で与える。(組み合わせ制限: 5)。

## エンディングフェイズ

## Ending Phase

## ●バサラ: 人か鬼か

陳と会話をする。陳はレイヴンが実は、かつて自身の  
弟子であった事実を打ち明ける。

## ▼セリフ: 陳元義

「レイヴンは、かつて僕の弟子の一人であった。才に恵  
まれたが、我欲に身を委ねたが故、外道に堕ちた」  
「『バサラ』よ、お主もゆめゆめ忘れぬな。人はたやすく  
鬼となる。どれほど力のある者であったとしてもな」

## ●クグツ: 企業戦士たちの晩餐

早川美沙に、事の顛末を報告する。『クグツ』が  
《完全偽装》を使用したならば、千早と犯罪との関係は  
全て闇に葬られるだろう。

## ▼セリフ: 早川美沙

「ご苦労様でした。満足のいく結果です」  
「それにしても、人の姿をした吸血鬼ねえ……私ならそ  
んなの、頼まれたって食べたくないかないけど。まった  
くグルメって人種の考えることは分かんないわ」  
「あー、でもなんかそんな話してたらお腹空いたわね。」

ラーメンでも食べにいかない? 今日は私が奢るわよ」

## ●アヤカシ: 幸せな結末

杏奈はアルドラに捕食され、再び日常に戻ってくる。

## ◆描写

アルドラの牙が、杏奈の細く白い首筋へと吸い込まれ  
る。少女は快感に耐えるかのように、主の体を強く抱き  
しめた。やがてその命が吸い尽されるという時、君と彼  
女との視線が交わる。それは——勝者の、笑顔だった。

## ▼セリフ: 千早雅之

「今回は貴方に助けられたわね、『アヤカシ』」  
「知っているかしら。強烈な欲望というのはね、純粹さ  
から生まれてくるの」  
「純粹であればあるほどそこから生まれる欲は強い。だ  
からかしらね。私はそんな、欲深い人間の血が好きよ」  
「特に最期の一滴は、いつもそう。蕩けるように甘くて  
……少しだけ、苦いわ」  
「少し、お茶に付き合ってくれるかしら? 今夜はなんだ  
か——ひとりでは、いたくない気分なの」

## ●クグツ: 企業戦士たちの晩餐

『クグツ』が何か別のことに《完  
全偽装》を使用したとしても、ミッ  
ション失敗とする必要はない。  
重要なことは、参加者にとって  
納得のいく終わり方となること  
だ。

## ●アヤカシ: 幸せな結末

わざわざ『アヤカシ』の前で食  
べられたのは、杏奈なりのあてつ  
けだろう。





## シナリオ 3: *She wished only...*

### プレアクト情報

◎ ◎ ◎  
Preact Info.

#### 本シナリオについて

本シナリオはN◎VAという街の暗部、レッドエリアとXランク市民というものをテーマにしたシナリオだ。遊ぶ前に、『TND』のp30「市民ID制度」と、p35「街の影」などの項目に目を通しておくとうれしい。

重いテーマ、救われない結末など、万人受けする類のシナリオではない事を理解した上で、遊んで頂きたい。

#### ■シナリオデータ

プレイヤー：2～3人

プレイ時間：3～4時間（オンライン：8～12時間）

#### ■ストーリー

アサクサで、少女とレッガーが殺された。少女は清和学園の生徒にして『フェイト』の押しかけ助手、叶瑞枝。犯人は、レッガー殺しのサイバーサイコ、マッドマンティス。『イヌ』が担当する事になったこの事件は、瑞枝がレッドエリアからの不法侵入者……存在しない人間だと言う事が判明し、幕を閉じた。

しかし、事件の現場には、もう一人の当事者が居た。瑞枝の後輩にして、彼女と同じレッドエリアからの川越え者、日下歩だ。彼女を通して、この事件の全容が姿を現す。レッドエリアの悲惨な世界から抜け出す為に、瑞枝が作り上げた「学生カバン」と呼ばれる少年少女の集団の存在。マッドマンティスと呼ばれる殺人鬼が、娘を殺され、イヌに見放された、悲しみの狂気に犯された母であるという事実。存在しない人間達の悲惨な現実と、それぞれのささやかな、しかし叶えられない願い。

暴走した悲しき母、マッドマンティスに囚われた日下歩を救い、悲劇の連鎖を止めればシナリオは終了となる。存在しない人間たちの願いに、キャストはいかなる答えを出すであろうか。

#### ■アクトトレーラー

キャスト作成前に、以下のアクトトレーラーをプレイヤーに提示すること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

人の運命は平等ではない。  
ほんの僅かな違いで、  
人の運命は天国と地獄に分かたれる。  
N◎VAにおいて、その境界は「川」であろうか。  
レッドエリアとその他の世界を分つそれは、  
幾多の悲劇を生み出してやまない。

そして今回もまた一つ、起りたるは悲劇。  
悲しみの連鎖は断ち切れない。

トーキョーN◎VA The Detonation  
『*She wished only...*』

願うのは、ただ――。

## ■キャスト作成

R Lはプレイヤーに、ハンドアウト（あるいは、付属CD-R内のプレアクトシート）を配布すること。

## ●敵ゲストの強さ

本シナリオの敵ゲストの最大達成値は25を目安に作成されている。シナリオ上ではキャスト作成の数値的なレギュレーションは定めないが、R Lはこれを参考にレギュレーションを決定しても良いだろう。

## ●必要な神業

本シナリオでは、<sup>トールズ</sup>《真実》に使用想定シーンが存在する。また、敵の即殺神業のみでキャストがリタイアするのを防ぐために、全員で1枚以上の防御系神業が必要だ。

## ●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する社会技能は、〈社会：ストリート〉〈社会：警察〉などである。

## ■キャスト間コネクション

キャスト間コネは、以下の順で取得せよ。  
『フェイト』→『イス』→『カタナ』→『フェイト』

### 『フェイト』への事前情報

『フェイト』のコネ対象である叶瑞枝は、シナリオのオープニングで死亡し、生き返らせたりする事は不可能である。

こういった状況が苦手なプレイヤーもいるだろう。事前にキチンと説明し、配役やシナリオ選択には十分気をつけて欲しい。

## No.1:Cast Make Guideline

推奨設定：フリーランスの探偵

追加設定：叶瑞枝という女学生が押し掛け助手をしている

日常の一部であった押し掛け助手が、ある日突然殺され、しかもその娘がスラムからの不法侵入者だったという事実が明かされる、非常にヘビーな導入だ。

彼女の真実を自ら追うモチベーションが求められる。

### ▼特記事項

- ・コネ対象はオープニングで死亡する。これを救う事はできない。
- ・《真実》の使用を想定しているシーンが存在する。

## 推奨スタイル：フェイト

Scenario Handout

コネ：叶<sup>かのう</sup> 瑞<sup>みずえ</sup>枝

推奨スト：【感情】

清和学園の女子高生、叶瑞枝は、君にとって日常の一部だった。ひよんな縁で出会って以来、ずっと“押し掛け助手”として、君の事務所に入り浸っている。

その日も、何時もの何気ないやり取りを経て彼女と別れた。

次の日の朝、君は彼女が殺害されたとニュースで知った。彼女がレッドエリアからの不法侵入者であり、捜査が打ち切られたことも。

【PS：瑞枝の真実を知る】

## No.2:Cast Make Guideline

推奨設定：ブラックハウンド機動捜査課の隊員

追加設定：特になし

巡回中に遭遇した殺人事件の被害者が、Xランクであったという理由で捜査が打ち切られてしまう導入だ。

理性だけで課長の言葉を受け入れる事ができず、彼女に反発して単独捜査を続行できる物分りの悪いキャストが望ましい。

### ▼特記事項

- ・特になし

## 推奨スタイル：イス

Scenario Handout

コネ：“アイスハウンド” 千早 冴子

推奨スト：【理性】

「今回の件はこれで打ち切りとします」

千早冴子はきっぱりと言い放った。君が担当していた、アサクサでの清和学園生徒殺害事件。被害者の少女は偽造IDでレッドエリアから“川越え”をしていた、Xランク……存在しない人間であった。彼女を守る法は、この街には無い。ブラックハウンドが動くべき事件では無い。しかし、君は、この事件を放っておく事は出来なかった。

【PS：アサクサでの事件を捜査する】

## No.3:Cast Make Guideline

推奨設定：フリーランスの荒事屋、あるいは河渡連合の組員

追加設定：特になし

音羽南海子から、サイバーサイコの始末を依頼される導入だ。比較的モチベーションが薄いため、他のキャストと絡み、モチベーションを立てられるキャストが望ましい。

### ▼特記事項

- ・推奨スタイルは必須では無い。

## 推奨スタイル：カタナ

Scenario Handout

コネ：マッドマンティス

推奨スト：【外界】

N◎VAの闇を滑る“夜の女王”音羽南海子からの依頼。それは、最近レッドエリアでレッガーを殺しまわる神出鬼没のサイバーサイコ、マッドマンティスの始末だ。

先日アサクサで、河渡の構成員が殺害されたのだという。大事な組員が殺されて、黙っている河渡では無い。報酬も悪くない。君は依頼を引き受けた。

【PS：マッドマンティスを始末する】

## オープニングフェイズ

Opening Phase

## ●フェイト：日常の終わり

本アクトに依頼人はおらず、自発的に動き出す事を求められる。

キャストの報酬点不足を感じるのであれば、描写1で瑞枝が過去の仕事の書類整理などをしている演出を入れ、その報酬をキャストに告げるという演出で3シルバーほど渡しても良い。

## ●イヌ：命の価値

息絶える瑞枝を(神業)で救おうとした場合、ハンドアウトを読みかえしてもらおう。

## ●冴子の態度と本心

冴子は心の底から「Xランクは守らなくて良い」と思っているわけではない。ただし、立場や物事の優先順位など、様々な事を思案した上で今回の結論を出している。その為、食いだがるキャストにも毅然とした態度を取るが、本心ではキャストの動きを応援したいのだ。口座に振り込まれた3シルバーが、それを物語る。

尚、2度行ったテストプレイでは、そのどちらでもキャストが冴子に「3つの理由」を求めたので、その時の冴子のセリフを参考までに記しておく。

「打ち切りの理由は三つあります」「1つ目は容疑者、被害者、共に未登録市民である事。彼らを裁く法も守る法も、ありません」「2つ目。BHは多忙を極めています。解決の余地のない事件に人手を割く余裕はありません」「3つ目。これがこの街の「常識」だからです」

## ●何故、南海子は「カタナ」に依頼したのか

後の情報項目などで分かるが、瑞枝がリーダーを務めていた運び屋集団「学生カバン」は、河渡連合の下部組織であり、運搬リスクの高い、つまりは河渡との繋がりを悟られたくないものの運搬を肩代わりする集団である。

「学生カバン」のリーダーである瑞枝の敵討ちを河渡の人間が行うと、その繋がりを悟られる事になりかねない。念を入れて、外部の荒事屋に依頼したのだ。尚、ここで南海子が語る「殺された大事な組員」とは、河渡のレッガーではなく、瑞枝の事である。

## ●フェイト：日常の終わり

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説1

「押し掛け助手」叶瑞枝と『フェイト』の交流、そして突然の別れを描くシーン。

叶瑞枝が既に『フェイト』の日常の一部である事を意識してもらう事が目的だ。描写はキャストに合せて変えたと良い。

## ◆描写1

今日も君の事務所に、「押し掛け助手」こと叶瑞枝がやってきた。清和学園の制服に身を包んだ女子高生。少しばかり口うるさいが、勝手知ったる様子でてきぱきと動き回り、掃除や書類整理を行う彼女の姿は、既に君の日常風景の一部となっている。

## ▼セリフ：叶瑞枝

「依頼が来ましたよ！ ほら、この三毛猫の捜索なんですけど……って、またそんな顔して。うちに仕事の選り好みをする余裕なんてあるの？」

「全く、『フェイト』さんは相変わらずなんだから。はい、コーヒー入りましたよ」

「あ、今日はこれから用事があるんで、これで失礼しますね。明日は燃えないゴミの日だから、出し忘れないように！」

「それじゃ、また(陽だまりのように笑って退場)」

## ◆描写2

彼女と別れた翌朝。君は何気なく、DAKに流れるニュースを眺めている。

『昨夜、アサクサの路上にて、女子高生が身元不明の30代の男性と共に殺害される事件が起きました。女子高生は清和学園3年生の叶瑞枝。』

BHの捜査により、事件の被害者の叶瑞枝及び男性はレッドエリアから不法侵入した未登録市民だと判明しました。事件の容疑者もレッドエリアの未登録市民の疑いが強く、BHはこれ以上の捜査は打ち切る方針です」

## ◆結末

君にとっての日常が、君の知らない事実と共に、君の知らない所で終わってしまった。『フェイト』が自ら事件を追う事を決意したらシーン終了となる

## ●イヌ：命の価値

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

描写1は回想シーン。『イヌ』は叶瑞枝殺害の事件の現場に居合わせ、その死亡を確認する。その後、現在のシーンである描写2に移る事。

## ◆描写

君は巡回中に、殺人の現場に遭遇した。

アサクサの路地裏、アスファルトに倒れた学生服の少女から、おびただしい量の血が流れ出している。その隣には、既に惨殺されたレッガーの死体。

そして、両腕を血塗れのスラッシャーで武装した、複眼サイバーアイの——まるでカマキリのような姿の女。

女は、君の姿を見るや否や、光学迷彩を起動して姿を消した。残された虫の息の少女が、君に問いかける。

## ▼セリフ：少女(叶瑞枝)

「……あの……複眼の女は……今、何処に？」

(この場から消えたと聞いて)「……そう、良かった……(安堵したように微笑み、事切れる)」

## ◆描写2

その次の日の事。君は、昨日の事件の件で、冴子課長に呼び出された。冴子は表情を消し、淡々とした口調で君に話す。

## ▼セリフ：千早冴子

「ブラックハウンドは、この事件に関する捜査の打ち切りを決定しました」

「事件の被害者及び容疑者は共にレッドエリアからの不法侵入者……この街に“居ない”存在です。捜査の優先順位は限りなく低いでしょう」

(食い下がった)「冷静になりなさい、『イヌ』。居ない人間を裁く法も守る法も、この街にはないのですよ？」

「(溜息を吐いて) どうやら、貴方は疲れているようですね。暫くの間、休暇を取る事を命じます。少し頭を冷やしてきなさい」

## ◆結末

『イヌ』が単独の捜査を決意したらシーン終了。『イヌ』の口座に3シルバーが支給される。これは冴子が密かに手を回したものだ。

## ●カタナ：狩りの始まり

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

『カタナ』が音羽南海子から依頼を受けるシーン。

## ◆描写

君は、N○V○Aの闇の世界を統べる夜の女王、音羽南海子に呼び出されていた。いつも通りの、狩りの依頼だ。

## ▼セリフ：音羽南海子

「今回、アンタに狩ってもらいたいのは、マッドマンティスと呼ばれている殺人狂さ」

「名前の通り、カマキリみたいな趣味の悪い姿の女だよ。レッガーばかりを狙うタチの悪い奴でね、この間、うちの大事な組員も殺された。ケジメをつけておかないといけない。頼むよ、『カタナ』」

## ◆結末

前払いで1ゴールドが渡される。依頼を受けたらシーン終了。



# リサーチフェイズ

Research Phase

## ■クライマックスの条件

日下歩を攫ったマッドマンティスのもとに向かうとクライマックスとなる。

## ●イヌ：もう一人の当事者

条件：日下歩の[アドレス]に向かった  
登場：(社会：N◎VA, ストリート) 10

### ◆解説

アサクサでの殺人事件のもう一人の当事者である日下歩と接触するシーン。日下は叶瑞枝の事を聞いても、彼女に批判的な態度を取り、何も語ろうとはしない。

キャストが、彼女が【学生カバン】である事を知っており、それに言及した場合、日下は【エレナ・鈴原】という名前を口にして退場する。

### ◆描写1

放課後の清和学園。下校する生徒達の中に、日下歩の姿があった。部活に向かう友人達と別れ、一人で校門から出てきた彼女と、君の目が合う。

### ▼セリフ：日下歩

「あの、私に何か御用でしょうか……」  
(叶瑞枝の事を聞いた)「——何も知りません。あのいやらしいレッドエリア女と私は無関係です。私、これでも忙しい方なので、帰らせていただきたいんですけど」

### ◆描写2

(キャストが学生カバンの件に言及した)

学生カバンの名を出した瞬間、彼女の目が細まった。その瞳から学生の表情が消える。

### ▼セリフ：日下歩

「随分と詳しいのね……貴方の目的は何？ その情報を出汁に、私をゆするつもり？」

『イヌ』が居た場合)「BHの捜査は既に打ち切られた筈よ。どうして貴方は、まだ捜査をしているの？」  
(友好的な態度を示した、あるいは〈交渉〉などで判定した)「——エレナ・鈴原。……私に言えるのは、これだけです。失礼します」(足早に退場する)

### ◆結末

この行動は、キャストらの姿勢に対する、日下なりの誠意だ。以降、【エレナ・鈴原】についてリサーチが可能になる。

## ●RLシーン：彼女達の願い

条件：【学生カバン】【日下歩】の情報を全て開く  
登場：キャストの登場不可

### ◆解説

数年前、まだ叶瑞枝や日下歩がレッドエリアのストリートチルドレンだった頃の様子を描く。

### ◆描写

それはもう、数年前の記憶。

夕暮れ時のレッドエリア。隅田川沿いに立ち並ぶ廃ビルの一つ。その屋上に、ストリートチルドレンの少女た

ちが3人、縁に腰かけて街を眺めている。

視線の先は、川向こうにある学校。放課後、生徒達が談笑し合い下校していく風景。あるいは校庭で汗を流す運動部員達の姿がある。

### ▼セリフ：ミズエ、アユム、レイナ

ミズエ「今日も収穫は上々ね。カーライルと河渡の抗争のお陰で、新鮮な臓器やサイバーウェアが多いもの」  
アユム「そうね……」(遠くの学校を見据えながら)

ミズエ「アユム——行きたいの？ 学校」

アユム「……あんな風に、毎日が送れたら、どんなに素敵かなって、ちょっと思っちゃただけです」

ミズエ「レイナ、貴方は？」

レイナ「えっ……うん。そりゃ、行きたい、けど。」

でも、無理だよ、そんなの」

アユム「そう、ですね。私達は、これからずっと、こ

こで生きて、そして、ここで死んで行く」

ミズエ「——分かった。何とかしてみる」

アユム・レイナ「えっ!？」

ミズエ「私も、行ってみたいしさ、学校。大丈夫、何か良い方法があるはずよ。今までだって、私達は上手くやってきたじゃない」(太陽のように笑う)

### ◆結末

ミズエの笑顔がフェードアウトし、画面にはベッドに

横になった日下歩の姿が映る。歩は、泣き声で呟く。

「どうして、こんな事になっちゃったんだろう……ミズエ、レイナ——」

歩の押し殺した泣き声と共に、シーンエンド。

## ●フェイト：母の心

条件：【エレナ・鈴原の店】のアドレスを訪れた

登場：(社会：N◎VA, ストリート) 10

### ◆解説

マッドマンティス = エレナ・鈴原の狂気に触れる。エレナの店は荒れ果てており、中には常軌を逸した情景が広がっている。【理性】の制御判定を行い、失敗すると山札一枚の精神ダメージを受ける。

隠されたエレナの記録には、彼女が叶瑞枝や日下歩を娘と同一視し、影から見守っていたことが記されている。

### ▼スタイル

ミストレス◎、クロマク●、レッガー

### ▼設定

「皆にね、見せてあげたかったの。こんな世界もあるんだってね。あはは、柄じゃないかな」

清和学園の3年生。明るく前向きで面倒見の良い少女。日向の匂いがする。

「フェイト」がお気に入り、整理整頓や帳簿付け等をしていく押しかけ助手。実は、レッドエリアから不法侵入したXランク市民である。

Xランクの子供たちに、川の向こう側の「普通の」学生生活を送らせる為に、河渡連合と取引をし、違法物品の運び屋をする代わりにIDと学費の提供を受ける「学生カバン」という集団を創始した。計画力や集団統率性に優れ、音羽南海子をして「末恐ろしい」と言わしめた天性のクロマク。

## ●イヌ：もう一人の当事者

日下歩が、瑞枝に対して拳を返したように批判的な態度を取り始めたのは、「瑞枝にそうしろと言われないから」である。

通常、クラスの友人がレッドエリアからの不法侵入者だったら、そういう反応が自然なのだ。変に歩が瑞枝の肩を持って、歩もXランクであると疑われる事を避けたかったのだろう。

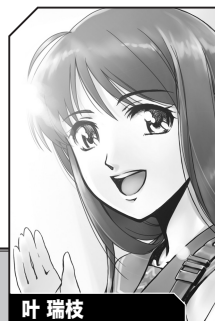
この情報は、歩に対するミズリードを防ぐ以外にも、プレイヤーにほのめかす程度に伝えて構わない。

## 歩がマッド・マンティスの正体を知る理由

マッドマンティスの正体であるエレナ・鈴原は、レッドエリアに居た頃の友人、レイナの母親である。歩は、何故エレナがマッドマンティスになってしまったのか、この時点で大体気付いている。

## ●RLシーン：彼女たちの願い

回想シーンにおいて、瑞枝や歩の名前が片仮名表記なのは、漢字表記の名前はID偽装時につけた物だからだ。



叶 瑞枝

## ●フェイト：母の心

このシーンの描写は、このシナリオの肝と言っても良い。瑞枝や歩達が元々暮らしていたスラムの現状や、娘を失った母親の悲しみを描く、重く衝撃的なシーンだ。

可能であれば、このシーンまでにはキャストに合流して貰い、このシーンでは全員登場して貰うと良いだろう。

## レイナは……

友達が多い、クラスの中心に居る、探偵の所に向かった、などは瑞枝であり、言い方がきついが優しい子、というのは歩である。「レイナの元に現れたレッガー」とはつまり、学生カバンへ運びの命令をしに瑞枝の元へ訪れたメッセージャーであり、「レイナに接触したBH」とは、『イヌ：もう一人の当事者』にて歩に話しかけた「イヌ」の事である。

エレナは《不可知》を使用し、常に彼女らのすぐ近くにいる。ホログラフには、近距離で撮られたと思えない構図で『イヌ』や『フェイト』が映っているのだ。

## ●フェイト：彼女の強した願い

《真実》の使用タイミングは、若干分かりますが、使いどころである事は、きちんとプレイヤーに伝えたい。



日下歩

## ◆描写1

隅田川以南は別世界だ。そこかしこに死体が転がるゴミ貯めのような街。痩せ細った物乞いのストリートチルドレンが君達に群がる。廃ビルからは、君達の新鮮な臓器を狙って、スクワッター達が目を光らせている。そんな世界のただ中に、エレナ・鈴原の店はあった。

閉鎖された建物に入ると、部屋一面に、娘の姿を映したホログラフがびっしりと貼られている。そして、狂気に侵された内容の走り書き。時折、赤字で×印をつけられたレッガーの新殺死体のホロもある。マッドマンティスの被害者と一致する顔ばかりだ。

## ◆描写2

(※制御判定後)

娘のホロに紛れて、別の少女達のホロがいくつか散見される。その中には、叶瑞枝や日下歩のもの。学園生活を送る彼女達の姿の横には、走り書きの数々。

『レイナは友達が多い。いつもクラスの中心にいる』

『レイナは今日も、いつもの探偵の所に向かった。彼は娘にとでも優しくしてくれている』

『レイナは言い方が少しきついが優しい子だ。輪から外れそうな子を、さりげなくフォローする』

『レイナは……』

それは、娘を見守る母親の日記に、見えなくもない。しかし、内容は徐々に過激な物となっていく。

『レイナの元に、河渡のレッガーが現れた』

『やはり、駄目だ。駄目だ駄目だ駄目だ！ レイナは私が守れないと……奴らは何処からでも入ってくる……レイナレイナレイナレイナ……ッ!!』

『レイナにBHのイヌが接触した。……イヌは私たちを守らない……私が、今度こそ……レイナを守る!!』

## ◆結末

以降、【エレナ・鈴原の精神状況】についてリサーチ出来るようになる。店を去ったらシーンエンド。

## ●フェイト：She wished only

条件：【エレナ・鈴原の精神状況】を全て調べた

登場：〈社会：N○VA、ストリート〉 10

## ◆解説

亡くなった叶瑞枝の名で、フェイトのポケットロンにコールが入る。送り手は、マッドマンティスに襲われている最中の日下歩。ここでマッドマンティスに《真実》を使用する事で、彼女の【アドレス】を入手できる。

会話が途絶えた後、ポケットロンから叶瑞枝の録音音声が出る。

## ▼スタイル

マネキン○、クグム●、カゲムシャ

## ▼設定

「ミズエが居たから、私たちはやっていたけど……でも、もう、ダメだ……」

叶瑞枝の後輩。やや強気で物事をはっきりと口にするが、根は繊細で脆い。自分たちを隅田川の向こうに導いてくれた瑞枝を全面的に信頼していた。瑞枝の卒業後、「学生カバン」元締めを引き継ぐ予定であったが、彼女の死によって急速に自信と希望を失っている。叶瑞枝の「腹心」。

## ◆描写1

『フェイト』のトロンに「叶瑞枝」からの通信が入る。だが、その声は彼女ではなく、日下歩のものだった。

## ▼セリフ：ポケットロンから聞こえる声

「た、助けて……。あの人が……来るっ!!」

「やめて、目を覚まして、エレナさん! 私は、レイナじゃない! ……さやあつっ!!」

『(しばしの沈黙の後、エレナ・鈴原の声) 貴方、誰。レイナを傷つけようとするなら許さない。レイナは私が守るわ。レイナ、安心して。お母さんが、必ず守ってあげる』  
《真実》を使用した『私は逃げも隠れもしないわ! 来るなら来てみなさい、レイナを傷つけようとする者は全部私が殺してやるから!』

## ◆描写2

通信が途絶えたトロンに、再び、メッセージが流れ始める。それは、死んだ瑞枝の声。

## ▼セリフ：叶瑞枝(録音音声)

「驚かせちゃいましたよね、『フェイト』さん。歩には、何かあったらこのアドレスに通信をかけるように言っておいたんです。きっと力になってくれるからと」

「ごめんなさい、色々黙ってて。でも、私、皆と一緒に作り上げた、この日常を守りたかったんです」

「スラムを不法に抜け出した事、後悔はしてません。私達はあするしか無かったし、そうしなければ、『フェイト』さんとも、出会えなかったもの」

「勝手な事はばかり言ってるよね。でも、歩は私の大切な妹分なんです。どうか、あの子を助けてあげて下さい。それが、私の望みです」

## ◆結末

瑞枝の願いに応えるならば、『フェイト』に対して瑞枝が《ファイト!》を使用する。エレナ達のアドレスへ向かえばクライマックスへ。

## ■情報項目

最初に調べられる情報は以下のとおり。

『フェイト』：叶瑞枝

『イヌ』：アサクサの事件

『カタナ』：マッドマンティス

## ◆叶瑞枝

〈コネ：叶瑞枝〉〈社会：ストリート、警察、学生〉

□ 10 清和学園の3年生。先日アサクサで殺害された。

気さくな性格で面倒見も良く、学校での評判も良かった。→【アサクサの事件】に派生

□ 12 押し掛け助手として、『フェイト』の事務所によく顔を出していた。

□ 14 レッドエリアから不法侵入した未登録市民である。共に殺害された河渡連合のレッガーと親密な関係を持っていた形跡が残されており、彼を通じて偽装IDを入手したと思われる。  
→【河渡のレッガー】に派生

□ 16 生前の彼女の姿を最後に見たのは、清和学園の2年生、日下歩である。→【日下歩】に派生

## ◆アサクサの事件

〈社会：N◎VA，ストリート，警察〉

- 12 被害者は、清和学園3年生の叶瑞枝と、河渡連合のレッガーである。事件の容疑者はサイバーサイコのマッドマンティス。→【**叶瑞枝**】【**河渡のレッガー**】【**マッドマンティス**】に派生
- 14 犯人、被害者、共にXランクであった為、BHの捜査は打ち切られた。しかし現在、『イヌ』が単独で捜査を行っているらしい。
- 16 現場には、もう一人当事者が居た。それは、瑞枝の後輩である日下歩。瑞枝は、彼女を庇ったせいで逃げ遅れたようだ。→【**日下歩**】に派生

## ◆マッドマンティス

〈コネ：マッドマンティス〉

〈社会：N◎VA，ストリート，警察〉

- 12 レッガーばかりを狙う神出鬼没のサイバーサイコ。カマキリを思わせる複眼のサイバーアイと両腕のスラッシャーが特徴。
- 14 先日アサクサにて、清和学園の女子生徒、叶瑞枝と河渡連合のレッガーを殺害した。→【**アサクサの事件**】【**叶瑞枝**】に派生
- 16 ラージマンティスという大型戦闘用ドroid（アラシ◎）に従っている。高度な偽装がされており、潜伏先は不明。  
※マッドマンティスの<sup>インセンサブル</sup>《**不可知**》の効果

## ◆日下歩

〈コネ：叶瑞枝〉〈社会：N◎VA，学生，ストリート〉

- 12 清和学園の2年生。叶瑞枝の後輩。性格は少しきついが、細かい心配りが出来、同級生からの印象は良い。（マネキン◎）→【**アドレス**】入手
- 14 亡くなった叶瑞枝と親しかったが、彼女が死んだからは批判的な態度を取っている。レッドエリアに対し、強い偏見を持っているようだ。
- 16 アサクサの事件の当日、彼女は叶瑞枝と共にアサクサを訪れていた。彼女は事件のもう一人の当事者である。
- 18 「学生カバン」と呼ばれる組織の一員のようだ。→【**学生カバン**】に派生

## ◆河渡のレッガー

〈コネ：叶瑞枝〉〈社会：N◎VA，ストリート〉

- 11 河渡連合音羽組の構成員。主な役割はメッセンジャー。
- 16 叶瑞枝にIDと資金援助をする代わりに肉体関係を持続していた。
- 18 上の情報は、叶瑞枝が<sup>アンタシチャブル</sup>《**不可触**》で用意した嘘である。レッドエリアからの不法侵入が単独犯であると思わせる為の偽装のようだ。
- 20 事件の日、叶瑞枝とは「学生カバン」への伝令の為に会っていた。→【**学生カバン**】へ派生

## ◆学生カバン

〈コネ：叶瑞枝〉〈社会：ストリート，学生〉

- 15 同好会に偽装されているが、その実は非法的な物資などを運搬する運び屋集団。
- 17 未登録市民の少年少女で構成された、河渡連合の下部組織である。河渡は偽装IDと学費などを彼らに提供する代わりに、組織にとってリスクの高い物の運搬をさせている。
- 20 組織を設立したのは叶瑞枝。レッドエリアのストリートチルドレン達を束ね、音羽組と交渉し、学生カバンを今の形に作り上げた。

## ◆エレナ・鈴原

〈社会：N◎VA，ストリート〉

- 12 Xランクのサイバー技師。レイナという娘がいた。夫とは死別しており、女手一つで娘を育てた。→【**エレナの店のアドレス**】を入手する
  - 15 娘のレイナは数年前、ストリートのレッガーにより連れ去られ、殺害されている。
  - 16 エレナは、娘の搜索をSSSやBHに何度も嘆願したが、彼女はXランクであった為、彼らが動く事は無かった。
  - 18 彼女はマッドマンティスである。→【**マッドマンティス**】へ派生
- 〈コネ：叶瑞枝〉
- 15 彼女の娘、レイナ・鈴原は、叶瑞枝らと共にレッドエリアを抜け出す筈だった。しかし、彼女は誘拐・殺害され、それは叶わなかった。

## ◆エレナ・鈴原の精神状況

〈コネ：叶瑞枝，マッドマンティス〉〈心理〉

- 12 彼女の精神は、復讐の為に行った過剰なサイバー化のせいで著しく均衡を失っている。現在の彼女の精神は、三つの強い衝動によって動かされている。「レッガーへの憎悪」「イヌへの不信」、そして「亡き娘への愛情」である。
- 14 娘と仲の良かった少女たち……叶瑞枝や日下歩を、自分の娘と同一視している。
- 16 アサクサにて娘に接触する河渡のレッガーの存在、そして巡回していた『イヌ』の姿は、彼女の危うい精神をかき乱し、彼女は娘を守ろうと手を伸ばした。しかし、その手は人を殺める刃であった為、叶瑞枝は死亡した。これが、アサクサでの事件の真実である。
- 18 彼女は現在、日下歩を娘と同一視し、常に歩の近くで、彼女の姿を見守っている。エレナの精神は極めて不安定であり、歩の身が危ない

レッドエリアのサイバー技師、エレナ・鈴原の娘、レイナは、ミスエヤアコムと友人であり、本来、彼女らと共にレッドエリアを抜け出し、「学生カバン」の一人になる予定であった。（エレナはその事を承諾しており、喜んでた）しかし、それか叶う前にレイナは誘拐されてしまった。Xランク市民の搜索願などイヌは取り上げず（2秒に1度はある事件だから）、数日後、レイナは遺体で発見された。エレナは発狂し、マッドマンティスとなった。

## 瑞枝の（不可触）

少し分りにくい表記かもしれないが、つまりは「瑞枝とレッガーの間に肉体関係は無かった」というのが事実である。  
売春によって偽造IDを買ったかのような印象を持たせる事により、「学生カバン」に目に向く事を防ごうとしたのである。

## 学生カバン

清和学園だけでなく、N◎VA中のあらゆる学校にその構成員は存在している。彼らが「集団」として動く事は無く、運搬物は「仲の良い友人関係」の間を渡り歩きながら運ばれる為、見つかりにくいのだ。その全容を把握しているのは、リーダーの瑞枝と、その右腕である歩だけだ。

## レイナが死んだ事件

川越え以前に起こった事件であり、「学生カバン」とは無関係。犯人も、恐らくその辺にいるデンピラやマフィア、又は狂人の類であろう。巨大企業によって実験材料に攫われたのかも知れないし、エグゼク達の為の「ショー」の見世物になったのかも知れない。他にも色々考えられる。

悲しい事に、こんな事はレッドエリアでは「2秒に1度はある事件」なのだ。しかし、子を奪われた親の気持ちは、そんな事で納得出来はしない。無論、瑞枝や歩も、友人を失った悲しみは大きかった。しかし、彼女達は友人を失う事を何度も経験していたし、何より、生きる事に必死だったのだ。  
尚、アクトを盛り上げキャストのモチベーションを上げる為に、R Lはレイナが死んだ事件に関して、独自に設定を設けても構わない。



エレナ・レイナ・鈴原





## PLが2人の場合

《神業》の数やアクションランクなどは、PLが2人でもあまり問題にならないだろう。強すぎると感じたなら、マッドマンティスの「ハードワイヤード」を外してAR2としても良い。また、キャストが追い詰められた場合、歩の《ブリーズ!》をキャストに使用しても良いだろう。

PLが3人の時、神業が余りそうであれば瑞枝の《ファイト!》は使わなくても良い。

## 敵ゲストの神業

以下に、神業の一覧とその使用方法を示す。適宜調整する事。

### ・マッドマンティス

- ☐《タイムリー》：防御に使用
- 《不可知》：居場所を隠蔽
- ☐《ファイト!》：ラージマンティスに神業を使用させる

### ・ラージマンティス

- ☐《突破》：装備の破壊や演出、あるいは打ち消さなければ歩が死ぬと裁定しても良い。その場合は《神業》が足りるか考えて行う事
- ☐《死の舞踏》：即殺攻撃
- ☐《難攻不落》：防御に使用

# クライマックスフェイズ

Climax Phase

## ●願いは、ただ……

### ◆解説

エレナ・鈴原=マッドマンティスに囚われた日下歩を助け出すシーン。彼女は大型戦闘ドロイド、ラージマンティスの中に居る。助け出す為には、ラージマンティスを破壊し、尚且つ彼女を“守ろう”とする、マッドマンティスを無力化しなければならない。

### ◆描写

アサクサ郊外にある公園。《鈴原リサイクル店》と銘打たれた、カマキリのようなシルエットの巨大な戦闘ドロイド。その中で、日下歩は絶望に震えていた。「レイナ……もう、何も怖くないわ。悪い人はみんなお母さんがやっつけてあげるから」

長い前髪で顔の隠された女性が、優しく告げる。母性に満ちた声で囁き、優しく、歩の頬を撫でる。その手は鋭利な刃であり、歩に、深い傷をつけて行く。

赤い血を見て、驚いたようにエレナが「娘」を抱く。かき抱けば抱くほど、体が赤く染まっていく。

「ああ、どうしたの、レイナ。しっかりして……!」

「いやああああああっ!!」

歩は耐えきれなくなって、悲鳴を上げた。

## ▼セリフ：エレナ・鈴原（マッドマンティス）

（キャストが登場した）「貴方達、レイナを、傷つけるつもりなのね？ そんな事は、させない!」

（『イヌ』に向かって）「BH……どうしてこんな所に居るの……あの時は、何もしてくれなかったくせに!!」（攻撃を受けた、あるいは与えた）「痛い、痛い……でも、レイナは、もっと痛かったのよ!」

「血……真っ赤な、血……そういえば、レイナは好きだったわね、トマトシチュー。早く作らなきゃ、あの子がお腹をすかせているわ」

（倒された）「分かっていた、はずなのに……もう、レイナは、どこにも、居ない、って……」

## ◆カット進行

カット進行に入る事。敵は以下の通り。

- ・マッドマンティス : AR3
- ・ラージマンティス : AR3

キャストは全員で1エンゲージ。敵ゲストは全員で1エンゲージであり、キャストから近距離の場所に居る。

## ◆結末

日下歩を救いだす事が出来ればエンディングとなる。

## マッド・マンティス



### ▼設定

「レイナは、お母さんが守ってあげる」  
娘を失った悲しみから、復讐鬼となったエレナ・鈴原。

### ▼基本データ

タタラ、カゲ◎、ミストレス●  
♠7/13 ♣4/13 ♥4/9 ♦6/13

### ▼技能

運動 3♣♠♥◇  
白兵 3♣♠♥◇  
隠密 2♣♠♥◇  
知覚 3♣♠♥◇  
交渉 3♣♠♥◇  
製作：サイバーウェア 4♣♠♥◇  
※母性本能 4♣♠♥◇  
※改造 9♣♠♥◇  
※霞斬り 4♣♠♥◇  
※死点撃ち 2♣♠♥◇  
※女神の御手 3♣♠♥◇

### ▼ブランチ

ミストレス/マザー : 2Lv  
〈母性本能〉を3回まで手札から判定。

### ▼武器

・スラッシャー×2..... 隠: 15/電: 15  
攻: [斬+15] 射: 至近  
〈改造〉の効果適用済み。

### ▼サイバーウェア&サイコアプリ

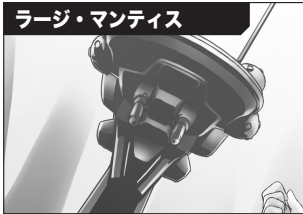
・ガルダ ..... 隠: 20/電: -  
【外界】以外の能力値+3  
キーワードは娘の名前。  
・W ラビット ..... 隠: 18/電: 12  
マイナーで飛行状態になり、この状態での〈運動〉+2。  
・JJF ..... 隠: 21/電: 20  
シーン中〈運動〉+2、白兵攻撃の物理ダメージ+2。  
・ハードワイヤード ..... 隠: 21/電: 20

・スリーアクション ..... 隠: 12/電: 15

### ▼行動指針

推奨プロット: ♠♣♥◇ / AR: 3  
マイナーでガルダ、Wラビット、JJFを起動。〈白兵〉〈運動〉〈死点撃ち〉〈霞切り〉でスラッシャーによる白兵攻撃を行う。達成値は最大25で、ダメージは[斬+17]の防御点無視、ダメージ軽減技能無効。  
また、物理、精神攻撃に対して他者の代わりに〈交渉〉〈運動〉〈母性本能〉でリアクション。ブランチの効果で判定は手札から行う。全装備起動状態での最大達成値は25。対決: 不可にも対応可能。

## ラーズ・マンティス



### ▼設定

エレナが従える巨大戦闘用ドroid。  
日下歩はこの中に捕らわれており、破壊しない限り、彼女を助ける事は出来ない。

### ▼基本データ

アらし◎、カタナ●、カブト  
♠7/9 ♣1/7 ♥7/9 ♦6/7

### ▼技能

操縦 5♣♠♥◇  
白兵 4♣♠♥◇  
※ドッグファイト 7♣♠♥◇  
※緊急回避ボム 4♣♠♥◇  
※カマイタチ 3♣♠♥◇  
※旋風撃 3♣♠♥◇  
※修羅 3♣♠♥◇

※ディフレクション 3♣♠♥◇  
※戦術 4♣♠♥◇

### ▼ウォーカー

・ダンデライオン ..... 隠: -/電: 15  
多脚ウォーカー。オプション5つ。  
・兵器: 破斬剣×3..... 隠: -/電: 15  
攻: [斬+14] 射: 至近 受: 4  
・D-STORM ..... 隠: 10/電: 20  
アクションランクを3に

※防(殴/斬/爆): 7/4/7/10

### ▼行動指針

推奨プロット: ♠♣♥◇ / AR: 3  
セットアップで〈戦術〉の判定。  
〈白兵〉〈カマイタチ〉〈旋風撃〉〈修羅〉〈ドッグファイト〉で中距離までの範囲を対象に白兵攻撃。最大達成値は25で、ダメージは[斬+14+差分値]。  
破斬剣を一つ[受ダメージ]させる事で、〈緊急回避ボム〉にてダメージを-14する事ができる。また、射撃攻撃には〈白兵〉〈ディフレクション〉で「受け」をする事も可能。

# エンディングフェイズ

Ending Phase

各キャストとこれまでの物語に相応しいエンディングを演出すること。ここにはその一例を示す。

## ●イヌ: No Law, No Guilty ?

エレナ・鈴原が生きているかどうかで、エンディングは異なる。ここでは、両方のパターンに対し、演出の例を示す。

### ◆エレナ・鈴原が死んでいる場合

死ぬ間際にエレナは、瑞枝や歩を傷つけた事を後悔する。そして、安らかな顔で息を引き取る。

### ▼セリフ: エレナ・鈴原

「ごめんね、ミズエちゃん、アコムちゃん……貴方達は、レイナにとっても良くしてくれたのに……」  
「ああ、レイナ。今から、そっちへ行くわね……」

### ◆エレナ・鈴原が生きている場合

『イヌ』が『制裁』を使用するならば、彼女は日下歩の殺害未遂、および公共物破壊の罪で捕まるだろう。

それ以外の罪を裁く法は、この街には存在しない

### ▼セリフ: エレナ・鈴原

「貴方達が、私を止めてくれたのですね……」  
「今回の事件は、Xランクが殺しあっただけ。私を、真の意味で裁く法は、この街に無い」  
「私は、感情の暴走するまま、あの少女を惨殺した。それが……裁かれないのが、ひどく悔しい」

『イヌ』に「貴方だけが、私達を“見て”くれた。だから、最後に一つだけ、恨み事を言わせて下さい」  
「どうして、レイナが殺された時、あの場所に、貴方が居てくれなかったのですか……！」  
「どうして……どうして……」

## ●カタナ: 大きな損失

音羽南海子から、報酬を受け取る。今回の事件、河渡にとって最も大きな損失は、叶瑞枝の死であった。短期間で「学生カバン」という組織を強固な物に仕上げた手腕に、南海子も期待していたようだ。

## ●フェイト: 残されたもの

日下歩と会話をする。歩は、瑞枝の意思を継ぎ、学生カバンを運営していく事にしたようだ。

### ▼セリフ: 日下歩

「ずっと、考えていました。レイナも、ミズエも居なくなってしまったこの街に、希望など何も残されてはいないのではないが、って」  
「でも、この日常は、ミズエが必死で守ろうとしたものだから」  
「生きようと思います。この街で。こんな悲しみを、少しでも減らせるように」

### 「カタナ」の [PS]

エレナ・鈴原が生きている場合、[PS] が達成されないかに見える。しかし、エレナが正気を取り戻し、法により裁きを受ける場合、「マッドマンティスという存在」は居なくなる。[PS] はエレナでは無くマッドマンティスの始末である為、達成されたとして良い。  
大事なものは、キャストが望む結果となったかどうかだ。

### 歩の、この先

彼女がどういった未来を生きているのかは分からない。今回の事件で、学生カバンの存在が露見していなければ、彼女はその運営を続けるだろう。

あるいは、キャストの言葉次第では、別の道を辿るのかもしれない。市民ID制度を改める為、進学して司法を目指すのかもしれないし、T.F. などで市民運動を始めるのかもしれない。

全ては、キャスト達が彼女達の思いにどういった答えを出したかにより変わってくる。是非、これまでの物語に相応しい演出を行って欲しい。

**仮想現実と拡張現実**

本シナリオはニューワールドという装置にスポットを当てると同時に、脳空間の構造改革をテーマとしている。このシナリオ中では、サイバーパンクと呼ばれるジャンルでイメージされてきた、現実とは別の、光り輝くもう一つの仮想現実としてのウェブを旧・脳世界とし、脳と現実が融合し、現実を拡張した世界を新・脳世界と称している。

FLは、この事を理解し、ある程度のイメージを持った上でルーリングを行ってほしい。以下に、代表的な参考資料を上げておく。

**▼旧・脳世界のイメージ**

- ・『ニューロマンサー（小説）』：  
著：ウィリアム・ギブスン
- ・『マトリックス（映画）』：  
監督：ウォシャウスキー兄弟
- ・『攻殻機動隊 S.A.C.（アニメ）』：  
製作：Production I.G

**▼新・脳世界のイメージ**

- ・『脳コイル（アニメ）』：  
脚本・監督：磯光雄
- ・セカイカメラ（ソフト）：  
提供：Tonchidot Corporation
- ・サード・リアリティ（概念）：  
提唱：楽天技術研究所

尚、脳世界を新旧と分けたのは、どちらの脳世界像が優れているという事を主張した訳では無い事をご理解頂きたい。

シナリオを読んで頂ければ分かると思うが、筆者は根っからのサイバーパンク愛好家だ。

## プレアクト情報

Pre-act Info.

**■シナリオデータ**

プレイヤー：2～3人

プレイ時間：3～5時間（オンライン：10～15時間）

**■ストーリー**

セフィロト・ソフトウェアの社長であり、オメガ・プロジェクトの超A Iの一人であるニューは、現実とウェブを同時に認識する、〈フリップ・フロップ〉の使い手である『ニューロ』との交流の中で、本来ウェブに存在しないはずの「温もり」という情報を得る。この情報をウェブ中にもたらしたいと考えたニューは、『ニューロ』の力を借り、“ニューワールド・プロジェクト”を発足する。それは、誰もが現実とウェブを同時に認識し、二つの世界の垣根を取り払う為のプロジェクトだ。

しかし、ニューワールドの完成も間近という時、テラウェアからプロジェクトへの妨害がかかる。ウェブを、現実と隔絶した理想郷にしようとしているテラウェアにとって、ニューワールド・プロジェクトは許容できない存在だった。

テラウェアによって制圧されるセフィロト・ソフトウェア。彼らの目的を挫く為、キャスト達はセフィロト社内にある「生命の樹」を象った要塞を進み、テラウェア・ナンバーズと対峙する。ニューを助け出し、新たなウェブ世界の誕生を見届ければ、シナリオは終了だ。

**■アクトトレーラー**

キャスト作成前に、以下のアクトトレーラーをプレイヤーに提示すること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

脳世界——それは、もうひとつの世界。  
情報の光に満ち溢れながら、温もりを持たず、  
皆が孤独にさすう海。

だが、それをよしとしない者たちがいた。  
二つの世界を見る魔術師と、冷たい海で生れた情報生命体。

彼らの作る新たな世界は、温かいものになる——はずだった。  
立ちふさがるのはテラウェア。旧体制の支配者たち。  
立ち向かうのはキャスト。脳世界の開拓者たち。

今、ここに。脳世界の未来を賭けた、大戦争が始まった。

トーキョー N◎VA The Detonation  
『HELLO NEW WORLD』

運命の扉のその向こうに、新世界が幕を開ける。



## ■キャスト作成

RLはプレイヤーに、ハンドアウト（あるいは、付属CD-R内のプレアクトシート）を配布すること。

## ●クロニクルプレイ

本シナリオは「クロニクルプレイ」を使用する。ステージはDetonation時代、『NTW』以前である。装備は「ニューワールド（『NTW』p27）」「デュアルゴーグル（『NTW』p32）」の使用を禁止する。

## ●必要な神業

《電脳神》1枚に使用想定シーンが存在する。また、敵の即殺神業のみでキャストがリタイアするのを防ぐ為に、防御系神業が1～6枚必要だ。

必要数はリサーチフェイズの展開で変動するが、通常は2～3枚で十分だろう。

## ●特記事項

- ・リサーチフェイズにおいて、ダンジョンを攻略する時限性イベントが存在する。
- ・ウェットやBLAKK-IANUSの装備などは推奨しない。
- ・本シナリオで主に必要となる社会技能は、〈社会：ウェブ、企業、テクノロジー〉などだ。〈知覚〉〈電脳〉などは多くの場面で役に立つだろう。

## ■キャスト間コネクション

キャスト間コネは、以下の順で取得せよ。  
『ニューロ』→『カタナ』→『クグツ』→『ニューロ』。

### キャストの強さ

本シナリオは判定の機会が多く、敵ゲストもそれなりに強力だ。メイクアップで作成したキャストなどでの参加はお勧めしない。しかし、必ずしも高経験点なキャストでなければならないという事も無い。本シナリオではキャストを救済するギミックが多く含まれており、プレイ次第では神業致で敵を圧倒できる可能性が十分にある。

もしキャストの強さに不安があるならば、経験点レギュレーションを設けてもよい。本シナリオのみ使用可能な経験点を100点程配布しても良いかもしれない。

## No.1:Cast Make Guideline

※必須設定：〈フリップ・フロップ〉を取得している

ニューがニューワールド・プロジェクトを発足させる切欠となったキャストとなる。電脳と現実、人間とA Iを区別しない、〈フリップ・フロップ〉使いに相応しいキャストが望ましい。

### ▼特記事項

- ・ニューの基本情報は、『TND』のp57を参照。
- ・A Iは非推奨だ。このシナリオは人間とA Iが手を取り合って歩く事を目的としたものだからだ。
- ・《電脳神》の使用想定シーンが存在する。

## No.2:Cast Make Guideline

推奨設定：特になし

追加設定：セフィというA Iと知り合いである

いつも世話になっているおしゃまなA Iが攫われてしまい、助けに行き棒。セフィを助けるモチベーションさえあれば、電脳に精通していても構わない。

### ▼特記事項

- ・セフィの基本情報は、『TND』のp57を参照。
- ・推奨スタイルは必須では無いが、ウェットは強く非推奨だ。
- ・シナリオ中、ある武器オプションが手に入る可能性がある。

## No.3:Cast Make Guideline

推奨設定：千早重工後方処理課3班の作業員

追加設定：特になし

セフィロトの援護を行い、テラウェアと戦う棒だ。他のキャストの間を取り持ち、情報を共有できるキャストが望ましい。

### ▼特記事項

- ・コネ対象に関しては本誌p42のゲストデータを参照。
- ・〈完全偽装〉は有効に使える局面が存在する。
- ・ウェットは強く非推奨だ。

## 推奨スタイル：ニューロ

Scenario Handout

### コネ：ニュー

推奨スト：【感情】

「私は、ウェブに人の温もりをもたらしたいんだ」

それが、君の友人にしてセフィロト・ソフトウェアの社長である「ニュー」の口癖だ。君は彼女の頼みで、セフィロトの新商品「ニューワールド」の開発に協力していた。しかし、完成も間近というその時、ライバル会社であるテラウェアから妨害がかかった。このプロジェクトはニューの夢をかけた物だ。邪魔されるわけにはいかない。

【PS：ニューワールド・プロジェクトを守る】

## 推奨スタイル：カタナ

Scenario Handout

### コネ：セフィ

推奨スト：【感情】

君は電脳にそれほど精通していない。サイバーウェアの扱いにはいつも苦労している。そんな時、君に助け船を出してくれたのが、セフィという少女A Iだった。少し生意気だが、いつも丁寧にサイバーサポートしてくれる彼女は、君にとって頼もしい存在だった。

そんな彼女が、何者かに攫われてしまった。今こそ、彼女に恩を返す時だろう。

【PS：セフィを助ける】

## 推奨スタイル：クグツ

Scenario Handout

### コネ：ブレイル・ホーキング

推奨スト：【外界】

情報工部部の名誉顧問であるブレイル博士が後方処理課に持ちかけた依頼は、セフィロト・ソフトウェアへの援護であった。

何でも、セフィロトがテラウェアの作業員によって侵襲を受けているらしく、それによってウェブの大きな可能性が失われようとしているらしい。

今、セフィロトに恩を売ってにおいて、損はないだろう。

【PS：セフィロト・ソフトウェアを援護する】

## オープニングフェイズ

Opening Phase

## 『ニューロ』の役割

ニューワールド・プロジェクトに協力する事になる「ニューロ」だが、その主な役割は〈フリップ・フロップ〉のデータを集める為のモデルだ。

つまり、サイバーウェア「ニューワールド」により習得する〈フリップ・フロップ〉は、「ニューロ」の技術を元にしたものになる。

尚、研究や開発をするのは主にニューを始めとするセフィロトの者達だ。キャストが「一緒に開発をする」という立場を取ろうとする場合、アイデアは最大限受け入れつつも、最終的な開発はニュー任せだという設定を飲んでもらう事。これは、このシナリオが「進めて行くうちにニューの目指した目的が明らかになって行く」という構造のシナリオだからだ。

## DOSの口調

無粋な説明になるかもしれないが、何の事か分からない人の為に説明を入れる。

ルビを多用するこの文法は、俗に「サイバーバンク文法」と言われる物だ。DOSことミュートはサイバーバンクをオマージュしたキャラクターであり、故にセリフがこの様な難解な文法で書かれている。

どういう風に読めばいいか、これは遊ぶ面子や環境によって変わってくる。サイバーバンクに精通したプレイヤーと遊ぶ場合、ルビの方を読むと雰囲気が出るが、そうでない場合は意味の通る方を選んで読んで方が良いだろう。

オンセなら、どっちも記載してしまえば問題無いんだけどな。



「論理の掌」ニュー

## ●ニューロ：A Iは暖かな世界を夢見るか

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

時間軸は過去。『ニューロ』がニューから「ニューワールド・プロジェクト」への協力を要請されるシーンだ。事件の始まりについてはリサーチの最初で触れる事をプレイヤーに告げる事

## ◆描写

電脳空間と物質空間。2つの異なる世界は、しかし君には区別の無いものだ。どちらも現実、どちらも真実。

それ故、君の友人であるニューが、生身を持たぬ電脳生命体であっても、君にとっては何の問題も無い事だ。ニューは、君と会う時にはいつも、君の手を握る。体温を持たぬ情報生命であるはずの彼女の掌からは、微かに温もりを感じる様な気がした。。

## ▼セリフ：ニュー

「なあ、『ニューロ』……私の手は、暖かいかい？」  
「ウェブの海では皆、孤独だ。情報子の眩いばかりの光芒に満ち溢れていても、そこに温度は無い。とても、冷たい世界だ」

「でもね、『ニューロ』。私は君と出会ってから、“温もり”という情報を得たんだ。物質界と電脳界を同時認識する君だからこそ、本来電脳空間に無いはずの情報を持ち込み得たんだろう」

「私は、君と出会って知った、“温もり”という、ほの甘くて心地よく、少し切ないこの情報を、ウェブ全てにもたらしたいと思っているんだ。そうすればきっと、ウェブとマンデインの間に区別は無くなり、新しい世界が開かれる……そんな気がしてならないんだよ」

「『ニューロ』、君の力を貸してほしい。私と一緒に、新世界を創ってくれないか」

## ◆結末

『ニューロ』が承諾すると、セフィロト・ソフトウェアで「ニューワールド・プロジェクト」が発足する。シーンエンド。

## ▼スタイル

タタラ●、ハイランダー、ニューロ●

## ▼設定

「君と会おうまで、私は閉じた世界に居た。でも君と出会って気が付いたんだ。本当の進化は、人との触れ合いの中で生まれるんだって事に」  
オメガ・プロジェクトの超AIの一人。タタラのスタイルを司る。セフィロト・ソフトウェアを創出し、ウェブ世界の進化を促す為に、「OSセフィロト」を始めとする数々の超テクノロジー産物を世に送り出してきた。日本軍に追われている事や、テラウェアなどの対立勢力から身を隠すために、極度の秘密主義を貫いてきたセフィロトだが、ふとした事で「ニューロ」と出会い、彼と触れ合う中で、「温もり」という、本来A Iが持たない情報を得、「真の進化は他者と触れ合う事で起こる」という考えに至る。

ニューワールド・プロジェクト。それは単なる〈フリップ・フロップ〉の一般化技術では無い。ウェブを仮想現実から拡張現実へと押し上げ、AIとヒトとの垣根を取り払おうとする、彼女の一大プロジェクトである。

## ●カタナ：囚われた電子妖精

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

セフィが、「16」DOSに攫われるシーン。DOSは自分達がこれからセフィロトを攻めるといった情報を残して退場する。

## ◆描写 1

君のような荒事屋にとって、サイバーウェアは無くてもならない得物だ。しかし、時としてそれらは予期せぬ誤作動を起こす事がある。技術屋や専門家でもない限り、一人で問題解決するのは難しい。ありていに言って君は今、困っていた。

そんな時、セフィはいつも君の元へやってくる。以前に偶然知り合った、少し小生意気なA Iの少女だ。

## ▼セリフ：セフィ

「チャオ、お友達。またトラブってんの？ しょうがないなあ、『カタナ』は私が居ないとなんにも出来ないんだね」「これは制御パディのバージョン不適合だね。パッチ当てたから、もう大丈夫なはずだよ」  
(感謝された)「えへへ、どういたしまして」

## ◆描写 2

突如、セフィのアイコンにノイズが奔る。次第にノイズの量が増していき、セフィのゴーストを浸食し始める。

## ▼セリフ：セフィ

「嘘、私、ハッキングされてる！？ やだ、そんな、止まんないよ……いや、いやぁ！ 助けて、『カタナ』！」

## ▼セリフ：DOS (※声のみ)

『任務完了。楽な仕事だな、覚醒剤めながらだって出来る、容易い仕事だ』

『あんた、この妖精のお友達かい？ 俺達テラウェアはこれから、コイツの電脳からプチ抜いた鍵を元に、セフィロト・ソフトウェアに戦争を仕掛ける。助けなければ、其処まで来るんだな』

『こんな事教えて、俺にとって得になる事なんて無いんだけどな。だが俺は癡り性なんだ、仕事は選ぶ。退屈な仕事はお断りだ』

『じゃあな。また会おうぜ、お友達』(アウトロンする)

## ◆結末

『カタナ』がセフィを助ける事を決意したらシーンエンド。

## ●RLシーン：65,535 秒間電脳世界戦争

登場：キャストの登場不可

## ◆解説

テラウェアがセフィロトへの侵略を開始するシーン。

## ◆描写 1

電脳空間で、ニューは一人の意識体と対峙している。金色の光を纏った天使……その人こそ、電脳空間の頂点に座する支配者、ウィリアム・多聞であった。

二人の間に、張りつめた空気が漂っている。

## ▼セリフ：ウィリアム・多聞とニュー

多聞「買収に応じる気にはなったかい、ニュー？」  
 ニュー「……同じ事を何度言わせる気だ、“金の蜘蛛”。  
 君たちに、セフィロトを渡す気は無い」  
 多聞「分からない人だね、君も。ウェブに黄金郷をもた  
 らす為には君たちの協力が必要だというのが」  
 ニュー「“管理された<sup>コンピュータ</sup>電脳世界”に、進化の道は生まれ  
 ない。私が見たい新世界は、そこにはない！」  
 多聞「残念だ。ならばその新世界の芽、力づくで奪わせ  
 て貰う」※《タイムリー》×2、《買収》を使用

## ◆描写2

ウィリアム・多聞の背後に、光の格子<sup>グリッド</sup>で構成された巨  
 大な球体が姿を現す。まるで地球儀の様な姿のソレは無  
 数に光線を伸ばし、ニューの周囲の空間を侵食していく。  
 「な……何をしている！？ やめるんだ！！」  
 「“テラ”、本部の掌握までにはどれだけかかる？」  
 「システム完全掌握マデニ必要ナ試算時間、65,535 秒」  
 それを聞くと、天使はせせら笑い、背を向けて言った。  
 「では、しばしの別れだ。次は、我が黄金郷で会おう、  
 ニュー」。

## ◆結末

ウィリアム・多聞はアウトロンする。テラウェアの工  
 作員はセフィロトの電脳要塞を攻略し始め、電脳世界戦  
 争が始まる。

## ●クグツ：ウェブ・エヴォリューション

登場：他のキャストの登場不可

## ◆解説

『クグツ』が早川美沙に呼ばれ、ブレイル博士からの  
 依頼を請け負うシーン。

## ◆描写

早川課長の呼び出しで課長室に向かった先で君を出迎  
 えたのは、車椅子に乗った五体不満足の老ニューロだっ  
 た。ニューロエイジのウェブ構築の功労者、“車椅子の  
 新生路”として名高い情報工学研名譽顧問ブレイル・ホ  
 ーキング博士だ。

## ▼セリフ：ブレイル・ホーキング

「つい先刻、セフィロト・ソフトウェアから私に向けて  
 緊急のヘルプコールがありました。何でも、テラウェア  
 の侵攻をうけているらしく」  
 「テラウェアの目的は、概ね想像ができます。セフィロ  
 トが現在総力を挙げて行っているプロジェクトの、奪取、  
 ないしは妨害、だと思われます」  
 「ニューワールド・プロジェクト……あれが頓挫する事  
 は、ウェブの大きな可能性の損失に繋がります」  
 「ウェブは今、大きく進化しようとしている。テラウェ  
 アにとっては、それが好ましくないものなのでしょう。  
 しかし、進化の芽を摘み取る事は、愚かな事だと私は思  
 うのです」

## ▼セリフ：早川美沙

「テラウェアのトロン業界で締めるシェアは、年々確固  
 たる物となっています。これは、千早にとっても好まし  
 い状況ではないわ」  
 「テラウェアと対抗できる唯一の勢力であるセフィロト  
 ・ソフトウェア……彼らには潰れてもらっては困るし、  
 今恩を売っておいて損はありません」  
 「『クグツ』、セフィロトの援護をしてきなさい。テラウェ  
 アに打撃を与えられれば尚良いわ。協力者の導入に関し  
 ても、貴方に一任します」

## ◆結末

早川美沙は『クグツ』に1プラチナムを渡す。これは  
 協力者への依頼費などを含む費用である。

## ウィリアム・多聞の神業

多聞は、オープニングで3発の  
 神業を使い尽す。このシナリオは、  
 多聞の3発の神業を打ち消し、彼  
 の目的を挫く事が目的であるとも  
 いえる。

以下に、3発の神業の具体的な  
 効果を記載する。

## ▼《タイムリー》

セフィロト・ソフトウェアを外  
 部から完全に遮断する。

## ▼《タイムリー》

“12” テラを始めとするナン  
 パーズを動かし、セフィロトを  
 制圧する。16シーンの経過に  
 より《買収》が適用される。

## ▼《買収》

セフィロトは完全にテラウェア  
 の手に落ち、テラウェアの望む  
 電脳理想郷が完成する。

## 65535秒間

65535とは、2進数で0が  
 数字を数えた時、16桁で示され  
 る最大数だ。(16ビット)

16ビットとは、旧世代コン  
 ピュータの代名詞である。つまり  
 は、テラウェアを旧世代という位  
 置付けに置いている暗示である。

## ブレイル・ホーキング

本誌オリジナルゲストである。  
 p42にデータが有るので参照の  
 こと。

## リサーチフェイズ

Research Phase

## ■クライマックスの条件

電脳要塞セフィロト・ツリーに潜入し、隠された第  
 11セフィラに到達するとクライマックス。

## ■リサーチフェイズの進行

リサーチフェイズは大きく、電脳要塞潜入前と、潜  
 入後のパートに別れる。尚、リサーチ開始後のシー  
 ン数(カット進行は1カット1シーン)が16を超えると、  
 電脳要塞は敵の手に落ち、ゲームオーバーとなる。

## ▼電脳要塞潜入前

現状を把握して、電脳要塞に潜入する為に必要な情報  
 をリサーチする事を目的とするシーンだ。

## ▼電脳要塞内部

電脳要塞セフィロト・ツリーを奥に進みながら、  
 「ニューワールド・プロジェクトのデータ断片」を回収  
 していく事になる。

## ■イベント：電脳要塞潜入前

電脳要塞潜入前のイベントシーンである。

## ●ニューロ：Missing Connection

条件：リサーチの最初のシーン

登場：〈社会：N◎VA<sup>ほか</sup>〉 10

## ◆解説

ニューと連絡がつかなくなり、彼女の身に何かがあっ  
 た事を『ニューロ』に伝えるシーン。このシーンの目的は、  
 キャストにセフィロト本社の【アドレス】を渡す事だ。

## ◆描写1

「もうすぐ、ニューワールド・プロジェクトが形を成し  
 そうなんだ。その成果を君に見てほしい。準備が出来た  
 ら呼ぶから、ここまで来てくれないか」

ニューは先日、そう言って君に、セフィロト本社のア  
 ドレスを渡した。しかし、彼女からの招待が一向に來な  
 い。君は胸騒ぎを感じた。



## ■ニューと連絡が取れない

ウィリアム多聞がオープニングで使用した〈タイムリー〉の効果である。

アクセスしようとする、巨大なグリッドの球体が現れ、無数に張り巡らされた攻勢防壁の応酬を受ける、などの演出を簡単に入れても良い。

## ■キャストの合流

情報収集を進めていくと、セフィロト本社のアドレスは『ニューロ』しか知らないという事が分かる。これにより、『ニューロ』の元へキャストが集合するという流れだ。

もし『ニューロ』が単身で本社に乗り込もうとした場合、『協力者が居ないと潜入は難しい』と告げ、他のキャストとの合流を促すといよい。

## ■私が支援できるのはここまで」

脳要塞内は他のネットワークと隔絶されており、更にテラウェアによる情報封鎖が行われているせいで、外部からは支援が出来ない。ブレイルは五体満足な為、生身で要塞内に侵入する事が困難な為、このような発言をしたのだ。



セフィ/ロト

## ◆結末

『ニューロ』は[セフィロト本社のアドレス]を得る。

ニューと連絡を取ろうとしても、何者かの《神業》によってアクセスが弾かれてしまう。『ニューロ』が彼女の身に何があったのかを探り始めたらシーンエンド。シーン中に情報収集は行って構わない。

## ●クグツ：生命の樹の麓へ

条件：キャストが合流し、[セフィロト本社]のアドレスへ向かった

登場：基本的に全員自動登場

## ◆解説

脳要塞セフィロト・ツリーの内部へ潜入するシーン。要塞はウィリアム・多聞の《タイムリー》により封鎖されており、潜入する事が出来ない。ブレイル・ホーキングが『ニューロ』の《電脳神》に《プリーズ!》を使用し、これを打ち破る。

## ◆描写

セフィロトの本社は、既にテラウェアの作業員たちによって制圧されていた。あらゆる入口は強固に封鎖されており、とても生きて入れそうにない。

そんな時、『クグツ』にコールがあった。依頼主のホーキング博士だ。

## ▼セフィ：ブレイル・ホーキング

「セフィロト本社に辿り着いたようですね。状況はいかがですか？」

(状況を告げた)「そうですね……確か、ニューが言っていました。本社には、要塞内部に直結する隠し通路があると」

「通路の入口は、『ニューロ』さんの電脳紋を鍵にして開くそうです」※《プリーズ》を使用

「私が支援できるのはここまでです。どうかセフィロトを、よろしくお願いします」

## ◆結末

脳要塞セフィロト・ツリーへの扉が開かれる。要塞内部イベントへ進む事。

## ▼スタイル

カブキ、マネキン◎、ニューロ●

## ▼設定

「チャオ、お友達。またトラブってるの？」

セフィロト・ソフトウェアのマスコットのA I。その愛嬌を武器に、セフィロトの製品を宣伝して回っている。性格はおしゃまだが、面倒見は良く、根は素直。セフィロトではかなり重要な役割を持った存在である。

セフィロト中枢に存在する脳要塞「セフィロト・ツリー」の守護を行う為のセキュリティ・システム「ロト」の制御A Iであり、無防備な見かけによらず、かなり強固なセキュリティを保有している。(オープニングで簡単にハッキングを受けている様に見えるが、それはミュートのアイス・ブレイク〈防壁破り〉が強力過ぎたせいである)

## ▼行動指針

《神業》のみ使用するエキストラとして扱う。

救出後はキャストに同行し、キャストが望めば保有する《神業》を使用してくれる。

## ■情報項目

最初に調べられる情報は以下のとおり。

全員共通：セフィロト・ソフトウェア

『ニューロ』：ニュー、NWプロジェクト

『カタナ』：セフィ、テラウェア

『クグツ』：NWプロジェクト、テラウェア

## ◆ニュー

〈コネ：ニュー、セフィ、ブレイル〉

〈社会：ウェブ、テクノロジー、日本〉

□08 セフィロト・ソフトウェアの社長。オメガ・プロジェクトの超A Iの一人である。

□13 『ニューロ』と出会う事でウェブの新たな可能性を見出し、「ニューワールド・プロジェクト」を発足した。→【NWプロジェクト】へ派生

□16 最近、テラウェアから圧力を受けていた。→【テラウェア】へ派生

## ◆セフィ

〈コネ：ニュー、セフィ〉

〈社会：N◎VA、ウェブ、企業、ストリート〉

□09 セフィロト・ソフトウェアのマスコットのA I。普段は自社商品のサポートや宣伝をしている。

□11 テラウェアのナンバーズ「16」によって誘拐された。→【「16」】に派生

□14 セフィロト本社のアドレス、およびセキュリティ・コードの保有者であり、彼女自身も「ロト・システム」と呼ばれるセキュリティの一端を担っていた。

## ◆ニューワールド・プロジェクト

〈コネ：ニュー、ブレイル、『ニューロ』〉

〈社会：企業、ウェブ、テクノロジー〉

□08 セフィロト・ソフトウェアが行っている、電脳と現実を同時認識フリップ・フロップするサイバーウェアを開発するプロジェクト。

□10 このプロジェクトの真の目的は、現実には存在しない情報を電脳空間にもたやす事である。

□12 開発データは3つの【データ断片】に分割されて保存されている

## ◆セフィロト・ソフトウェア

〈コネ：ニュー、セフィ、ブレイル〉

〈社会：N◎VA、企業、テクノロジー、ウェブ〉

■00 『TND』57p 参照。→【ニュー】へ派生

□10 極端な秘密主義なのは、プロジェクトを外部敵から守る為だ。本社の【アドレス】も、一部の人間しか知らない。

□12 本社社屋は強固な要塞になっているが、現在テラウェアからの侵攻を受け、制圧されている。→【テラウェア】へ派生

□15 『ニューロ』が、社長のニューと交流していたらしい。彼ならば、本社の【アドレス】を知っているかもしれない。

## ◆テラウェア

〈社会：N◎VA，企業，ストリート〉

- 14 ニューワールド・プロジェクトの奪取を目的に、セフィロト本社へ攻め込んだようだ。  
→【NWプロジェクト】に派生
- 16 本社要塞を完全に制圧しており、更に中枢を掌握しようとして侵入を開始している。リサーチシーン開始から16シーンが経過すると、《買収》の効果が適用され、セフィロトはテラウェアの手に落ちる。※《タイムリー》の効果
- 20 3人のナンバーズが動いている。  
→【“503”】【“16”】【“12”】に派生

## ◆ナンバーズ “503”

〈社会：N◎VA，企業，ストリート，軍事〉

- 12 コードネームはUnavailable。F5アタッカーと呼ばれる巨体の全身義体兵。アらし○。
- 15 銃弾に仕込んだ電腦 SPAM をバラ撒き、敵を情報／物質の双方から破壊し尽くすという。

## ◆ナンバーズ “16”

〈コネ：セフィ〉〈社会：N◎VA，企業〉

- 13 伝説 操り 電腦 兵 と呼ばれているストレイライト・ランナー。通称はDOS。
- 15 相当凄腕のハッカーらしい。
- 17 正体は、ミュートという名のニューロだ。  
→【ミュート】に派生

## ◆ミュート

〈社会：N◎VA，ウェブ，ストリート〉

- 10 伝説 級と謳われていた情報盗賊。相当の凝り性らしく、仕事を選ぶ事で有名。
- 12 数年前、突如歴史の表舞台から姿を消した。
- 15 テラウェアからの依頼の際、裏切り行為を働き、その応酬としてテラウェアの承認無しにイントロンできない体にされたい。【ランチ：カスタート】である。

## ◆ナンバーズ “12”

〈社会：企業，テクノロジー，ウェブ〉

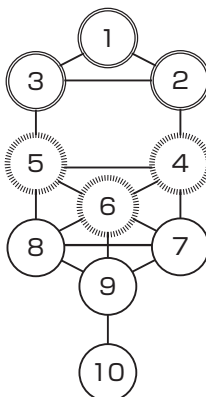
- 18 名前はテラ。電腦空間で絶対的な力を持つといわれる存在。ウェブ上にしか姿を現さない。
- 21 テラウェア・ネクスス制御用AIである。そのメインフレームは、ヤタノカガミ級と称される常識外れの演算能力を保有している。

## ■イベント：電腦要塞内部

電腦要塞侵入後のイベントシーンである。要塞内部は【セフィラ】と呼ばれる10個の区画で構成されており、キャストらはこの【セフィラ】を奥へと移動していく事になる。

## ▼電腦要塞セフィロト・ツリーのMAP

数字が書かれた円が【セフィラ】である。



## ▼セフィラ間の移動

要塞内部イベント開始時、キャストらは第10セフィラにいる。これ以降、シーンプレイヤーはシーン開始のタイミングで1段階（通路の繋がっている隣への移動）の移動が可能だ。[チーム化]している場合、一人が移動すればチーム全体が移動する。

セフィラはシーンに[登場]しない限りイベントも発生しなければ、内部を調べる事もできない。（セフィラに入った事にならない）セフィラの素通り（内部に入らずに隣に移動する事）は可能だ。

現在居るセフィラへは[登場判定]の必要無く[登場]できる。離れたセフィラへ登場する場合は、[(セフィラへの移動段階) × 10]の難易度の[登場判定]が必要である。この際、登場判定に《電腦》を組み合わせて[ウェブゴースト]として登場する場合を除いて、キャストはそのセフィラへ移動したもとする。

## ▼セフィラのリサーチ

[現在のセフィラからの距離（通路の数） × 10]を目標値に〈社会：N◎VA，ウェブ，テクノロジー，企業〉あるいは《電腦》、《知覚》の判定を行う事で、そのセフィラについての情報を得る事が出来る。同じ距離に複数のセフィラがある場合、それら全てのセフィラの情報が手に入る。

## ▼“12” テラの神業

リサーチ中のキャストの行動次第では、“12” テラの神業（《電腦神》×3）を使用させ、減らす事が出来る。そのポイントは以下の2つ。

- 敵の偵察に一度も捕まらなかった。  
→ “503” にキャストの侵入を知らせる為に使用する。
- リサーチ開始から10シーン以内にクライマックスに突入した。  
→ ニューへのハッキングが間に合わず、強引にプロテクトを突破する為に使用する。

## “503” Unavailable

元ネタはインターネットにおけるHTTPステータスコード。503は「Service Unavailable（サービス使用不可）」。

“404” Not Foundの姉弟みたいなのだと思って欲しい。

## “16” DOS

元ネタはMS-DOS。DOSはディスク・オペレーティング・システムの略だ。16ビットのOSが「旧世代」の代名詞なのは、前の項目でも示した通り。

尚、ネットワークへの攻撃によりサービスを使用不能にする、DoS(Denial of Service) 攻撃という物にもかかっている。

キャラクターモデルは、『ニューロマンサー』の主人公、ケイス。

## “12” テラ

テラウェアにおいて、10の12乗、即ち「テラ」という言葉は重要な意味を持つと考え、この様なポジションにおく事にした。

テラと言うと、「凄く大きい」と言う意味で使われて来たが、しかし今の時代、テラバイトHDDなんてそこらにニューロキッズだって普通に持っている。テラが絶対的なものを意味していたのも最早過去の話だ。

地球の事もテラと言う。地球儀の外見はこの為だ。テラウェアは、電腦世界にもう一つの理想郷たる地球を作ろうとしているのだろうか。

## セフィロト・ツリーのMAP

40pに大きいMAPを掲載している。コピーして使うと良いだろう。

## ●イベント：冬寂の電腦世界

このイベントにおいて、ミュートのセリフはリサーチを有利に進める為のヒントになっている。

- ・「急に進むことをお勧め…」  
少ないシーン数でクライマックスに辿り着けば有利になる事を示唆している。
- ・「宝は取り出すな」  
全てのデータ断片を入手すれば有利になる事を示唆している。
- ・「冷たく身を潜めろ」  
敵の偵察に見つかれば、有利になる事を示唆している。

## 神業の管理

本シナリオでは、リサーチフェイスの行動で、敵や味方の神業数が変動する。

以下に神業のチェックリストを用意したので、利用して欲しい。

## ▼ニュー：

- 〈タイムリー〉：3つのデータ断片を全て集め、完全なプロジェクトデータを入手すれば、キャストが使用可能に

- 〈天罰〉：エンディングで使用
- 〈電腦神〉：使用方法未定

## ▼セフィ：

- 〈電腦神〉：キャストへの攻撃に使用。コネ判定に成功したならキャストの自由に使う事ができる
- 〈ブリーズ！〉：ロトを止める為の使用
- 〈チャイ〉：キャストの任意で使用可能

## ▼ブレイル：

- 〈ブリーズ！〉：セフィロトへの侵入時に使用

## ▼503：

- 〈突破〉：登場に使用
- 〈電腦神〉：防御に使用
- 〈とどめの一撃〉：攻撃に使用

## ▼16：

- 〈電腦神〉：防御が攻撃に使用
- 〈チャイ〉：防御に使用
- 〈不可知〉：攻撃が退場时使用

## ▼12：

- 〈電腦神〉：防御に使用
- 〈電腦神〉：防御が攻撃に使用  
偵察に頼まなかった場合、イベントで使用。
- 〈電腦神〉：防御が攻撃に使用  
10シーン以内でクライマックスに到達した場合、イベントで使用。

## ●各セフィラ登場時に起こるイベント

## ◆解説

各セフィラへ登場した際に発生するイベントである。

## ◆マンデインセフィラ：第10～7セフィラ

登場：〈社会：N◎VA、ストリート、企業、ウェブ、テクノロジー〉

テラウェアの偵察ゴースト（※〈知覚〉18のエキストラ）が配置されている。〔登場〕した全キャストは〈隠密〉または〈電腦〉で対抗しなければ、彼らに発見されてしまう。発見されると、次のシーンに「●イベント：F5 Attack！」が発生する。

尚、《完全偽装》を使用すれば、キャスト全員がマンデインセフィラでの発見を免れる事が出来る。

## ▼第10セフィラ

初期位置。「●イベント：冬寂の電腦世界」を参照。

## ▼第9セフィラ

大規模なトロントルーム。イントロン手段を持たないキャストは、ここにあるリンク型イントロン装置とIANUSをリンクさせると、自由にイントロンできるようになる。データ的には、「ニモニック（『GCX』131p）」を装備した状態になる。

## ▼第8セフィラ

セフィロト製の試作型メガトロンが配置されている。このメガトロンと手持ちのトロンをリンクさせると、本アクト中1度だけ、オートアクションで〈電腦〉の達成値に+5する事ができる。

## ▼第7セフィラ

装備庫だ。いざという時の為の装備が用意されていたようだが、今回は役に立たなかったようだ。〈知覚〉判定に成功すれば、以下のアイテムを入手できる。

- ・アンチウェブ（『NTW』25p） ×任意数
- ・パディリンク（『NTW』30p） ×2
- ・ラストキャンドル（『NTW』30p） ×1

## ◆ゴーストセフィラ：第6～4セフィラ

登場：〈社会：N◎VA、企業、ウェブ〉

この区画は、イントロンしていなければ全容を知覚できないようになっている。

## ▼第6セフィラ

この〔セフィラ〕へは、登場判定が必要となる。〈社会：ウェブ〉などで目標値は15。内部でイントロンすると、そこに沢山の社員達（AI ウェブゴースト）が避難している事が分かる。彼らに助けにきた事を伝え、システムへの介入権（報酬点5点相当）と、第3の〔データ断片〕についてのイベント情報をくれる。

## ▼第5セフィラ

第5セフィラは要塞制御室だ。強力なセキュリティで守られており、侵入者には無差別に攻撃を仕掛ける。

登場直後にセキュリティシステムがキャスト全員に〈電腦〉〈射撃〉の組み合わせで固定値21の攻撃をしかける。リアクションに失敗した場合、〈刺+15+カード1枚〉のダメージを即座に受ける事。装備による軽減は不可能。尚、セフィを仲間になっている場合、彼女が《チャイ》を使用してセキュリティシステムを鎮静化させる。

セキュリティをかいぐった場合、制御コンソールからイントロンすれば、即座に全セフィラの情報を入手する事が出来る。

## ▼第4セフィラ

「●カタナ：セフィロトの守護者」を参照。

## ◆ロゴスセフィラ：第3～1セフィラ

登場：〈社会：企業、ウェブ、テクノロジー〉

ニューワールド・プロジェクトの実験区画だ。

## ▼第3セフィラ

“電腦空間改変実験区画”と書かれた部屋だ。イントロンした状態で中を見ると、ウェブ上にN◎VAを象った電腦マップがある。やたらと現実感を伴う構造体だ。

「●イベント：デュアル・ワールド」を参照。

## ▼第2セフィラ

“現実情報分析室”と書かれた部屋だ。現実体、あるいはフリップ・フロップ状態で見ると、N◎VAを象った模型の街が存在する。

「●イベント：デュアル・ワールド」を参照。

## ▼第1セフィラ

「●ニューロ：Ghost In The Cell」を参照。

## ●イベント：冬寂の電腦世界

条件：要塞内部イベント開始時

登場：全員登場

## ◆解説

要塞内部イベント開始時に、“16” DOS ことミュートが、キャスト達の前に姿を現す。

## ◆描写

電腦要塞セフィロト・ツリー。セフィロトの誇る強固なセキュリティに守られていたはずの其処は、無残にも壊し尽くされていた。

君達を出迎える、一人の男の姿。ボサボサの髪に、無精ヒゲ、首に接続されたタップ。そして、神経を焼き切られた、焼け痕。

## ▼セリフ：ミュート（“16” DOS）

「ようこそ生命の樹へ、お友達。ここが、今回の迷光仕掛けの舞台さ」

「俺は“16”。“時代遅れ”と有名なテラウェアの手先。番号付き」

「今までの俺は退屈な独り遊びだった。だが、ようやく戦争の駒が揃った」

「新世代の担い手様ことセフィロトは、俺らの侵攻で大ピンチだ。更に敵の親玉は強大な電腦神。救う気があるなら、急いで進む事をお勧めするね」

「最後に、ダンジョン攻略のコツを教えてやるよ、お友達。冷たく身を潜めろ。宝は取り逃すな。そして……両の目を凝らせ」

「じゃあな。クライマックスでまた会おうぜ、お友達」

## ◆結末

ミュートは、〈電腦〉〈隠密〉〈チェシャ猫〉で退場する。もし対抗された場合、《不可知》を使用する。



## ●イベント：F5 Attack！

条件：解説参照

## ◆解説

“503”Unavailable アンナベイルブルの襲撃シーンだ。このシーンは、以下の二つのどちらかの条件で発生する。

- ・マンディンセフィラで偵察ゴーストに発見された。
- ・偵察に引っかかる事無く、マンディンセフィラを全員が抜けた。

後者の場合、キャストらの潜入を感知する為に、“12”テラが《**電 脳 神**》を使用する。会話後、カット進行。

## ◆描写

要塞内を進む君たちの前に、突如、要塞の壁を粉砕しながら巨大な影が立ちふさがった。クローム鋼の体に身を包んだ**フルボーン**。テラウェアの壊し屋だ！

## ▼セリフ：ミュート（“16” DOS）

「ヒッパッー！ 鼠はここカーッ！！」※《**突 破**》で登場

「俺たちは、大事なお仕事の最中なんだ。邪魔されるわけにはいかねえのよ！」

「尻尾を巻いて逃げるなら、電脳をぶっ壊すだけで済ませてやる。抵抗するなら、体ごとぶっ壊す！」

（敗北した）「な、馬鹿な。こんな、チビどもに……!？」

## ◆結末

敵の亡骸から、[データ断片1]を入手する。

## ●カタナ：セフィロトの守護者

条件：第4セフィラに登場した

## ◆解説

第4セフィラには“ロト・システム”が居る。ロトは侵入者排除用のセキュリティ兵であり、制御用 AI はセフィだ。セフィはハッキングにより暴走しており、キャストらを見るとロト・システムで攻撃（《**電 脳 神**》）を仕掛けようとする。

〈コネ：セフィ〉の判定を[成立]させれば、彼女は自我を取り戻し、『カタナ』の《**死の舞踏**》に《**フリーズ!**》を使用して、ロト・システムを破壊して暴走を解除する。

## ◆描写

第4セフィラを訪れた君たちが目にしたのは、巨大な全身鎧に身を包んだ兵士だった。光る眼から、中身が

AIである事が見て取れる。手に持った、身の丈ほどもある剣が、君達に向かって振り下ろされる——！！

## ▼セリフ：ミュート（“16” DOS）

〈コネ〉判定に成功した『カタナ』……！ うそ、私、何やってるの!？」

「ダメ……システムが暴走してて、私じゃ止められない!……『カタナ』、お願い、ロト・システムを止めて!!」

※《**フリーズ!**》を使用

「良かった……『カタナ』に怪我させちゃったら、どうしようかと思ったよ」

「私達を助けに来てくれたんだね。これ、預かってくれないかな。大切な物なんだ」※**データ断片を渡す**

「私も力になるよ! ロトは壊れちゃったから戦う事は出来ないけど、道案内なら任せて!」

## ◆結末

[データ断片2]を入手する。またこれ以降、セフィが同行し、ナビゲートをしてくれる。隣のセフィラの情報収集判定が〈コネ：セフィ〉の[成立]で可能になる。

## ●イベント：デュアル・ワールド

条件：解説参照

## ◆解説

「バディリンク」を準備した2人が、第2セフィラと第3セフィラに同時に一人ずついる状態で発生するイベント。2つのセフィラをまたぐ特殊なシーンだ。

## ◆描写

第2セフィラにあるN◎VAの模型街、第3セフィラにある電脳N◎VAマップ。これら二つを、意識共有によって重ね合わせる事で、君達は、今までと全く違う世界を目にした。それは、**現実と電脳**が重なり合うことで、二つの世界が融合し、同一のものとなった世界だ。

そこではAIと人間との間には差は無く、片割れの世界では**孤独**だった彼らが、共に手を取り合って世界を歩く、そんな光景が広がっていた。

これが、ニューが目指していた**新世界**なのだろう。

## ◆結末

手を繋ぎ、世界を歩くAIと人間のホログラム……その手が触れ合う場所に、[データ断片3]を発見する。

## F5アタック

元々は、インターネットサーバに対する古典的な攻撃方法だ。

ウェブブラウザにおいてF5キー（リロードキー）を押し続ける事で大量の送信要求を送り続け、サーバに過負荷を与えるもの。

## カタナ：コネ判定に失敗した場合

《電脳神》による攻撃を防いだらば、セフィは〈チャイ〉を使用して我に返り、〈フリーズ!〉を使用してロトシステムを破壊してもらう。つまり、セフィの神業を使い切ってしまうのだ。

成功した場合、《電脳神》〈チャイ〉の2発が自由に使える為、ここで失敗するとかなり不利だ。

## バディ・リンク

「●イベント：デュアル・ワールド」の発生条件に必要なバディ・リンクの準備だが、トロンを持っていなくても、第9セフィラでイントロン装置とリンクしていれば、ソフトウェアを3つまで準備出来る為、条件を満たす事が可能だ。

## “503” Unavailable



## ▼設定

「俺のSPAMで跡形も無く吹っ飛ばし！」  
電脳と物質を双方から破壊する、F5（Flip/Flop Fatal Full-Fire）アタックを使うテラウェアの壊し屋。モータルストームを構える巨体の全身義体化兵。

## ▼基本データ

アラシ◎●、ニューロ、カブトワリ  
♠8/14 ♠2/12 ♥3/7 ♦8/15

## ▼技能

電脳 4♠♥♦  
射撃 3♠♥♦  
交渉 3♠♥♦  
運動 2♠♥♦  
※フルファイア 4♠♥♦  
※フォートレス 2♠♥♦  
※SPAM 9♠♥♦  
※ジャガーノート 4♠♥♦  
※アンチバック 4♠♥♦  
※フリップ・フロップ 2♠♥♦

## ▼サイバーウェア

・全身義体：ギガンティック… 隠：一/電：18  
AR3、オプションとしてエレクトリックシルフ（電魔夜叉）装備。  
・スペシャライズ …… 隠：12/電：21  
〈電脳〉常時+2。  
・ラッキー7 …… 隠：13/電：17  
1シーン1回、肉体ダメージを-7。  
・ゴーストプロテクト …… 隠：20/電：一  
装備の【電制】+3。換算済み。  
※防（敵/刺/斬/爆）：6/4/5/7

## ▼武器

・モータルストーム …… 隠：一/電：15  
攻：[敵+8] 射：近〜超遠。

## ▼行動指針

推奨プロット：♠♥♦ / AR：3  
物理攻撃は〈電脳〉〈射撃〉※フルファイア〈ジャガーノート〉の組み合わせ。射程内の敵全員に、対決に〈電脳〉必須の攻撃を行う。ダメージは[敵+12+カード]。  
精神攻撃は〈電脳〉〈射撃〉〈交渉〉〈SPAM〉。銃弾に込めたSPAMで電脳を破壊する。ダメージは[16+カード]。いずれの攻撃も達成値は最大21。  
デジタルアクションに対しては〈電脳〉〈フォートレス〉〈アンチバック〉で手札からリアクション。達成値は最大25。

## 第11セフィラの場所

マップ上の以下の場所にある。

## バディリンクが必要

第7セフィラにて手に入れる事が出来る。勿論、元々持っていた、あるいは経験点を支払って入手する、などでも構わないが、第3の断片の入手条件を満たすためには、2人のキャストがバディリンクを準備した状態になる必要がある為、必要なバディリンクは2つだ。

トロンは第9セフィラでのイントロン装置で代用可能だ。

## 「すぐ傍にある」ウェブ

仮想現実 (Virtual Reality) から、拡張現実 (Augmented Reality) への移行を意味している。N◎VAにおけるウェブは、元々拡張現実の側面を持っていたが (IANUSはその代表例だ)、それをより高度なレベルで、ウェブと現実の区別がつかないような世界を目指したのがニューワールド・プロジェクトである。

無論、それがどのような世界なのか、我々は想像でしか語れない。しかし、現実のウェブもどんどん拡張現実となってきた今、それが夢物語であるとは言えないだろう。

## ●ニューロ : Ghost In The Cell

条件 : 第1セフィラに「ニューロ」が到達した

## ◆解説

ニューの居場所を突き止めるシーンだ。このシーンで、デウス・エクス・マキナ《電脳神》を使用する事で、隠された第11セフィラの場所が判明し、クライマックスとなる。

## ◆描写1

第1セフィラである社長室に辿り着いた。しかし、その部屋には誰も居ない。一体、ニューは何処に居るのだろうか……そう思った時、ふと、『ニューロ』は違和感に気付いた。

それは——温もり。セフィラの壁に触れた時、ニューと手を繋いだ時に感じるのと同じ、僅かな温もりを感じたのだ。近くに、ニューが居る！

◆描写2 (※《電脳神》デウス・エクス・マキナを使用した)

電脳要塞セフィロト・ツリーは、その電脳体が、ニューの電脳データによって構成されていた。この場所は、ゴーストラインにほど近いらしく、彼女の得た温もりの情報が伝わって来たのだろう

## ▼セリフ : ニュー (声のみ)

「『ニューロ』、どうして、ここに……！？ ここは危険だ、早く逃げるんだ！」

「テラウェアは強大だ。多分、私はもうもたないだろう。でも、君さえ居れば、私が得た喜びを、もっと多くのA I達に与える事が出来る……『ニューロ』、逃げて。そして、私の代わりに、ニューワールドを創ってくれ」(助けに行くとやった)「……キミってやつは……本当に、バカなんだから…… (泣き笑いながら)」

## ◆結末

ニューのゴーストラインのアドレスが判明する。マップに第11セフィラを書き足すこと。キャストらがそこへ向かったらクライマックスへ。

## ■情報項目

以下の情報は、要塞内部イベント開始時にリサーチ可能になる。

- ・電脳要塞セフィロト・ツリー
- ・データ断片の在り処

## ◆電脳要塞セフィロト・ツリー

〈コネ : ニュー, セフィ〉

〈社会 : ウェブ, 企業, テクノロジー〉

□08 中は[セフィラ]と呼ばれる10個の区画に分かれ、それぞれが特定の役割と名前を与えられている。

【要塞内部のマップ】を取得。→[各セフィラについて]をリサーチ可能に

□10 セフィラは10～7、6～4、3～1でそれぞれ性質を異にしている。

□12 セフィラ10～7は、マンデイン・セフィラと呼ばれる。敵の偵察網が張られている。

□14 セフィラ6～4は、ゴースト・セフィラと呼ばれる。内部の状態を把握する為には、イントロンしていなければならない。

- 16 セフィラ3～1は、ロコス・セフィラと呼ばれる。ニューワールドプロジェクトの実験区画だ。
- 18 まるで、要塞が生きているような雰囲気だ。

## ◆データ断片の在り処

〈電脳〉〈コネ : ニュー, セフィ〉

〈社会 : ウェブ, テクノロジー〉

□13 第1の断片は、“503”に奪われた。

□15 第2の断片は、セフィロトの守護者「ロト」が持っている。

□17 第3の断片は、特殊な方法で隠されているらしい。どこかに避難している社員ならば、隠し場所を知っているかもしれない。

## ▽第6セフィラで社員から入手できる情報

第3の断片は、ニューワールド実験区画にて、マンデイン現実とウェブの狭間を行ったり来たりしているらしい。入手には「バディリンク」が必要だ。

## ◆各セフィラについて

目標値 : セフィラへの距離 (通路の数) × 10

- 10 入口だ。無理やりプロテクトを決け開けられたせいでボロボロになっている
- 9 トロンルームだ。ゴースト・セフィラに入る為の装置があるらしい。
- 8 特殊電算室。試作型メガトロンがあるらしい。
- 7 装備庫だ。何か装備が手に入るかもしれない。
- 6 聖域と呼ばれ、最もセキュリティの強固な場所らしい。社員がここに避難している。
- 5 要塞制御室だ。侵入者を無差別に攻撃する攻勢セキュリティがある。
- 4 セフィロトの守護者「ロト」が居るらしい。
- 3 “電脳空間改変実験室”と呼ばれている。
- 2 “現実情報分析室”と呼ばれている。
- 1 社長室だ。要塞の秘密が隠されているらしい。

## ◆データ断片

※〈電脳〉〈コネ : ニュー〉〈社会 : テクノロジー〉などで成立データの他に、ニューの開発日誌が含まれている。

- ①「ウェブに温もりをもたらし、ニューワールド・プロジェクトは発足した。必要となる要素は2つ。誰も現実とウェブを同時認識できるようになる事と、現実とウェブの情報の並列化だ」
- ②「ニューワールドを実現する為の1つ目の課題、現実とウェブの同時認識……フリップ・フロップの一般化については、処理をサイバーウェアに行わせる事で解決できる。『ニューロ』の協力のお陰で開発は順調に進んだ」
- ③「2つ目の課題。今のウェブと現実が乖離しすぎている。没入するのではなく、“すぐ傍にある”ウェブの実現。これも、時間はかかるが不可能ではない。超A Iとしての私の電脳空間改変能力も、役に立つだろう。

## ◆ニューワールド・プロジェクトデータ

※全てのデータ断片の情報を得たらリサーチ可能に

※〈フリップ・フロップ〉で成立

全てのデータを繋ぎ合わせる事で、プロジェクトの全容が明らかになる。これは、ニューの《タイムリー》として扱い、キャストが自由に使用する事が出来る。

更に、フリップ・フロップしている者にしか読めない暗号により、ニューから『ニューロ』へのメッセージが隠されている。

「私は、生まれてから長い時を、この冷たい海の底で生きてきた。どれだけウェブが発達しても、現実との間には大きな隔たりがあった。

だから、『ニューロ』。君と会えた時、私は嬉しかったよ。君はウェブと現実を、A Iとヒトを区別しなかった。君と触れ合う事で、私は現実の温もりと触れあえたから。

君と、本当の意味で手を繋いで、共に世界を歩いてみたいんだ。それが、私の夢。ニューワールドが実現すれば、その夢が、きっと叶う」

## クライマックスフェイズ

Climax Phase

## ●RLシーン：氷下の電腦黄金郷

## ◆解説

“12” テラが、ニューのゴーストデータを侵食していく様子を描く。リサーチ開始から10シーン以内にクライマックスに到達した場合、このシーンで“12” テラは《電腦神》を使用する。

## ◆描写

ニューの自我境界線にまで、テラの侵食は進んでいた。徐々に魂を侵され、情報分解していくニュー。苦しそうに顔を歪めながらも尚、気丈に敵を睨みつける。

## ▼セリフ：ニューと“12” テラ

ニュー「……こんな事をしても、無駄だ。進化の可能性を掴み取ることなんて、誰にもできはしない」

テラ『オマエ達ノ望ム新世界ハ訪レナイ。フリップ・フロップ技術ノ一般化ハ、許容デキナイ』

ニュー「なぜ……どうして君達は、冷たい世界を望む！」  
テラ『電腦空間ヲ完全ニ管理・制御シ、氷ニ鎖サレタ理想郷ヲ創造スル。不確定要素ノ無い、現実ト異ナル理想社会ノ顕現。現実ト電腦ハ隔絶サレテイルベキデアリ、フリップ・フロップ技術ハ、限ラレタ者ノミガ、世界ヲ制御スル為ニ保有スルベキモノ』

ニュー「そんな事、させない……！」

テラ『これ以上ノ抵抗ハ無駄ダ。最終防壁ヲ突破シタ』

ニュー「くっ……『ニューロ』……！」

## ◆結末

次のシーンへ進む。

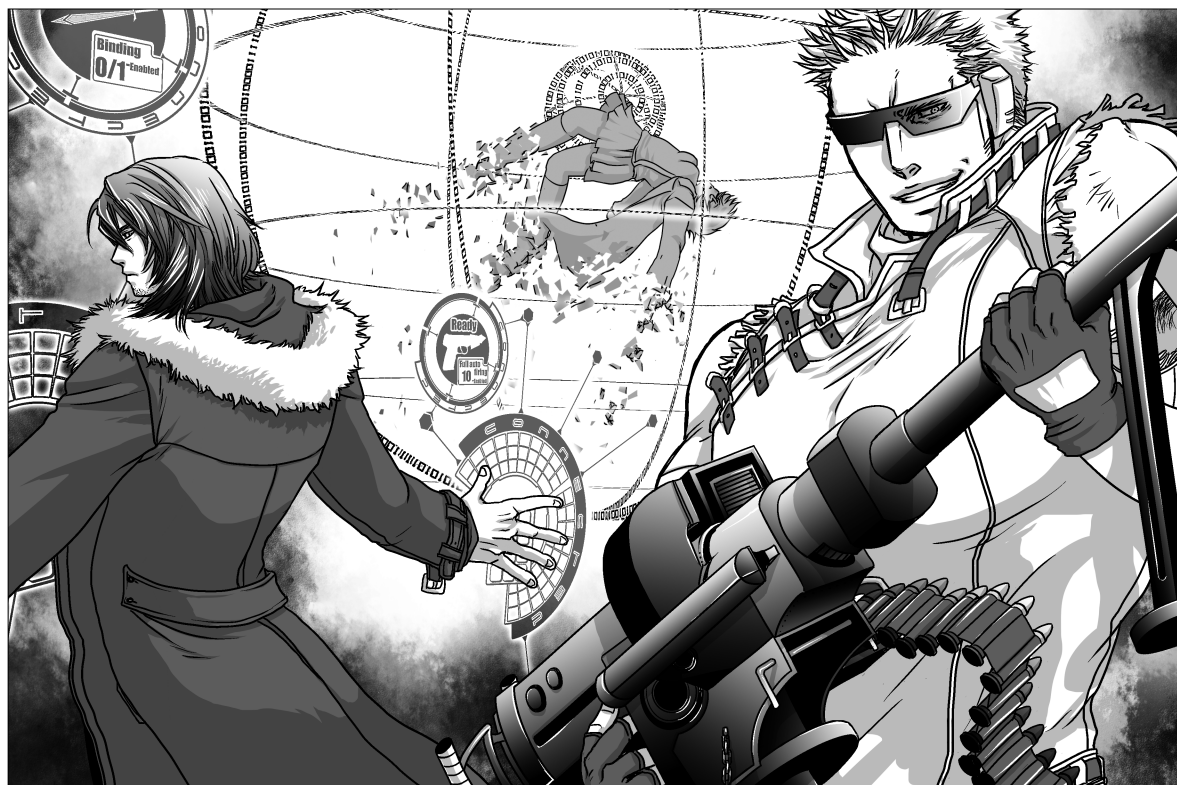
## クライマックス戦闘

本シナリオの敵は強力だ。キャストの強さにもよるが、かなり苦戦を強いられることになるかもしれない。

しかし、実際はリサーチシーンで敵の神業を減らせたり、また友好ゲストの神業を使える関係から、神業の数でキャスト側がかなり有利になる事が多い。

もし、キャストが神業を駆使しても敵に勝つのが困難な局面になりそうなら、RLはニューの神業をキャストの為に使用してもいい。

ただし、〈天罰〉はエンディングで使用する為、クライマックスで使用可能なのは《電腦神》のみだ。





## ミュートが戦う理由

テラウェアにより体に埋め込まれた「イレイザー」のせいで、彼らに逆らえないのだ。

## ミュートの死亡

イレイザーにより死亡するミュートを救いたいというプレイヤーも居るだろう。この場合、イレイザーを破壊する事が出来るならば、救えるとする。

〈新裁判〉による判定や、〈タイムリー〉などが考えられるだろう。〈死の舞踏〉での破壊も可能と裁定すると良い。勿論、死んだ後に〈黄泉還り〉でも可だ。

ただし、〈クラッシュ〉や〈電脳神〉で救う事は出来ない。イレイザーは BLAKK-IANUS に接続されており、電制が無いからだ。

## 旧脳世界 VS 新脳世界

## ◆解説

電脳要塞最深部、第11セフィラ。「12」テラに囚われて侵食されているニューを助ける為に、テラ、そしてミュートと闘う。ウェブの未来を賭けた戦いだ。

## ◆描写

君達は遂に、セフィロト・ツリーの最深部へと辿り着いた。そこはニューの精神世界。巨大な電脳地球儀が、ニューの魂を侵し、情報を吸収している。

助けに向かおうとする君達の前に、「16」DOS……ミュートが立ち塞がった

## ▼セリフ：ミュート

「よう、間に合ったみたいだな、お友達」  
「生命の樹を駆け上がって来た感想はどうだい？  
新しい世界は見えたか？」

「正直言うとな、俺も、お前達の目指す新世界とやら、見てみたいのさ。だが、それは出来ない。かつて世界を駆けた電脳騎手が、(焼け痕を指さし) 今じゃ手綱つきの懐古主義者。情けない話だろ」

「さて、救うべきお姫様は目の前だ。やるべき事は一つだろ、お友達？」

## ◆カット進行

カット進行に入る事。敵は以下の通り。

・「16」ミュート : AR 3

・「12」テラ : AR 5

キャストは全員で1エンゲージ。敵ゲストはミュートが近距離、テラが中距離の位置にいる。ミュートはフリップ・フロップ状態で、テラはウェブゴーストだ。

## ◆結末

「12」テラが破壊されると、戦闘は終了する。その際、ミュートに埋め込まれたイレイザーが発動し、彼は死亡する。ニューは解放され、ニューワールド・プロジェクトも守られた。エンディングへ向かう事。

## ▼セリフ：ミュート

「ここが、サイバーバウグの終着地か。ここから新しい世界が始まるなら、悪くない」

(救われた場合) 「ハハ……参ったな。俺も、拝む事が出来るのか。新たな電脳世界の幕開けてヤツを」

「こんな時、俺は口に出せる言葉を一つしか持ち合わせちゃいない——ニューロ」

## “16” DOS (ミュート)



## ▼設定

「俺達の時代はもう終わりさ。懐古主義者はさっさと消えちまうべきなんだ」

伝説的な電脳カウボーイ。テラウェアにイントロン<sup>①</sup>の自由を奪われ、操り兵と化しており、ウェブにしがみつただけの人生を終わらせようとしている。

## ▼基本データ

ニューロ●、カプキ●、カゲ  
▲7/12 ▲6/15 ▼4/9 ▲7/12

## ▼技能

電脳	6▲●●◆
射撃	3▲●●◆
白兵	3▲●●◆
運動	3▲●●◆
隠密	3▲●●◆
※フリップ・フロップ	4▲●●◆
※ドミネート	4▲●●◆
※死点撃ち	4▲●●◆
※空蝉	2▲●●◆
※ラッキーストライク	2▲●●◆
※セカンドディール	2▲●●◆
※チェシャ猫	4▲●●◆

## ▼プランチ

ニューロ/カストラート : 3Lv  
ウェット。マイナーでシーン中イントロン可能となり、〈電脳〉+4。

## ▼トロン

・WIZ-V ..... 隠: 12 / 電: 15  
・ギアス ..... 隠: — / 電: 23  
・MOP ..... 隠: 13 / 電: 15  
〈ドミネート〉の達成値+3。

## ▼トロン

・フレッシュ ..... 隠: 15 / 電: 18  
攻: [刺+5] 射: 近 弾: 10 (オート1)  
・ハイパーエッジ ..... 隠: 08 / 電: 15  
攻: [斬+7] 射: 至近—中 段々剃刀。

## ▼サイバーウェア

・BLAKK-IANUS ..... 隠: 20 / 電: —  
ウェット。サイバーウェア3つ。  
・イレイザー ..... 隠: 18 / 電: —  
テラウェアにより体を支配されている。承諾無しにイントロン不可。

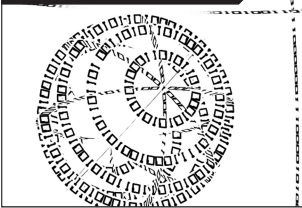
・ドラッグホルダ ..... 隠: 15 / 電: —  
イリュージョン、ロゴス×∞。  
・ハードワイヤード ..... 隠: 18 / 電: 16  
神経鋼化。ARが3に。

## ▼行動指針

推奨プロット: ▲●●◆ / AR: 3

最初のマイナーでプランチ (2回目以降はドラッグホルダ) を使用し、イントロン。〈電脳〉〈射撃 or 白兵〉〈ドミネート〉〈死点撃ち〉の組み合わせで攻撃。自身の武器をドミネートする為、武器の準備行動不要。射撃を行う場合、フルオートを対象を[範囲]とする。達成値は最大25。防弾力無視。判定後、〈ラッキーストライク〉で山札からダメージカードを1枚追加。ファンブルした場合は〈セカンドディール〉でもう一度。

## “12” テラ



## ▼設定

「電脳世界ヲ氷ニ鎖サレタ理想郷ニスル。ソレガ我等テラウェアノ使命」

世界最大規模の演算能力を有するテラウェアのAI。地球儀を思わせる巨大なグリッドの球体。ウィリアム多間の理想をウェブに顕現させる為に行動する。

## ▼基本データ

ニューロ=ニューロ=ニューロ●  
▲10/21 ▲8/18 ▼7/3 ▲10/21

## ▼技能

電脳	9▲●●◆
コネ: ウィリアム多間	5▲●●◆
※フリップ・フロップ	0▲●●◆
※NGワード	8▲●●◆
※他、全ニューロ特技	4▲●●◆

## ▼プランチ

ニューロ/ゲートキーパー : 4Lv  
あらゆるメジャーアクションに〈ポルターガイスト〉でリアクション可能。1シナリオ5回まで。

## ▼トロン

・ヤタノカガミ ..... 隠: — / 電: 35  
イントロン中、AR5。ソフト10個 (〈マルチタスク〉で更に+4つ)。  
・O-bit ..... 隠: — / 電: 25  
電脳攻撃を[範囲]に。使い捨て。  
・ブラッドカバー ..... 隠: — / 電: 20  
一度だけダメージを打ち消す。  
・その他  
ATオウガ、電魔夜叉、網絡蟲毒、化血神刀、電脳矢刃×5、ガーディアン・エンジェル、電神聖君。

## ▼その他

・トラップコード ..... 隠: 20 / 電: 20  
スペシャライズ保有者にペナルティ。

・ブレインリポート ..... 隠: 16 / 電: 14  
シーン1回、オートで1枚手札交換。

## ▼行動指針

推奨プロット: ▲●●◆ / AR: 5

メジャーには〈O1 フィーリング〉、リアクションには〈防壁構築〉を組み合わせる事で、最大達成値は25。攻撃は〈SPAM〉〈パワーサージ〉〈虫使い〉で、ダメージは装備の効果を利用して[刺+27+差分値+カード]。電脳矢刃を使い捨てすれば更に1つあたり+3。一度だけO-bitで[対象: 範囲]に。

その他〈ツェノンの逆理〉や〈サボート〉など、多彩な行動を行える。

# エンディングフェイズ

Ending Phase

各キャストとこれまでの物語に相応しいエンディングを演出すること。ここにはその一例を示す。

## ●クグツ：Welcome to D generation

早川美沙から労いの言葉を受ける。あるいはブレイル博士との会話でも構わない。今回の事件での千早の援護を受けて、セフィロトはニューワールド・プロジェクトの技術データの一部を千早にも譲渡する事を決めた。今までの秘密主義を改め、企業としても外を向き始めた兆しのだろう。

千早重工はこの技術譲渡を受けて、ニューワールドの機能を拡張するデバイス「デュアル・ゴーグル」の開発を決定した。この事は、彼らとの会話の後にナレーションのような形で描写する事。

### ▼セリフ：早川美沙

「お疲れ様、『クグツ』。首尾は上手くいったみたいね」「ついさっき、セフィロト社から連絡があったわ。『貴方達の助力に感謝する』ですって。お礼の品がニューワールド・プロジェクトの技術データってのは、いささが律儀に過ぎる気はするけれど」

「ねえ、『クグツ』。この先ウェブの覇権を握るのは、テラウェアがセフィロトか、どちらだと思う？」

「そう。貴方のその意見、上に通しておくわ。我が社の電腦開発部も、大きな転機を迎えるかもしれないわね」

## ●カタナ：ワールドイズマイン

サイバーウェア新商品「ニューワールド」販売直後の街を描く。セフィはニューワールドの販促に忙しそうにあちこちを飛び回っている。そんな最中、『カタナ』の姿を見つけ、お礼を言いに来る。

### ▼セリフ：セフィ

「あ、『カタナ』！ 聞いてよ、ニューワールド、大ヒットよ！ 私も忙しっただらないわ」

「ありがとう、『カタナ』。貴方が助けてくれたお陰だわ」「ところで、『カタナ』。貴方はニューワールド、入れないの？ ニューが言うに、これを使えば、ヒトとAIが

手を繋ぐ事ができるようになるんだって」

「……その、『カタナ』が、望むのなら……一緒に、その、街を歩いてあげても……いいかな、なんて」

「（顔を真っ赤にして）や、やっぱ、なんでもない！ 今忙しいから、またね……！」

## ●ニューロ：\*ハロー、ニューワールド。

ニューの《天罰》の効果で、電腦空間が新たな世界へと進化する。ニューワールドによって電腦と現実の間に境が無くなった世界で、ニューと手を繋ぎながら世界を眺める。彼女の掌からは、確かに暖かさを感じる。

### ▼セリフ：ニュー

「なあ、『ニューロ』。実は、ニューワールド・プロジェクトを進める上で、不安だった事があるんだ」

「私たちが作る新世界は、きっと、ただ徒に優しく暖かい世界じゃない。AI達はこれから、痛みや別れや、多くの悪意とも、すぐ近くで出会っていくことになるんだろう」

「君の温もりを知ってしまった私が、それを失うのを恐れるのと、同じようにね……」

（ポジティブな返事を返した）「ウェブはこれから、より混沌とした世界になるだろう……それでも、私はその未来を見たいと思うよ。君と、一緒に」

（『ニューロ』と手を繋ぎ）「ハロー、ニューワールド」

### デュアル・ゴーグル

『NTW』のp32を参照。

〈フリップ・フロップ〉を強化するこの装備は、何故かセフィロトでは無く千早の製品である。

本シナリオの『クグツ』枠は、この装備の千早製である所以を考える事で生まれた導入である。

無論、これが公式な理由では無いかもしれない。しかしこういった装備の記述などからも、シナリオは生まれるものだ。

### 最後に……

本シナリオは、世界設定に踏み込んだオリジナル設定があまりにも多い。N◎VAというゲームじゃ日常茶飯事な事だからわざわざ言うまでも無い事かもしれないが、このアクトの結果は、あくまでもこのアクトでのみ真実だ。「電腦世界が変わった」なんて事実は、他のアクトでは殆ど無いだろう。引きずられないように。

ただ、それでも筆者はこのシナリオにかなりの愛着を持っている。このシナリオが示す電腦世界を、少しでも良いと共感してくれるればこれほど嬉しい事は無い。

## ■シナリオチューン

本シナリオは判定の機会が多く、戦闘なども少しバランスが厳しめに設定してある。この為、プレイヤー人数次第では展開が厳しくなる、あるいは緩くなりすぎる可能性がある。

以下に、プレイヤー人数に合わせた調整の一例を示すので参考にして欲しい。

### ●PLが2人の場合

- ・ブレイルの《ブリーズ！》で打ち消す神業（セフィロトの封鎖）を“12”テラの《電腦神》に変更。
- ・カット進行にセフィが参加する。その際、手札は『カタナ』のPLのものを使用する。

### ▼セフィ（カブキ、マネキン◎、ニューロ◎）

♠ 4/11 ♣ 8/15 ♥ 4/10 ♦ 5/12

〈電腦〉	4♣♣♥♦
〈サポート〉	4♣♣♥♦
〈防壁構築〉	6♣♣♥♦
〈ポルターガイスト〉	4♣♣♥♦

### ●PLが4人の場合

- ・ミュートのライバル枠（推奨スタイル：ニューロ）を追加。かつて、突然歴史の表舞台から姿を消した筈のミュートが、久しぶりにアクセスして来る。「テラウェアを攻める」と。
- ・セフィを攫うのは“503”に変更。

- ・“12”テラを「メインフレーム（ニューロ×3：3人用時のテラと同データ）」「セキュリティフレーム（ニューロ、カプト◎、タラ◎）」というゲスト2体にする。

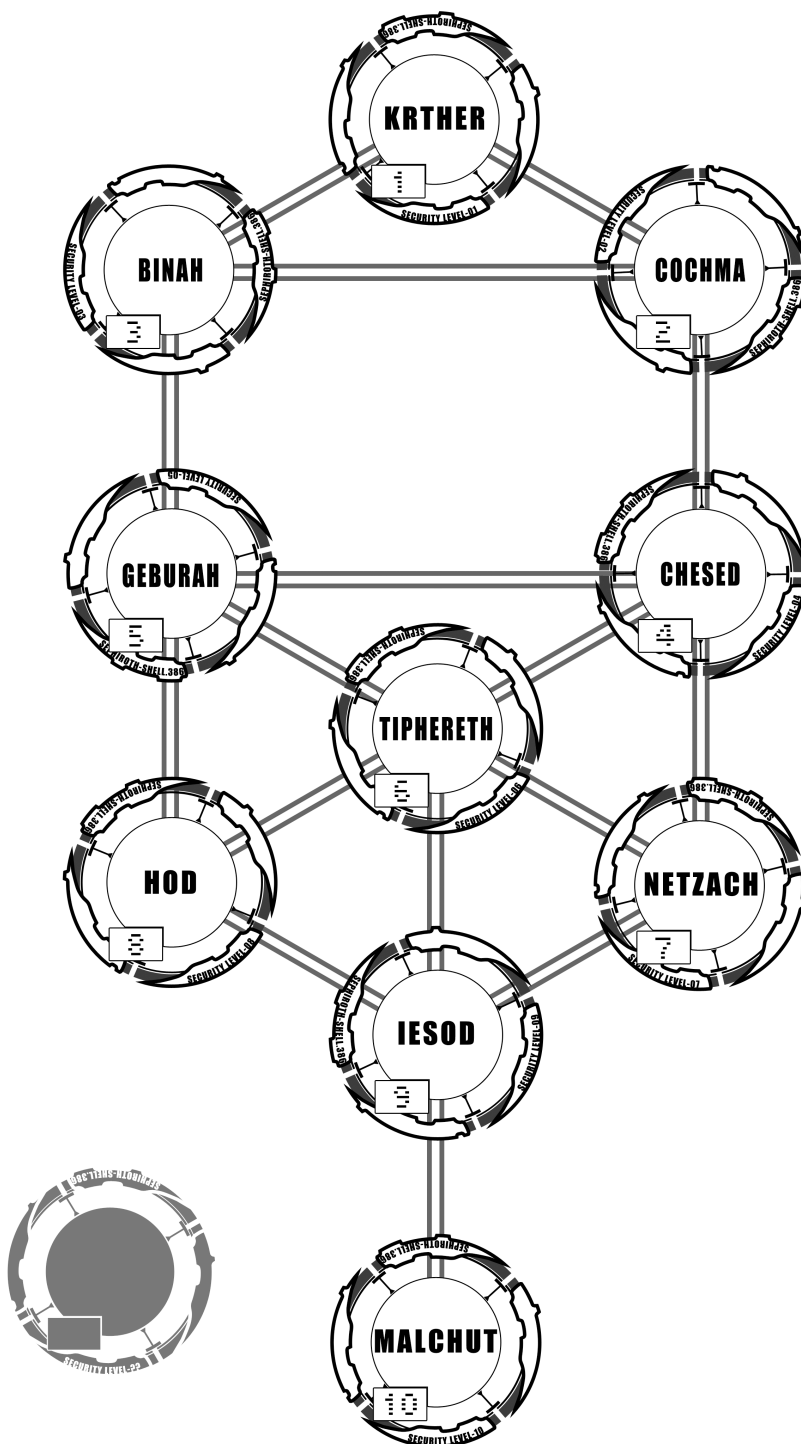
### ▼テラ・セキュリティフレーム（カプト◎、タラ◎、ニューロ）

♠ 8/20 ♣ 6/19 ♥ 6/9 ♦ 8/19

〈電腦〉	4♣♣♥♦
〈ツェノンの逆理〉	5♣♣♥♦
〈自動防御〉	4♣♣♥♦
〈パーソナルバリア〉	4♣♣♥♦
・タイプ・マーズ	・電腦護神×2
・ラストキャンドル	・DFオウガ
・EMPストーム	・スプートニク×3

## 電腦要塞セフィロト・ツリー

セフィロトMAP





# アペンディックス

## Appendix

つまり世界は何も、新しくなっていないのよ。

デトネーション 爆破されたとか新生したとか、そんなのはみんなキミたちの勝手な言い分に過ぎないの。私みたいな存在にしてみれば、本当迷惑な話。

なんだか納得いかないって顔ね。わざわざこんなところまで来てくせに。

私を見てよ。私はここにいる。キミたちが電腦空間と呼ぶこの場所にね。だけど分かるでしょう？ 私はデータじゃないの。電子情報が見えないはずのこの場所で、私を構成する0と1はどこにもない。だけどどうしてここにいて、キミと話してる。別にそれは、今に始まったことじゃないのよ。キミのおばあちゃんのおばあちゃんのおばあちゃんがまだ子供だったころ、いちばん原始的なウェブの形さなかったころから、私はこうして存在してる。キミみたいな子供たちの、噂話の中にね。

廃棄されたウェブコンプレックスの、3番目のグリッド。ここに私がいるって聞いてきたんでしょう？ ふふ、キミは運がいいよ。興味本位で訪れる子供たちは多いけど、みんなに姿を見せてあげるわけじゃないからね。

別に大した理由があるわけじゃないわ。気まぐれと、あとはそうね、ちょっとしたノスタルジー。みんな大人になると私のことなんて忘れてしまうから、懐かしい顔に会えることってそうないの。でもね覚えてて。あなたもいつか大人になって、子供のころに見ていた不思議な世界を無くしてしまうけれど。だけどそれは、本当は無くならないってこと。

常識は小さな覗き窓。それを通して世界を見れば、自分に理解できる領域しか見えないわ。そしてその小さな視界を、人はいつの間にか世界の全てだと思いこんでしまう。だからその外側にあるものが見えたとき、「新しい世界」だなんて勘違いするのよ。

——本当は誰もが、小さい頃には知っていたはずなんだけどね。この世界は、目に見えるものが全てじゃないってこと。夢や、噂話や、空想や、そんな「情報だけの世界」はずっと昔からあって、人はそれを現実と一緒に知覚していたこと。

そこに、大切な友達がいたこと。

……なんだか愚痴っぽくなっちゃったわね。やだやだ、私も歳をとったってことかしら。そもそも脅かしもしないでこんな説教を始める時点で名前負けなのよ。仕方ないじゃない、ここって昔の住処に比べて小道具が<sup>ガジェット</sup>少ないのよ。

でもまあ、久々に楽しかったわ。嫌になったのであれば、また来てちょうだい。そのときはちゃんと名前と呼んでね。

——ああ、言ってなかったっけ。

花子さん、でいいよ。

キミのおばあちゃんのおばあちゃんのおばあちゃんも、そう呼んでくれてたからね。



## アペンディックス

## Appendix Data

Neuro/CD -Tokyo NOVA The Detonation-

□□□□□

## 常備化コネとして使用する事はお勧めしない

キャストの保有する〈コネ〉は、情報を得るための技能であると同時に、そのキャストがどのような人間関係を持つかを通して、キャストのキャラ性を他者に提示する意味も持つ。

プレイグループで誰もが知っているオリジナルゲストやキャストならば話は別だが、基本的には公式ゲストから選んだほうが、共通認識が持ちやすいだろう。

ここから先は、ちょっとしたオマケだ。本シナリオ集のテーマの一つでもある“ウェブ”を扱ったキャラクターを2人紹介する。

## ■パーソナリティーズ

データの見方は、『TND』60pを参照の事。紹介しているのは、主にセフィロト・ソフトウェアなどからの依頼を仲介する老ニューロ、“車椅子のニューロ”ブレイル・ホーキング博士だ。

依頼人の他にも、友好的なゲストとして使用する事が出来るだろう。ただし、オリジナルゲストである為、キャストの常備化コネとして使用する事は勧めない。

本シナリオ集でも、シナリオ4『HELLO NEW WORLD』において、キャストへの依頼人として登場している。当シナリオを遊ぶプレイヤーには、このゲストデータをコピーして配布すると良いだろう。

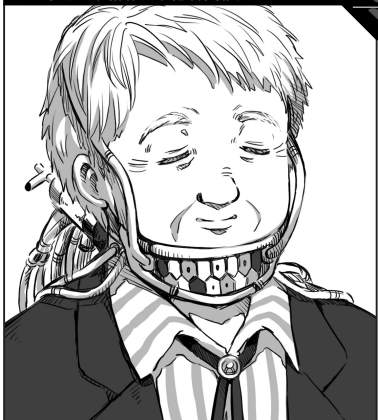
## ■Born to Kill

データの見方、使用方法などは『MDI』56pを参照の事。紹介しているのは、『NTW』をイメージしたキャラクター、ウェブとアストラルの双方に精通したニューロ、“Dual Diver”ハイドラだ。本ゲストのイメージテキストは、3pの扉小説として示している。

このゲストのデータは、非常に特殊かつ危険な物だ。状況やキャストとの相性次第では、キャストが成す術も無く一方的に攻撃を受ける展開になってしまうかもしれない。

本ゲストを敵として使用する場合、キャストにアストラル枠（バサラやマヤカシなど）と、ニューロ枠の両方を配置する事を強くお勧めする。また、データ以外の書式はパーソナリティーズと合わせており、通常の敵以外のシナリオゲストとして使用する事も可能である。

新皇帝都大学情報工学部客員教授



## “盲目の織神経”ブレイル・ホーキング

STYLE : Tatara ●, Manekin, Neuro ◎ ID : B AJ : 62 JENDER : ♂  
REASON : 7/13 PASSION : 6/13 LIFE : 3/9 MUNDANE : 5/13

「目は見えずとも、腕は動かずとも、星々に心を傾ければ、世界の全てを知り、手に取ることが出来ますよ」

ニューロエイジのウェブ構築における最大の功労者、「車椅子の新生路」として名が通っている情報工学の専門家。IANUSが普及し始める以前から電腦ユビキタス技術の発達を助けてきた存在だ。

彼は幼い頃に病気で五感の殆どを失い（その頃にはまだ、サイバー化の技術が未発達で対処できなかったのだ）、それを切欠にウェブの世界に取り込まれた。五感ではなく、脳に直接送り込まれる二進法の情報は、彼にとって他者と対等に得る事が出来る唯一の情報だったのだ。彼はそれらから世界の全てを得ようとし、イントロンに没頭した。ほぼ独学でウェブの高度な技術を身につけ、ウェブから現実の事を読み取り、操れるようになった時、彼にとって五感の損失はもはや意味を成さないものになった。

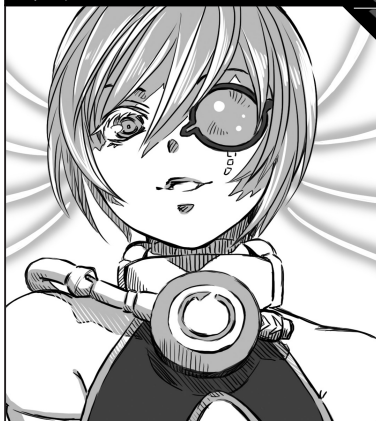
今は新皇帝都大に客員教授として招かれ、学生達を指導する傍ら、千早を始めとする様々な企業にアドバイザーとして派遣され、未だ情報工学の発達に寄与し続けている。セフィロト・ソフトウェアとは特に懇意にしているらしく、彼らからの依頼のパイプ役をする事も多いようだ。

物腰穏やかで丁寧な口調の好々爺。体に障害を持つ、全ての人達を勇気付ける存在である。

電脳	5 ♠♣♥♦	コネ：アスタロテ	2 ♠♣♥♦	教授	4 ♠♣♥♦
交渉	3 ♠♣♥♦	コネ：ウィリアム・多間	2 ♠♣♥♦	※タイムマジック	2 ♠♣♥♦
心理	3 ♠♣♥♦	コネ：アレクシス・ランバート	3 ♠♣♥♦	人使い	4 ♠♣♥♦
売買	2 ♠♣♥♦	社会：ウェブ	7 ♠♣♥♦	一期一会	3 ♠♣♥♦
製作：ソフトウェア	9 ♠♣♥♦	社会：テクノロジー	4 ♠♣♥♦	サポート	3 ♠♣♥♦
コネ：ニュー	3 ♠♣♥♦	社会：セフィロト・ソフトウェア	3 ♠♣♥♦	ストリームマップ	9 ♠♣♥♦
コネ：アルファ	2 ♠♣♥♦	社会：レ・トロン・ド・ルデチア	3 ♠♣♥♦		
コネ：メタトロン	2 ♠♣♥♦	社会：千早重工	2 ♠♣♥♦	タイプマーズ	

フリーランス

## “Dual Diver” ハイドラ



STYLE: Basara, Mayakashi ●, Neuro ○ ID: X AJ: ?? JENDER: ♀  
 REAZON: 9/15 PASSION: 7/15 LIFE: 1/6 MUNDANE: 4/12

## 「随分と狭い世界に生きてるのね、キミ。海はこんなに広大だっていうのに」

新人類計画——イワサキのアストラル研究所で行われていた、現実、ウェブ、アストラルの三界を行き来する事のできる人間を創りだそうというその計画は、8体の失敗作を生み、ついに生まれた完成形の実験体9号が、研究員を皆殺しにして脱走するという悲惨な結果に終わった。

最近N○VAに現れた謎の荒事屋……「水蛇」を名乗るニューロこそ、その実験体9号である。海の底を思わせる深い青色の光を放つ電脳義眼をはめ込んだ、人魚のような姿の女であり、その目撃情報はあまりにも現実離れしていて、「人魚みたいな格好の美女が何も無い所から突然現れた」とか、「まるで海に飛び込むように地面の中へ消えて行った」など、その神出鬼没さが噂になっている。

突如人の前に現れては、ソイツと仲良くなるか、あるいは殺すかという行動を取り続けているようだ。その行動原理は不明だが、多分に好奇心からの行動であるように見受けられる。彼女に出会ったならば、気をつけた方がいい。狭い世界に生きている人間では、成す術もなく海に引きずり込まれてしまうかもしれない。

## ●共通データ

## ▼スタイル

バサラ、マヤカシ●、ニューロ○

## ▼神業

天変地異

守護神

電脳神

## ▼タイプ

アタッカー

## ▼技能

運動	4♣♠♥♦
知覚	3♣♠♥♦
自我	4♣♠♥♦
電脳	4♣♠♥♦
コネ: フランク・セラーズ	2♣♠♥♦
社会: N○VA	2♣♠♥♦
社会: ウェブ	4♣♠♥♦
社会: アストラル	4♣♠♥♦
※干涉	4♣♠♥♦
※WiM	4♣♠♥♦
※幽体離脱	4♣♠♥♦
※実体化	4♣♠♥♦
※フリップ・フロップ	4♣♠♥♦
※還滅	4♣♠♥♦

## ▼サイバーウェア

・ニューワールド	..... 隠: 12/電: 15
〈フリップ・フロップ〉	を4レベルで取得

・マジシャン	..... 隠: 20/電: 20
電脳+2	
・サイキックブースタ	..... 隠: 16/電: 15
シーン中、自我+2	
次のシーンのあらゆる判定-2	
・スリーアクション	..... 隠: 12/電: 15
マイナーを3回	

## ▼トロン

・59	..... 隠: 20/電: 21
〈フリップ・フロップ〉時、	
〈電脳〉+2、アクションランク3	

## ▼行動指針

推奨スト: ♠♣♥♦ / AR: 2 (3)

基本的にフリップ・フロップの状態が登場する。マジシャン、サイキックブースタを使用。あらゆる対象に〈電脳〉〈自我〉〈※干涉〉〈還滅〉で攻撃し、その達成値を+6する。ダメージは殴+10。

## ●メイクアップ用データ

## ▼能力値

♠理性: 9/15	♣感情: 7/15
♥生命: 1/6	♦外界: 4/12

## ●標準データ

## ▼能力値

♠理性: 9 (12) / 15	♣感情: 7 (10) / 15
♥生命: 1 (4) / 6	♦外界: 4/12

## ▼技能

運動	4♣♠♥♦
知覚	3♣♠♥♦
交渉	2♣♠♥♦
自我	6♣♠♥♦
電脳	4♣♠♥♦
コネ: フランク・セラーズ	2♣♠♥♦
社会: N○VA	2♣♠♥♦
社会: ストリート	2♣♠♥♦
社会: ウェブ	4♣♠♥♦
社会: アストラル	4♣♠♥♦
社会: テクノロジー	4♣♠♥♦
※干涉	4♣♠♥♦
※WiM	4♣♠♥♦
※幽体離脱	4♣♠♥♦
※実体化	4♣♠♥♦
※フリップ・フロップ	4♣♠♥♦
※還滅	4♣♠♥♦
※防弾	3♣♠♥♦
※元力: 水雲 (正)	4♣♠♥♦
※ブービートラップ	2♣♠♥♦
※霊覚	4♣♠♥♦

## ▼ブランチ

マヤカシ: プロフェット	2
〈霊覚〉をリアクションで使用可能になる。その際、[対決: 不可]に対抗可能。判定は常時+4	

## ▼サイバーウェア

・ニューワールド	..... 隠: 12/電: 15
・マジシャン	..... 隠: 20/電: 20
・サイキックブースタ	..... 隠: 16/電: 15
・スリーアクション	..... 隠: 12/電: 15
・天の瞳	..... 隠: 15/電: 10
シーン中、「眼球損傷」「五感消失」を無視	
・スタイリッシュ	..... 隠: 12/電: 12
肉体ダメージを受けた際に、即座にプロット消費してメジャーアクション。1シーン1回	
・魂滅 (こんめつ)	..... 隠: 1/電: 1
アヤカシ、あるいは[アストラルゴースト]への物理ダメージを+[自分の〈自我〉レベル]	
・SSSD	..... 隠: 15/電: 18
アクションランク0→1。1シーン1回	

## ▼トロン

・59	..... 隠: 20/電: 21
・電脳義眼×2	..... 隠: 10/電: 20
イントロン中のダメージを-6	
・ブラッドカバー	..... 隠: 1/電: 15
イントロン中のダメージを1回打ち消す	

## ▼その他

・ガルーダ	..... 隠: 20/電: 1
[外界]以外の能力値を+3	
・魔剣化×∞	..... 隠: 1/電: 1
全装備を[魔剣]に	

## ▼行動指針

推奨スト: ♠♣♥♦ / AR: 2 (3)

[アストラルゴースト]、[ウェブゴースト]、[フリップ・フロップ]の全ての状態で登場可能である。敵の状態や攻撃手段に合わせて自身の状態を選択する。[フリップ・フロップ]の時のみ、アクションランクは3。シーン途中でゴースト状態を解除する場合、自身に〈自我〉〈実体化〉〈※WiM〉を使用。最初のマイナーアクションで、マジシャン、サイキックブースタ、ガルーダを起動する。以降、全ての行動に〈電脳〉〈自我〉を組み合わせ、達成値を+4する。(フリップ・フロップ中なら+6)

攻撃は〈還滅〉〈呪縛〉〈元力: 水雲〉で行う。ダメージは[殴+14]で、1点でもダメージを与えれば、対象はプロットを1枚破壊し、更に[バックファイア]をひとつ与える。〈※干涉〉を組み合わせる事で、あらゆる対象に攻撃可能だ。

リアクションは〈知覚〉〈電脳〉〈※ブービートラップ〉を組み合わせ、ブランチ効果で達成値を更に+4。[対決: 不可]でもリアクション可能。対決に勝利したら、手札から1回追加行動を行う。



「どうしてそんな所に引きこもっているの？<sup>マンデイン ウニブ アストラル</sup> 現実も<sup>ニューワールド</sup> 脳も<sup>ゴースト</sup> 星も、  
一つに拘っていたらただの檻だわ。新世界への扉を開かなければ、  
魂ごと時代に置いていかれるわよ」

—— “Dual Diver” ハイドラ

この度は、本同人シナリオ集『Neuro / CD vol. 2』を手にとって頂き、誠にありがとうございます。

前作となる vol. 1 は、初めて作ったシナリオ集でありながら、予想以上に多くの方に手に取って頂き、遊んだ感想なども沢山頂きました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

しかし、頂いた感想の多くは、当初のシナリオ集の意図と大きく外れていたものでした。——そう、殆どの感想は、オフラインで遊んだ時のものだったのです。

「ウェブ上のプレアクトの時、プレアクト情報ページがとても役に立った」「テキストデータのお陰でシナリオチューンが楽だった」など、皆、电脑上で準備をし、現実でアクトを楽しんでいた。電腦と現実を行ったり来たり。思った以上に、皆現実には生きていた。

今回、シナリオ集のサブタイトルを改めました。「オンラインシナリオ集」では無く、「フリップ・フロップシナリオ集」。時代はまさにニューワールドです。当初の目的であるオンラインプレイ対応を捨てるわけではありませんが、電腦と現実のどちらでも楽しく遊べる、そんなシナリオ集を目指していきたいと思います。

今回も、個性豊かなシナリオが集まりました。混沌の街に相応しい、色とりどりのシナリオ4本を、是非お楽しみ下さい。

最後に、このシナリオ集を作る上で助力頂いた方々、そして前作を手にとって下さった全ての方々に、厚くお礼申し上げます。

それでは、また。ニューロ！

2010年6月10日  
まだら牛 拝

## STAFF

### 企画・編集・DTP・その他

まだら牛

### 表紙・裏表紙・ゲストイラスト

いわすみ

### 扉小説2

yagami

### シナリオ1：『暴露の光 -Shiny Expose-』

原案：心流雷人

(原題：『真実の光が照らす時 -Shine of Lens-』)

執筆：まだら牛 / イラスト：鶴飼とおる

### シナリオ2：『食卓のアルドラ』

執筆：yagami / イラスト：鷺衣

### シナリオ3：『She wished only...』

執筆：柳生 / イラスト：kaji

### シナリオ4：『HELLO NEW WORLD』

執筆：まだら牛 / イラスト：餅木わっこ

### テストプレイ協力

朱乃、神衣、くろがね、小林光、子規、ジニア、ソエジマ、  
タカシマミツヒロ、つねひら、天色在人、ドラネコ、なるは、  
(はた) ×式、らーな、ALF874、Arashi、ELDER、hide、  
seto\_tosio、show、TIO (※五十音順)

### スペシャルサンクス

ジニア (委託販売、シナリオ意見提供)、  
生方一寛 (シナリオ4アクトトレーラー、語彙提供)、  
餅木研治 (連絡仲介)、ソエジマ (宣伝協力)、  
つねひら (キャスト拝借)

### 印刷

サンライズパブリケーション株式会社  
(敬称略)

# NEURO CD

TOKYO NOVA THE DETONATION FLIP/FLOP SCENARIO BOOK/CD

製作：ニューロ / CD 製作委員会

<http://dapple-ox.hp.infoseek.co.jp/nova/neurocd2/>  
(m@il: dapple\_ox@yahoo.co.jp)

発行日：2010.8.13

(Archive Ver：2011.12.29)

※『トーキョーNOVA The Detonation』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、  
有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。





Tokyo M@UA The Detonation Flip/Flop Scenario Book/CD



flip/flop